

2 石器 (第22・37・38図 第2表)

第1号住居跡からは3点、第3号住居跡からは28点が出土した。器種単位に観察事項を説明する。

石 鏃 (第37図1・2)

2点とも黒曜石製の凹基鏃である。1は裏面に主要剥離面を残し、両面ともに精緻な周縁調整剥離で仕上げている。2の基部には着柄時の摩擦痕が認められる。わずかに調整剥離面を看取できる。先端部と片脚を欠損している。

搔 器 (第37図4)

石材に異質な硬質頁岩を使用。剥片の主要剥離面側に刃部を作出しているが、加工は粗雑で調整剥離を左側縁方向にわずかに施しているのみである。

削 器 (第37図5)

緑泥片岩製。片岩特有の薄く剥がれる剥離面を利用して、左側縁と下端からの二次調整剥離によって刃部を作出している。

UF (第37図6)

黒曜石製。打面を90°転移して打剥された剥片を利用。断面三角形の刃部様になった左側縁の裏面に強い擦痕が認められる。

打製石斧 (第37図3・8~12)

3は一方の着柄部をわずかに残す緑泥片岩製短冊形の石斧である。大部分欠損している。8は刃部を欠損し、柄部には着柄時の摩耗が認められる。柔らかい素材で製作されており、使用対象は限定的であろう。正面柄部の斜位の窪みは、擦痕が認められることから砥ぐ機能を副次的に有したものと考えられる。9は刃部の大半を欠損し、石斧の形態をとどめない軟質な緑泥片岩製。両側縁に着柄の痕跡を残す。剥離の様子から欠損開始後も使用が繰り返され、複数回の使用があったであろう。10は柄部のみが残存し、両刃部は大きく欠損している。分厚な柄部からすれば、原形は長さ20cm、幅10cmほどはあったであろう。硬質なホルンフェルス素材にしていることから、使用対象は硬度の高いものが想定される。11は両刃の半分が欠損している。正面左側縁に鋭利な刃部が残存する。12は片面を中心

に調整加工を施した大型の分銅形石斧である。両刃の半分の大半が欠損している。着柄の痕跡を残す。10も同様な形態であったであろう。

砥 石 (第37図13~16)

置き砥石と考えられるのは13・16で、携帯用が14・15であろう。15以外は程よい大きさに打ち欠いた素材の剥離縁を中心に使用した形跡が見られる。13は平坦面の擦痕が著しい。15は一方に突起を作り、「V」字状の溝をあえて製作している。正面と裏面には有溝砥石気味に強い擦痕が認められる。被熱赤化した砂岩製。

磨 石 (第37図7・17・18 第38図1)

いずれも側面側主体に使用され、1は花崗岩、他は安山岩系の原材である。7は第1号住居跡からの出土で、正面側縁にススの付着が見られる。1と17は敲击痕と擦痕が認められ、敲击磨く両機能を有していたと考えられる。18は正面裏面ともに擦痕が顕著で、正面中央に凹部がある。

敲 石 (第38図2~10)

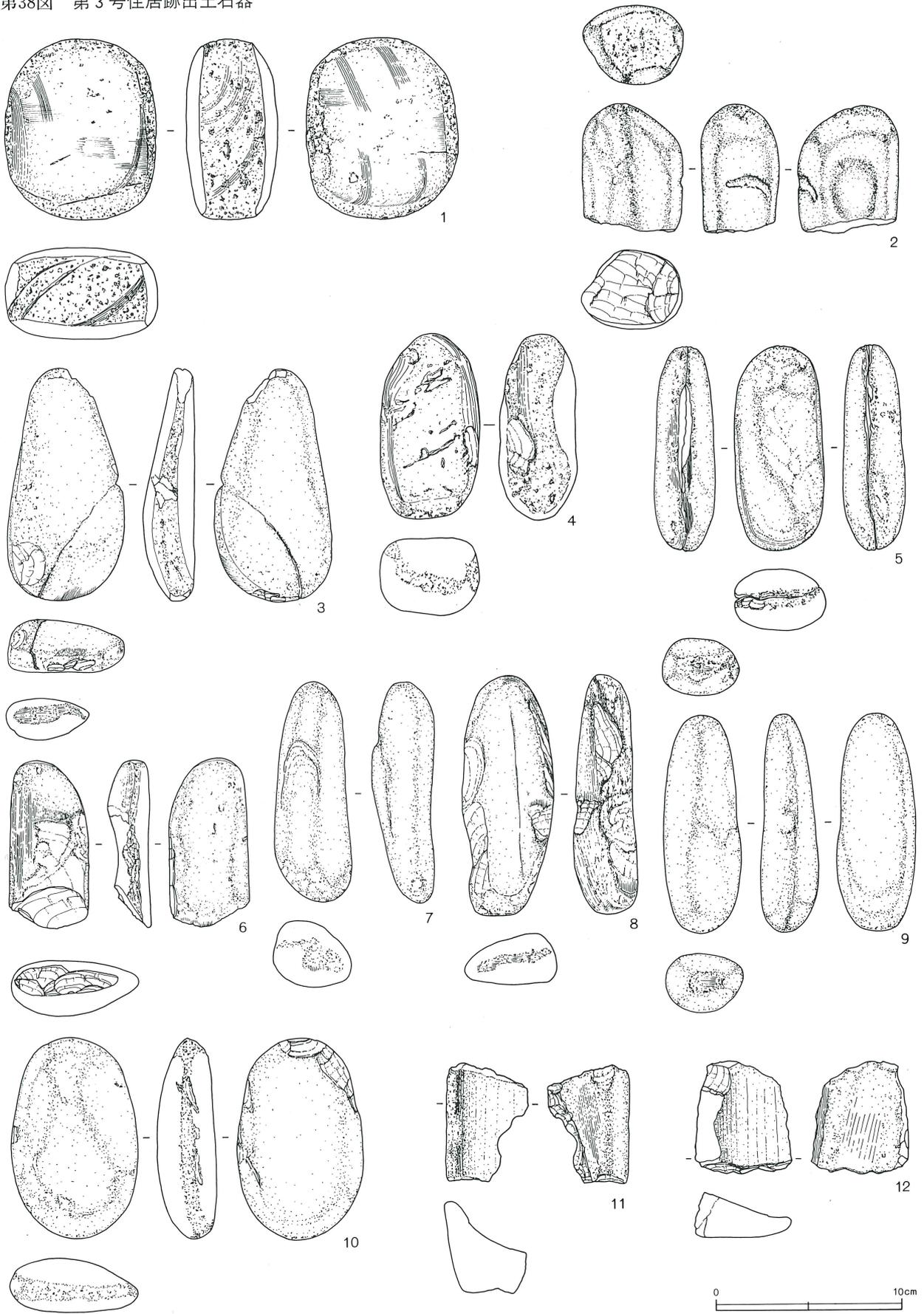
この器種の出土が最も目立っている。しかも単一機能ではなく、すべて敲击磨く両機能を有していたと考えられ、磨石と器種を客観的に分けることは困難である。したがって、形態上の特質と機能上本来第一義はどちらなのかによる分類である。上記磨石の二つの機能が考えられる石器も同様な視点による。

特筆に値することは、第一に、これらの石器は自然礫をほとんどそのまま利用していること、第二に、硬砂岩が目立つこと。第三に、その使用部位から三点の特色が見出せることである。(1)敲击痕が上端下端ともにあるもの、またはいずれかにあり、その使用部位に擦痕が認められるもの。2・7・9。(2)敲击痕が上下と両側面か一方の側面にあり、擦痕が側面主体に認められるもの。3・4・6・8・10。特に6はこの種のキートゥールともいべきもので、対象物を粗い剥離痕及び使用痕のある下半部と正面右側面で敲击研磨し、精緻な擦痕が看取できる剥離縁や左側面で仕上げる使用工程が想定される。(3)5のように敲击痕擦痕ともに両側面にあると考えられるもの。

第37图 第1号·3号住居跡出土石器



第38图 第3号住居跡出土石器



第2表 第1・3号住居跡 出土石器観察表

挿図番号	器種	出土住居跡	石質	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	特記事項	
第37図-1	石 鎌	S J 1	黒 曜 石	1.9	1.55	0.37	0.75	凹基	
	2 石 鎌	S J 3	黒 曜 石	(1.8)	1.75	0.3	0.73	凹基	
	3 打製石斧	S J 1 2層	緑 泥 片 岩	4.3	3.2	0.85	11	短冊形	
	4 搔 器	S J 3	硬 質 頁 岩	4.57	4.3	1.3	26		
	5 削 器	S J 3	緑 泥 片 岩	8.1	4.1	0.98	32		
	6 U F	S J 3	黒 曜 石	3.3	2.1	1.02	4.47	裏面右側縁に強い擦痕	
	7 磨 石	S J 1	輝 石 安 山 岩	7.5	4.8	5.9	239	スス付着	
	8 打製石斧	S J 3	角 閃 石 片 岩	(5.6)	5.7	1.38	40	分銅形 砥石的な要素?	
	9 打製石斧	S J 3	緑 泥 片 岩	(6.86)	5	1.75	90	分銅形	
	10 打製石斧	S J 3	ホルンフェルス	(3.95)	4.71	3	60	分銅形	
	11 打製石斧	S J 3	粘 板 岩	7.17	4.19	1.07	36	分銅形	
	12 打製石斧	S J 3	硬 砂 岩	(8.2)	9.6	2	224	分銅形	
		打製石斧	S J 3	安 山 岩	9.8	6.8	1.98	145	
	13 砥 石	S J 3	石 英 片 岩	14.1	8.5	3.31	540	剥離縁も研磨	
	14 砥 石	S J 3	硬 砂 岩	(3.2)	4.8	2.18	37	剥離縁も研磨転用	
	15 砥 石	S J 3	砂 岩	6.9	4.1	0.9	26	異形被熱	
	16 砥 石	S J 3	緑 泥 片 岩	10.3	7.1	2	180		
	17 磨 石	S J 3	安 山 岩	8.5	6.65	5.03	484	敲き、磨く複合石器	
18 磨 石	S J 3	輝 石 安 山 岩	(8.62)	(6.1)	(3.9)	332			
第38図-1	磨 石	S J 3	花 崗 岩	9.8	8.2	4.9	640	敲き、磨く複合石器	
	2 敲 石	S J 3	花 崗 岩	(6.9)	(5.4)	4.2	230	敲き、磨く複合石器	
	3 敲 石	S J 3	安 山 岩	12.5	6.3	2.83	285	敲き、磨く複合石器	
	4 敲 石	S J 3	硬 砂 岩	10	5.4	4.21	340	敲き、磨く複合石器	
	5 敲 石	S J 3	硬 砂 岩	11.5	4.78	3.85	277	敲き、磨く複合石器	
	6 敲 石	S J 3	硬 砂 岩	9.05	4.32	3.3	120	敲き、磨く複合石器	
	7 敲 石	S J 3	石英角閃石安山岩	11.85	4.19	3.4	257	敲き、磨く複合石器	
	8 敲 石	S J 3	硬 砂 岩	12.9	4.96	3.38	305	敲き、磨く複合石器	
	9 敲 石	S J 3	硬 砂 岩	11.7	3.1	3.12	212	敲き、磨く複合石器	
	10 敲 石	S J 3	硬 砂 岩	10.76	7.82	3.2	333	敲き、磨く複合石器	
	11 石 皿	S J 3	多孔質安山岩	(6.4)	(4.4)	(4.9)	91	後に砥石に転用	
	12 石 皿	S J 3	多孔質安山岩	(6.1)	(5.2)	(2.38)	60	後に砥石に転用	

石 皿 (第38図11・12)

二点とも多孔質安山岩製。大部分欠損し、わずか一部が残るだけである。残存形態からいずれも中央部が大きく凹み、両側が盛り上がる正しく「皿状」を呈していたものと考えられる。この二点も磨石の研磨痕とは異なる擦痕が、11では裏面に溝状に、12でも裏面に看取できる。おそらく石皿として使用した後に打ち割り、手頃な大きさの破片を使って砥石に転用したのではないかと考えられる。

以上のことから住居内出土の石器自体の主たる特質をまとめると、(1)砥石の機能をもった石器が多いが、本来砥石として製作された石器は少量で、他器種との複合石器か他器種からの転用が認められる。(2)打製石斧は欠損品のみで、特に機能上不適と考えられる片岩系の岩石を原材にしている例が目立つ。

第3表 第3号住居跡遺物出土データ

* E-2-1グリッド杭を基点とする。遺物番号が重複するものがある。(単位：m)

グリッド	遺物番号	北→南	西→東	標高	挿図番号	備考	グリッド	遺物番号	北→南	西→東	標高	挿図番号	備考	
D-2-3	132	-0.5	2.58	16.76			D-2-3	400	-0.72	2.52	16.61			
	135	-0.6	2.84	16.71	33図18			402	-0.3	2.2	16.44	32図7		
	175	-0.54	3.12	16.76	28図8			411	-0.08	2.94	16.98	29図4		
	175	-0.54	3.12	16.76	28図8			411	-0.08	2.94	16.98	29図4		
	176	-0.66	3	16.72	33図18			414	-0.15	3.25	16.97			
	217	-0.69	3.35	17.01				415	-0.24	3.14	16.96			
	218	-0.72	3.29	16.83				416	-0.28	3.1	16.89			
	219	-0.67	3.03	16.72	33図18			418	-0.48	2.34	16.85			
	220	-0.64	3.09	16.73				421	-0.12	2.43	16.77			
	249	-0.42	2.92	16.68				424	-0.16	2.62	16.73			
	341	-0.2	3.18	17.01				425	-0.26	2.66	16.71			
	342	-0.7	3.28	16.8				429	-0.58	2.12	16.72			
	343	-0.64	3.12	16.67				432	-0.13	2.52	16.68			
	348	-0.04	2.88	17.02				452	-0.48	2.31	16.72			
	349	-0.04	2.62	16.92				454	-0.78	3.27	16.74			
	350	-0.12	2.56	16.91				455	-0.52	2.54	16.81			
	352	-0.28	2.36	16.86				456	-0.12	2.56	16.91			
	353	-0.27	2.3	16.88				457	-0.27	2.3	16.88			
	354	-0.13	2.42	16.85				463	0	3.25	17.02			
	358	-0.5	2.25	16.53				E-2-1	1	1.03	3	17.02	32図2	
	361	-0.21	1.86	16.79	29図11				1	0.08	2.23	16.11		P 2・3
	373	-0.04	2.62	16.92					2	0.09	2.14	16.06		P 2・3
	374	-0.28	3.01	16.95					2	0.93	3.04	17.06	32図20	
376	-0.25	3.24	16.91			3	0.12		2.02	16.17		P 2・3		
377	-0.22	3.26	16.99			3	0.84		2.95	17.03				
378	-0.27	2.56	16.87			4	0		2.07	16.15		P 2・3		
379	0	3.15	16.89			4	0.65		2.96	16.93	35図7	底部		
380	-0.3	2.96	16.86			5	0.6		2.84	16.8				
381	-0.32	2.7	16.82			6	0.52		3.02	17.06				
382	-0.07	2.04	16.82			7	1.25		2.68	16.6	31図11			
383	-0.7	3.28	16.8			8	0.07		2.11	15.94		P2・3(ニホンジカ)		
384	-0.72	3.29	16.83			8	1.24		2.61	16.95				
385	-0.2	2.74	16.79			9	1.02		2.73	16.94				
386	-0.13	2.9	16.77			10	0.09		2.17	15.8		P 2・3		
387	0	2.38	16.78			10	0.52		2.68	16.94		底部		
388	0	2.27	16.77	28図1		11	0.46		2.6	16.94				
389	-0.54	3.12	16.76			12	0.06		2.02	16.11		P 2・3		
390	-0.68	2.34	16.75			12	0.66		2.56	16.83				
391	-0.2	3.14	16.75			13	0.02		2.12	16.09		P 2・3		
392	-0.67	3.03	16.72			13	0.98		2.3	16.91	34図13			
394	-0.64	3.09	16.73	28図14		14	0		2.12	16.02				
396	-0.37	3.28	16.68			14	1.02		2.16	16.91				
397	-0.53	2.6	16.64			15	0	2.17	16.05		P 2・3			
398	-0.2	2.85	16.67			15	0.78	2.25	16.91					
399	-0.52	2.62	16.67			16	0.66	2.21	16.9	38図3	敲石			

グリッド	遺物番号	北→南	西→東	標高	挿図番号	備考	グリッド	遺物番号	北→南	西→東	標高	挿図番号	備考
E-2-1	17	0.05	2.06	16.02		P 2・3	E-2-1	68	0.51	3.22	16.91		
	17	0.45	2.22	16.79				69	0.48	3.14	16.9		
	18	0.06	2.11	15.73	30図 1	P 2・3		70	0.57	3.1	16.92	89図 2	赤色塗彩土器
	18	0.6	2.07	16.77				71	0.63	3.16	16.92		
	19	0.7	2.07	16.85				72	0.95	3.23	16.96	27図 2	
	20	0.76	2	16.85	32図 8			73	0.92	3.21	16.96	27図 2	
	21	1.04	1.95	16.79				74	1.13	3.1	16.94	27図 2	
	22	0.84	1.95	16.85	28図31			75	0.98	3.06	16.98		
	23	0.96	1.92	16.82				76	0.97	3.04	16.9		
	24	1.08	2.05	16.85	23図 1			77	0.53	3	16.91	28図35	
	25	1.1	1.96	16.82				78	0.55	2.82	16.88		
	26	1.2	2.03	16.89				79	1.25	2.75	16.93		
	27	1.18	1.93	16.88	29図 9			80	0.98	2.67	16.92		
	28	1.1	1.84	16.79				81	0.9	2.69	16.91		
	29	1.2	1.74	16.78	35図 5	底部		82	0.54	2.47	16.8		
	30	0.63	1.88	16.81				83	0.7	2.46	16.88	89図11	赤色塗彩土器
	31	0.67	1.81	16.81				84	0.87	2.5	16.85		
	32	1.06	1.69	16.79				85	0.82	2.42	16.79		
	33	0.88	1.65	16.8				86	1.06	2.4	16.85		
	34	0.94	1.62	16.81				87	1.2	2.23	16.92		
	35	1.04	1.62	16.72	38図 4	敲石		88	0.8	2.08	16.85		
	36	1.23	1.53	16.75				89	1.25	1.88	16.79	38図12	石皿
	37	0.94	1.52	16.78				90	1.15	1.82	16.78		
	38	0.8	1.52	16.77				91	1.04	1.76	16.74		
	39	0.62	1.56	16.79				92	0.93	1.66	16.75		
	40	1.03	1.42	16.77				93	0.88	1.78	16.73		
	41	0.9	1.41	16.71	37図17	磨石		94	0.97	1.82	16.74		
	42	0.98	1.34	16.77				95	0.7	1.81	16.71	36図25	底部
	49	1.31	2.97	17.07				96	0.99	1.9	16.79		
	50	1.42	2.97	17.08				97	0.95	1.73	16.71	31図 1	
	51	1.41	2.93	17.02				98	0.48	1.67	16.77		
	52	1.59	2.65	17.11				99	0.51	1.62	16.71	24図 2	
	53	1.31	2.61	16.97	27図 2			100	1.04	1.58	16.63		
	54	1.61	2.65	17.06				101	0.65	1.5	16.65		底部
	55	1.68	2.53	16.99				102	0.74	1.47	16.62		
	56	1.93	2.58	17.04				103	0.79	1.62	16.63		
	57	1.81	2.85	17.09				104	1.02	1.67	17		
	58	1.42	1.62	16.88	24図 2			105	1.49	3.28	16.71		
	59	1.54	1.46	16.84	24図 2			106	1.18	1.58	16.72		
	60	0.7	3	16.96				107	0.94	1.37	16.73	36図10	底部
	61	0.8	3.08	17.06				108	0.95	2.27	16.58		
	62	0.67	2.72	16.94				109	1.47	3.28	17.16		
	63	0.51	2.6	16.92				110	1.54	3.3	17.34		
	65	1.04	1.78	16.81				111	1.52	3.25	17.21		
	66	0.91	1.64	16.79				112	1.48	3.22	17.09		底部
	67	1.29	1.66	16.84				113	1.53	3.06	17.05		

グリッド	遺物番号	北→南	西→東	標高	挿図番号	備考	グリッド	遺物番号	北→南	西→東	標高	挿図番号	備考
E-2-1	114	1.63	3.21	17.14			E-2-1	209	0.93	3.09	16.7	27図2	磨石
	115	1.67	3.11	17.05				210	1.09	3.17	17.02	38図1	
	116	1.85	2.36	16.97	23図7・27図1			211	1.44	1.96	16.82	24図2	
	117	1.66	2.5	16.97				212	1.34	1.96	16.74	29図3	
	118	1.48	2.42	16.98				213	1.14	3.2	17.02		
	119	1.33	2.26	16.93	33図11			214	1.18	3.06	17.02	31図23	
	120	1.31	2.06	16.91	28図11			215	1.3	3.04	16.96	27図2	
	121	1.77	2.15	16.92		底部		216	1.44	3	16.97		
	122	1.52	2	16.87				217	1.07	1.91	16.74	30図32	
	123	1.78	1.94	16.82				218	1.64	3.09	16.96	24図6	
	124	1.33	2.68	16.85				219	2.64	2.26	16.89		
	125	1.62	1.52	16.83				220	1.76	3.33	17.01	32図12	
	126	1.6	1.38	16.76	31図16			221	1.8	3.24	17.01		
	127	1.71	1.48	16.78				222	2.48	2.22	16.96		
	128	1.83	1.6	16.76	29図1			223	2.54	2.02	16.83	28図38	
	130	1.73	1.09	16.76				224	2.44	2.04	16.83		
	152	3.45	2.1	16.98	37図18	磨石		225	1.96	3	17.06	31図24・33図9	
	167	2.94	0.94	16.73				226	2.04	3.04	17.06		
	172	0.56	1.64	16.65	36図1	底部		227	2.1	3.18	17.08		
	173	0.59	1.72	16.68	35図10	底部		228	2.18	3.06	17.04		
	174	0.77	1.96	16.73	89図8	赤色塗彩土器		229	2.34	2.72	16.98		
	176	1.58	1.75	16.77	25図2・36図19	底部		230	2.48	2.6	16.95	32図3	
	177	1.62	1.69	16.7				231	2.68	2.64	17.01	30図18	
	178	1.9	1.88	16.73	27図4・35図1	底部		232	2.74	3.07	17.16		
	179	1.85	1.78	16.72				233	2.82	3.21	17.08		
	180	2	1.83	16.77	34図15			234	2.92	3.04	17.06		
	181	2.05	1.34	16.75		底部		234	3.74	2.58	17		
	182	2.1	1.73	16.82				235	3	2.98	17.08		
	183	2.32	1.76	16.87				236	3.42	3.06	17.14		
	184	2.42	1.84	16.85	35図6	底部		237	3.46	3.14	17.12		
	185	2.4	1.07	16.71				238	3.68	2.86	17		
	186	3.2	1.83	16.96				239	3.38	2.88	17.03		
187	2.98	1.07	16.76			240	3.6	3.24	17.09				
188	3.28	1.16	16.88			241	3.84	3.12	17.11				
189	3.27	1.1	16.87			242	4	3.14	17.13				
190	3.8	1.54	16.95	24図5		243	4.08	3.22	17.04				
194	4.33	3.31	16.87			244	4.12	3.18	17.02				
197	0.46	2.85	16.93			245	4.18	3.18	17.04				
198	0.49	2.95	16.89			246	2.77	2.72	17.09				
199	0.89	2.28	16.83		軽石	247	4.64	3.14	17.07				
200	1.27	2.46	16.92	27図2・33図12		248	0.54	1.94	16.69	24図1			
204	0.44	3.24	16.96	27図2		249	0.34	2.12	16.71	30図14			
205	0.74	3.21	16.95	36図26	底部	250	0.54	2.14	16.69				
206	0.58	3.14	16.96	25図4		251	0.5	2.18	16.73	36図23			
207	0.86	3.12	17.01	34図20		252	0.64	2.5	16.8				
208	2.08	2.28	16.91	38図2	敲石	253	0.68	2.62	16.81				

グリッド	遺物番号	北→南	西→東	標高	挿図番号	備考	グリッド	遺物番号	北→南	西→東	標高	挿図番号	備考
E-2-1	254	0.8	2.58	16.81			E-2-1	300	2.02	2.36	16.93		
	255	0.78	2.46	16.79				301	2.48	2.78	16.98		
	256	0.95	2.9	16.88				302	2.63	2.8	16.99		
	257	1	2.7	16.85				303	2.66	2.94	17.02		
	258	0.74	2.12	16.7				304	2.76	2.68	16.97	29図6	
	259	1.1	2.22	16.78				305	3	2.82	17	24図7	
	260	1.06	2.34	16.76	31図8			306	2.86	2.64	16.94		
	261	1.14	2.78	16.94	24図6			307	2.63	2.44	16.97		
	262	1.42	2.82	16.96				308	2.48	2.36	16.91		
	263	1.46	2.9	16.96				309	2.86	2	16.9		
	264	1.5	2.98	16.94	28図27			310	2.98	2.27	16.92		
	265	1.4	2.6	16.93				311	3.16	2.4	16.95	36図13	底部
	266	1.48	2.46	16.86	36図22	底部		312	3.22	2.92	17.12	35図8	底部
	267	1.54	2.26	16.85				313	3.18	2.88	17.07		
	268	1.44	2.18	16.78				314	3.16	2.82	17.03		
	269	1.64	2.13	16.8				315	3.44	2.98	17.07		
	270	1.68	2.08	16.81				316	3.42	2.86	17.04		
	271	1.72	2.06	16.79				317	2.34	2.64	17.02		
	272	1.74	2.12	16.9				318	3.47	2.54	17		
	273	1.76	2.08	16.82				319	3.53	2.46	16.95	29図15	
	274	1.74	2.38	16.89				320	3.38	2.3	16.93		
	275	2.64	2.18	16.86	38図11	石皿		321	3.88	2	16.88		
	276	2.64	2.71	16.97	38図5	敲石		322	3.78	2.48	16.98		
	277	2.58	2.52	16.98	38図5	敲石		323	3.86	2.18	17		
	278	1.7	2.55	16.94	27図1			325	3.84	2.68	17.05		
	279	1.6	2.72	16.95				326	4.08	2.58	16.99		
	280	1.66	2.92	16.94	37図9	打製石斧		327	4.12	2.68	17.03		
	281	1.72	2.92	16.97	24図6			328	4.28	2.72	16.96		
	282	1.8	2.9	16.99				329	4.26	2.94	17.03		
	283	1.82	2.92	17.04				330	4.44	3.26	17.12		
	284	1.86	2.88	17.04				331	4.98	3.28	17.16		
	285	1.78	2.84	16.7				332	4.8	2.74	17.04		
	286	1.84	2.76	16.8		底部		338	0.52	1.88	16.65		
287	2.08	2.9	17.01			339	0.64	1.96	16.66				
288	2.14	2.92	17.02			340	0.86	1.92	16.68				
289	2.2	2.94	17.01	24図7		341	1.36	1.9	16.72	34図14			
290	2.38	2.46	16.96			342	1.96	1.96	16.74				
291	2.24	2.84	17			343	2.16	1.94	16.77				
292	1.04	2.08	16.94			344	2.14	1.84	16.75				
293	2.12	2.78	16.99			345	2.32	2	16.79				
294	2.24	2.78	17.01			346	2.36	1.76	16.79	38図6	敲石		
295	2.16	2.62	17.02	32図13・34図24		347	2.16	1.29	16.67				
296	2.52	2.38	16.91			348	2.46	1.35	16.74				
297	2.04	2.48	16.96			349	2.54	1.06	16.69				
298	2.18	2.22	16.86			350	2.48	1.78	16.8				
299	2.13	2.38	16.97	33図7		351	2.52	1.86	16.84				

グリッド	遺物番号	北→南	西→東	標高	挿図番号	備考	グリッド	遺物番号	北→南	西→東	標高	挿図番号	備考	
E-2-1	352	2.8	1.78	16.8		削器	E-2-1	407	1.48	3.14	16.86			
	353	2.74	1.62	16.83	37図5			408	1.54	3.06	16.86			
	354	2.96	1.84	16.87				409	1.56	2.77	16.9			
	355	3.2	1.36	16.85				410	1.34	2.86	16.84			
	356	3.4	1.42	16.86				411	1.52	2.52	16.82			
	357	3.32	1.82	16.83	28図37			412	1.74	2.56	16.88			
	358	3.41	1.78	16.86				413	1.82	2.57	16.88	28図43		
	359	3.74	1.66	16.85				414	1.73	2.74	16.95			
	360	3.78	1.86	16.96				415	1.76	2.36	16.85			
	361	3.87	1.8	16.98				416	1.74	2.24	16.8	30図23		
	371	0.36	2.94	16.95				417	1.92	2.21	16.8			
	372	0.64	3.12	16.84	30図11			418	2	2.32	16.84			
	373	0.56	3.34	16.86	32図5			419	2.1	2.22	16.87			
	374	0.63	3.39	17				420	2.08	2.38	16.89			
	375	0.74	3.34	16.9				421	1.96	2.48	16.87			
	376	0.9	3.34	16.97				422	2.08	2.62	16.86			
	377	0.88	3.19	17.01				423	1.92	2.8	16.91			
	378	0.98	3.1	16.88				424	2	2.93	16.89			
	379	1.12	2.97	16.81				425	2.06	2.73	16.89	28図10・32図17		
	380	1.14	2.9	16.82	25図7			426	2.18	2.82	16.9			
	381	1.26	2.96	16.84	33図31			427	1.92	3.12	16.88			
	382	1.24	3.06	16.9	32図4			428	1.8	3.1	16.88			
	383	1.63	2.53	16.87	23図2			429	1.73	3.11	16.86			
	384	1.18	3.16	16.92				430	1.84	2.91	16.88			
	385	2.5	3.3	17.21				431	1.72	3.25	16.86			
	386	2.48	3.28	16.94	28図29			432	1.9	3.28	16.89	30図15		
	387	0.73	2.71	16.82				433	2.1	3.18	16.98			
	388	0.78	2.64	16.8				434	0.54	1.9	16.64			
	389	0.96	2.78	16.82	32図10			435	0.9	1.96	16.66			
	390	0.58	2.34	16.74				436	2.76	1.76	16.79			
	391	0.73	2.14	16.68	30図30			437	3.07	1.7	16.8			
	392	0.98	2.48	16.77				438	3.24	1.48	16.78			
	393	1.06	2.6	16.81	34図13			440	3.19	1.78	16.84			
	394	1.1	2.46	16.78				442	3.3	1.82	16.8			
	395	1.12	2.4	16.76				444	2.24	3.14	16.99			
	396	1.06	2.12	16.7	37図8			445	2.18	3.26	17.03			
	397	1.42	2.08	16.68	23図4・30図28・34図14			447	2.09	3	16.92	89図6		赤色塗彩土器
	398	1.52	2.22	16.77				448	2.14	2.92	16.89	30図29		
	399	1.32	2.52	16.74	28図25			449	2.28	2.88	16.98			
	400	1.36	2.6	16.81				450	2.16	2.73	16.89			
	401	1.2	2.74	16.8				451	2.12	2.78	16.82	23図3・30図21		
	402	1.6	2.96	16.82	34図22			452	2.28	2.58	16.89	89図6		赤色塗彩土器
	403	1.33	2.76	16.89				453	2.18	2.58	16.9			
	404	1.42	2.66	16.82				454	2.23	2.5	16.85	23図3		
	405	1.34	2.96	16.88				455	2.36	2.5	16.89			
	406	1.44	3	16.86		456		2.36	2.35	16.88				

グリッド	遺物番号	北→南	西→東	標高	挿図番号	備考	グリッド	遺物番号	北→南	西→東	標高	挿図番号	備考				
E-2-1	457	2.38	2.3	16.88	28図17		E-2-1	511	3.69	2.27	16.93						
	458	2.4	2.28	16.86				512	3.54	2.48	16.9						
	459	2.24	2.22	16.8				513	3.42	2.93	16.95						
	460	2.7	2.14	16.86				514	3.3	3.08	17.03						
	461	2.74	2.28	16.87				515	3.28	3.18	16.98						
	462	2.82	2.16	16.89				516	3.38	3.06	17.01						
	463	2.88	2.24	16.92				517	3.43	3.13	17.01						
	465	2.82	2.34	16.9				518	3.48	3.22	17.06						
	466	2.74	2.38	16.9				519	3.54	3.13	17.01						
	467	2.84	2.42	16.9				520	3.58	3.09	17.03						
	468	2.9	2.57	16.9				521	3.63	3.23	17.05			36図7	底部		
	469	2.54	2.44	16.9				23図7	522	3.56	2.91			17	34図29	底部	
	470	2.62	2.56	16.95				23図3・24図7・32図17	523	3.74	2.95			17.03			
	471	2.52	2.58	16.92					524	3.82	3			16.98			
	473	2.36	2.88	16.93					525	3.68	2.77			16.94			
	474	2.58	2.82	16.95				31図12	526	3.82	2.65			16.97			31図6
	475	2.43	3	16.98				34図9	527	3.8	2.48			16.96			29図12
	476	2.54	2.98	16.98	36図27			528	3.98	2.76	16.97			24図3			
	477	2.54	3.03	16.99				529	4.02	3.19	17.02						
	478	2.46	3.17	17.01				530	4.2	3.02	17						29図5
	479	2.6	3.12	17.04				532	4.32	2.68	16.97						28図26
	480	2.39	3.18	16.98				533	4.48	2.77	17						
	481	2.62	3	16.93				534	4.66	3.03	17						
	482	2.68	3.12	17				535	4.73	3.02	17.01						
	483	2.71	3.16	17.05				536	4.78	3.18	17.07						
	485	2.78	3.11	17.08				537	4.92	3.08	17.05						
	486	2.73	2.9	16.93				538	4.86	2.96	16.99						
	487	2.85	2.95	16.95	541			3.8	1.88	16.9	23図3						
	488	2.96	3	16.99	563			2.1	3.22	16.97							
	489	2.98	3.07	16.97	564			2.27	3.25	16.94							
	493	3.06	3.07	16.94	565			2.32	3.17	16.9							
495	3.18	2.92	16.96	566	2.44	3.19	16.94										
496	2.89	2.64	16.94	567	2.48	3.08	16.93										
498	3.04	2.68	16.95	568	2.42	2.92	16.9										
499	3.24	2.82	17	569	2.28	2.32	16.85										
500	3.23	2.71	16.96	571	2.9	2.28	16.89										
501	3.36	2.64	16.96	572	3.06	2.21	16.87	28図19									
502	3.36	2.46	16.91	573	3.34	2.66	16.92	32図14									
503	3.32	2.4	16.94	575	3.56	2.69	16.9	29図14									
504	3	2	16.85	577	3.36	3.13	16.98										
505	3.16	2.05	16.87	578	3.65	2.43	16.9										
506	3.28	2.12	16.87	580	4.12	2.89	17										
507	3.36	2.04	16.89	581	4.17	2.68	16.96										
508	3.48	2.47	16.9	583	4.2	3.19	16.98										
509	3.56	2.28	16.9	584	4.41	3.03	16.98										
510	3.64	2.16	16.92	30図9	587	4.96	3.04		17.02								

グリッド	遺物番号	北→南	西→東	標高	挿図番号	備考	グリッド	遺物番号	北→南	西→東	標高	挿図番号	備考
E-2-1	588	2.74	3	16.92			E-2-1	647	0.85	2.38	16.62		
	594	1.36	1.12	16.55	28図5			648	0.75	2.46	16.67	34図3	
	595	1.49	1.92	16.66				649	0.85	2.45	16.64		
	596	1.77	1.7	16.64	38図7	敲石		650	0.8	2.61	16.7		
	597	2.01	1.92	16.71				651	0.95	2.48	16.66		
	598	2.4	1.91	16.77				652	0.98	2.49	16.64		
	599	2.4	2	16.75				653	0.9	2.52	16.66		
	600	2.45	1.92	16.77	27図4			654	0.9	2.6	16.68	34図11	
	601	2.62	1.88	16.74				655	0.78	2.66	16.76		
	602	2.63	1.96	16.74				656	0.93	2.66	16.76	25図1	
	603	2.61	2	16.76				657	0.98	2.76	16.75		
	604	2.79	1.7	16.71				658	0.82	2.72	16.71		
	605	2.74	1.85	16.67	25図3			659	0.75	2.7	16.72		
	606	3	1.8	16.65	26図1	注口土器		660	0.8	2.74	16.7		
	607	3.17	2.75	16.81				661	0.84	2.8	16.74		
	608	3.1	1.85	16.77				662	0.73	2.78	16.73		
	609	3.18	1.8	16.82	27図4			663	0.67	2.78	16.69		
	610	3.19	1.85	16.78				664	0.72	3.16	16.65		
	611	3.17	1.75	16.78				665	0.5	3.13	16.77		
	612	3.02	1.9	16.74	27図4			666	0.59	3.13	16.72		
	613	2.97	1.96	16.72				667	0.61	3.12	16.67		
	614	3.07	1.98	16.75	27図4			668	0.67	3.32	16.71		
	615	3.3	1.85	16.74	28図23			669	0.53	3.4	16.71		
	616	3.27	1.93	16.74				670	0.6	3.29	16.65		
	617	3.35	1.9	16.75				671	0.8	3.3	16.79	34図2	
	619	3.43	1.96	16.81				672	0.98	3.32	16.83		
	620	3.66	1.7	16.76				673	0.91	3.27	16.83	25図6	
	621	3.65	1.9	16.79	36図20	底部		674	0.92	3.13	16.81		
	622	3.77	1.8	16.81				675	0.96	3.07	16.81		
	623	3.83	1.91	16.84				676	1.03	3.22	16.82	37図13	砥石
	631	0.47	2.1	16.65				677	1	3.03	16.76		
632	0.5	2.15	16.65			678	0.97	2.87	16.74				
633	0.52	2.07	16.65			679	1.06	2.79	16.76				
634	0.58	2.13	16.67			680	1.17	2.76	16.76				
635	0.65	2.16	16.68			683	1.05	2.86	16.66				
636	0.55	2.18	16.68			684	1.1	2.97	16.67				
637	0.55	2.22	16.67			685	1.04	3	16.69				
638	0.52	2.22	16.65			686	1.06	2.92	16.67				
639	0.62	2.28	16.65	28図40		687	1.02	2.94	16.69				
640	0.57	2.4	16.72	33図21		688	1.19	2.93	16.68	33図26			
641	0.85	2.27	16.68	23図4		689	1.33	3.08	16.82				
642	0.88	2.21	16.67			690	1.25	3.16	16.82				
643	0.81	2.31	16.63			691	1.18	3.15	16.78				
644	0.77	2.33	16.6			692	1.33	2.9	16.78				
645	0.79	2.34	16.6	31図13		693	1.36	2.85	16.78				
646	0.84	2.36	16.61			694	1.3	2.79	16.77				

グリッド	遺物番号	北→南	西→東	標高	挿図番号	備考	グリッド	遺物番号	北→南	西→東	標高	挿図番号	備考
E-2-1	695	1.46	2.8	16.77			E-2-1	742	1.45	3.22	16.74		
	696	1.51	2.75	16.77				743	1.23	3.31	16.77		
	697	1.57	2.76	16.76				744	1.48	3.28	16.8		
	698	1.45	2.72	16.76	30図24			745	1.6	3.2	16.78		
	699	1.51	2.7	16.77				747	1.7	3.23	16.79	31図21	
	700	1.53	2.52	16.76	33図27			748	1.73	2.28	16.84		
	701	1	2.65	16.68				749	1.75	3.22	16.8	30図19	
	702	1.05	2.7	16.69				750	1.78	3.2	16.79		
	703	1.1	2.59	16.65				751	1.85	2.09	16.71		
	705	1.19	2.48	16.66				752	1.83	2.08	16.71		
	706	1.23	2.48	16.66				753	1.88	2.06	16.71		
	707	1.25	2.52	16.65				754	1.98	2.05	16.72		
	708	1.24	2.56	16.65				755	1.95	2.07	16.73		
	709	1.27	2.62	16.67				756	2.01	2.15	16.73		
	710	1.2	2.59	16.66				757	1.98	2.12	16.73		
	711	1.19	2.56	16.63	30図32			758	1.92	2.17	16.72		
	712	1.2	2.7	16.66				759	1.94	2.22	16.72		
	713	1.3	2.73	16.67	28図21			760	1.85	2.28	16.71	28図22	
	714	1.27	3.76	16.67	30図31			761	1.84	2.34	16.71	23図4	
	715	1.36	2.55	16.68				762	1.85	2.3	16.68	26図3	
	716	1.34	2.5	16.65				763	1.78	2.35	16.68	25図8	
	717	1.3	2.51	16.61	36図25			764	2.03	2.22	16.74		
	718	1.4	2.64	16.67				765	2.07	2.13	16.73		
	719	1.4	2.38	16.75	28図9			766	2.1	2.28	16.69	35図4	底部
	720	1.49	2.32	16.75				767	2.15	2.13	16.73		
	721	1.34	2.37	16.67				768	2.3	2.14	16.72		
	722	1.3	2.43	16.64				769	2.28	2.1	16.72	23図4	
	723	1.3	2.28	16.66	33図17			770	2.41	2.02	16.77	25図2	
	724	1.39	2.26	16.67				772	2.21	2.34	16.74		
	725	1.54	2.36	16.73				773	2.22	2.38	16.81		
	726	1.6	2.34	16.74				774	2.29	2.42	16.82		
	727	1.68	2.36	16.74				775	2.3	2.42	16.83		
	728	1.65	2.29	16.7				776	2.29	2.51	16.84		
	729	1.6	2.2	16.68				777	2.28	2.58	16.83		
	730	1.5	2.25	16.74				778	2.34	2.6	16.84	33図29	
	731	1.51	2.53	16.68	30図22			779	2.39	2.53	16.82		
	732	1.56	2.47	16.68				780	2.41	2.46	16.77		
	733	1.67	2.53	16.68				781	2.35	2.29	16.74		
	734	1.67	2.83	16.8				782	2.37	2.23	16.73		
	735	1.65	2.88	16.8				783	2.52	2.17	16.77	25図2	
	736	1.56	2.88	16.79				784	2.42	2	16.76		
737	1.28	3	16.66		底部	785	2.52	2.26	16.74				
738	1.29	3	16.66	28図18		786	2.45	2.47	16.76				
739	1.19	3	16.66	33図4		787	2.5	2.53	16.76				
740	1.21	3.02	16.67			788	2.58	2.36	16.8				
741	1.18	3.08	16.68			789	2.57	2.45	16.82				

グリッド	遺物番号	北→南	西→東	標高	挿図番号	備考	グリッド	遺物番号	北→南	西→東	標高	挿図番号	備考	
E-2-1	790	2.67	2.41	16.81	30図27	底部	E-2-1	838	2.5	3.14	16.85	24図7	底部	
	791	2.52	1.97	16.68				839	2.49	3.16	16.84			
	792	2.58	2.1	16.73				840	2.52	3	16.88			
	793	2.6	2.08	16.76				841	2.59	3.05	16.87			
	794	3.16	2.03	16.82				842	2.64	3.03	16.88			
	795	2.73	2.14	16.81				843	2.69	3.13	16.84			
	797	2.69	2.1	16.8				844	2.7	3.04	16.89			
	798	2.73	2.25	16.74				845	2.73	3.14	16.8			
	799	2.66	2.27	16.74				846	2.75	3	16.88			
	800	2.89	2.04	16.82				847	2.7	2.95	16.84			
	801	2.87	2.06	16.79				848	2.73	2.95	16.82			
	802	2.86	2.16	16.81				36図5	849	2.74	2.93			16.8
	803	2.92	2.17	16.81				34図16	850	2.55	2.94			16.83
	804	2.93	2.2	16.8					851	2.61	2.89			16.86
	805	2.98	2.03	16.76	28図34			852	2.69	2.9	16.88			
	806	3.05	2.13	16.79				853	2.51	2.85	16.85			
	807	3.04	2.16	16.83	23図7			854	2.39	2.79	16.79			
	808	2.9	2.29	16.82				855	2.5	2.69	16.83			
	809	2.98	2.33	16.75				856	2.47	2.69	16.85			
	810	3.05	2.13	16.8				857	2.84	2.84	16.78			
	811	2.78	2.38	16.74				859	2.89	2.8	16.81			
	812	2.73	2.39	16.77				860	2.66	2.96	16.85			
	813	2.8	2.49	16.82				862	2.95	2.63	16.78			
	814	2.74	2.49	16.86				863	2.97	2.48	16.8			
	815	2.78	2.53	16.8				865	3.09	2.68	16.9			
	816	2.79	2.57	16.85				866	3.45	2.03	16.82			
	817	2.7	2.54	16.8	867			3.56	2.03	16.82				
	818	2.7	2.71	16.75	868			3.66	2.03	16.83				
	819	2.62	2.77	16.85	869			3.35	2.17	16.77				
	821	1.85	3.33	16.8	870			3.34	2.19	16.77				
	822	1.9	3.27	16.82	872			2.95	3	16.87				
	823	1.98	3.21	16.8	873			2.91	3.04	16.79				
	824	2.13	3.27	16.88	874			2.86	3.13	16.82				
	825	2.11	3.2	16.87	23図3			875	2.93	3.14	16.91			
826	2.02	3.14	16.84	36図2	876	2.92	3.09	16.91						
827	2.1	3.07	16.84		877	2.98	3.04	16.88						
828	2.15	3.12	16.81		879	3.09	2.86	16.89						
829	2.18	3.19	16.87		880	3.2	2.67	16.84						
830	2.2	3.18	16.88		881	3.26	2.88	16.86						
831	2.22	3.2	16.88		23図3	882	3.17	3	16.93					
832	2.27	3.26	16.88		32図15	883	3.06	3.11	16.89					
833	2.31	3.24	16.88			884	3.3	3.15	16.91					
834	2.32	3.17	16.89			885	3.36	3.07	16.9					
835	2.37	3.22	16.81			886	3.39	3.18	16.92					
836	2.45	3.25	16.83	887		3.49	3.12	16.91						
837	2.5	3.21	16.85	888		3.52	3.19	16.96						

グリッド	遺物番号	北→南	西→東	標高	挿図番号	備考	グリッド	遺物番号	北→南	西→東	標高	挿図番号	備考
E-2-1	890	3.35	2.87	16.86	31図4	底部	E-2-1	941	4.49	2.8	16.92	27図3	底部
	891	3.48	2.83	16.94				942	4.03	3	16.95	34図23	
	892	3.5	2.72	16.88				943	4.12	3.1	16.95		
	893	3.41	2.68	16.88				944	4.2	3.17	16.97		
	895	3.69	2.69	16.85				945	4.2	3.21	16.97		
	896	3.65	2.8	16.9				946	4.23	3.26	16.96	34図17	
	898	3.65	3	16.83				947	4.24	3.12	16.97		
	899	3.57	3.08	16.84				948	4.18	3.08	16.97		
	900	3.62	3.07	16.85				949	4.28	3.13	16.95		
	901	3.69	3.22	17.03				950	4.36	2.95	16.91		
	902	3.64	3.1	16.86				951	4.35	3.09	16.96		
	903	3.7	3.13	16.92				952	4.4	3.06	16.95	33図6	
	904	3.73	3.08	16.9				954	4.5	3.23	16.97		
	906	3.9	3.1	16.94				955	4.52	3.1	16.96		
	907	3.74	2.71	16.84				956	4.5	3	16.97		
	908	3.86	2.67	16.9				957	4.51	2.96	16.96		
	909	3.96	2.68	16.91				958	4.52	2.93	16.96		
	911	3.96	2.9	16.97				959	4.52	2.89	16.95		
	912	4.05	2.92	16.96	960			4.51	2.89	16.94	30図26		
	913	4.04	2.97	16.96	961			4.55	3	16.97			
	914	3.98	3	16.98	963			4.63	2.93	16.95			
	915	3.97	3.1	16.97	964			4.69	3.21	16.96			
	916	4.09	3.24	16.95	965			4.72	3.16	16.97			
	917	4.07	3.11	16.96	966			4.65	3.04	16.95			
	918	4.07	3.07	16.96	967			4.67	2.94	16.97			
	919	4.1	3.08	16.96	968			4.67	2.89	16.96			
	920	4.13	3	16.96	969			4.74	3.15	16.97			
	921	3.75	2.08	16.88	971			4.85	3.24	17.02			
	922	3.86	2.04	16.83	972			4.95	3.2	17.01			
	923	3.9	2	16.86	973			4.9	3.18	16.96			
	924	3.7	2.83	16.91	974			4.87	3	16.95			
	925	4.05	2.5	16.89	975			4.82	3	16.92			
	926	4.13	2.5	16.87	976			4.72	2.86	16.96			
	927	4.25	2.55	16.93	980			5	3.16	17	32図19		
	928	4.3	2.48	16.9	981			1.75	2.22	16.62	26図3		
	929	4.3	2.56	16.89	983			2.3	2.14	16.71			
930	4.29	2.61	16.84	989	4.76	2.57	16.92						
931	4.25	2.56	16.93	990	4.56	2.43	16.91						
932	4.27	2.7	16.84	992	4.24	2.71	16.82						
933	3.9	2.5	16.86	993	3.48	3.03	16.94						
934	4.1	2.84	16.89	994	3.24	2.85	16.87						
935	4.08	2.9	16.91	995	2.94	2.91	16.79						
936	4.17	2.9	16.94	996	2.91	2.69	16.79						
937	4.24	2.87	16.94	997	2.59	2.97	16.85						
938	4.39	2.8	16.96	998	2.51	2.7	16.82	34図27					
939	4.46	2.76	16.96	999	3.15	2.02	16.78						

グリッド	建物番号	北→南	西→東	標高	挿図番号	備考	グリッド	建物番号	北→南	西→東	標高	挿図番号	備考	
E-2-1	1000	4.34	3	16.94			E-2-1	1050	3.55	2.05	16.79	35図3	底部	
	1001	0.43	3.18	16.34				1051	3.1	2.05	16.68	28図28・33図5		
	1002	0.48	3.24	16.32				1053	3.1	2.3	16.73	23図5・26図3		
	1004	0.89	3.15	16.62				1054	3.15	2.45	16.7			
	1005	1	3.24	16.7	31図19			1055	4.2	2.4	16.69			
	1006	0.86	2.9	16.62				1056	3.3	2.45	16.73	34図7		
	1007	0.87	2.64	16.69				1057	3.2	2.6	16.74			
	1008	1	2.64	16.64				1059	2.8	2.45	16.7	28図20		
	1009	1.14	2.66	16.67	36図24	底部		1060	2.7	2.45	16.69			
	1011	1.2	2.8	16.62				1064	4.1	2.3	16.8			
	1012	1.3	2.62	16.63	33図20	底部		1065	4.4	2.8	16.81	27図3・32図18		
	1013	1.4	2.75	16.67	36図17	底部		1066	4.7	3	16.93	34図18		
	1014	1.55	2.7	16.67	23図1			1067	3.08	2.5	16.86	24図4・25図5		
	1015	1.3	3.15	16.77				1068	3.6	2.8	16.79	25図9・33図9		
	1016	1.3	3.15	16.75	37図14	砥石		1069	4.35	3.2	16.91	36図14		底部
	1017	1.2	2.95	16.76				1070	4.25	3.1	16.86			
	1018	1.35	3.25	16.67				1071	3.7	2	16.79			
	1019	1.45	3.25	16.66	30図25			1072	3.8	2	16.73	35図12		底部
	1020	1.3	3.2	16.73				1073	3.75	1.85	16.75	33図22		
	1022	1.5	2.95	16.67				1081	2.6	2.85	16.81	30図5・33図1		
	1023	1.6	3	16.69	37図16	砥石		1082	2.5	3.05	16.83	24図7		
	1024	1.8	3	16.7				1083	1.35	3.1	16.73			
	1025	1.7	2.8	16.67				1084	1.65	3.05	16.73			
	1026	1.65	2.7	16.62				1085	2.4	2.85	16.63	26図3・30図4		
	1027	1.6	2.55	16.64	25図8			1086	2.2	2.9	16.64	31図17		
	1028	1.45	2.35	16.63	27図4・28図39・33図3-19			1087	2.3	3.1	16.66			
	1029	0.9	2.2	16.55	33図24			1088	2.9	2.95	16.76	34図10		
	1030	1.55	2.45	16.61				1090	3.25	2.9	16.85	32図15		
	1031	1.7	1.95	16.6				1091	3	2.8	16.68			
	1032	2.1	2.1	16.66	26図2・31図15・33図16			1092	3.1	2.95	16.82			
	1033	2.45	2.6	16.79				1093	3.15	2.8	16.7			
	1034	1.25	2.3	16.63	25図2			1094	3.15	3	16.88			
	1035	1.9	2.1	16.68	25図8			1095	3.2	3.1	16.89			
	1037	1.85	2.75	16.7	36図30	底部		1096	3.35	2.65	16.69			
	1038	2.05	2.55	16.7	23図4・34図4			1097	3.2	2.75	16.71	36図12		底部
	1039	2.05	2.65	16.7				1098	2.05	1.8	16.66	37図15		砥石
	1040	1.9	2.72	16.65	25図3			1099	2.2	1.75	16.69			
	1041	2.3	2.2	16.64	28図32・30図34			1100	2.3	1.7	16.67			
	1042	2.3	2.4	16.72	25図5・23図4・30図33			1101	2.55	2.65	16.68			
	1043	2.4	2	16.64	36図29	底部		1102	2.6	2.65	16.65	33図30		
	1044	2.3	1.9	16.64				1103	2.75	2.7	16.65	36図11		底部
	1045	2.25	1.98	16.69				1104	2.75	2.85	16.67			
	1046	2.75	2.05	16.69	23図5・34図1			1105	2.55	3.2	16.77	31図25		
	1047	2.8	2.3	16.7	35図11	底部		1106	2.3	2.95	16.74			
	1048	3.2	2.05	16.8	33図14			1107	1.95	3.2	16.8			
	1049	3.4	2.15	16.72	28図32			1108	1.7	3.25	16.7			

グリッド	遺物番号	北→南	西→東	標高	挿図番号	備考	グリッド	遺物番号	北→南	西→東	標高	挿図番号	備考
E-2-1	1109	3	3.15	16.86			E-2-1	1198	4.05	2.9	16.79		
	1110	3.8	2.7	16.82				1199	4.05	3.1	16.76		
	1114	1.55	3	16.6				1200	3.95	3.2	16.89		
	1115	1.05	2.75	16.43				1201	1.68	3.08	16.67		
	1116	1.55	2.75	16.68				1202	1.74	3	16.65		
	1117	1.5	2.15	16.47				1203	1.8	3	16.51		
	1118	1.3	2.65	16.53	36図6	底部		1204	2	3.17	16.53		
	1119	1.5	2.65	16.59				1205	2.08	3.14	16.57		
	1150	3.35	2.9	16.7				1206	2.18	2.67	16.65		
	1151	3.4	2.7	16.68				1207	2.18	2.5	16.58	33図25	
	1152	3.25	2.7	16.68				1208	2.34	2.56	16.64	26図3	
	1153	3.15	2.8	16.69				1209	2.32	2.48	16.63	26図3	
	1154	3.2	2.5	16.73				1210	2.42	2.52	16.64		
	1155	3.3	2.55	16.69				1211	2.48	3.02	16.64	34図5	
	1156	3.3	2.5	16.69				1213	2.92	2.18	16.57		
	1157	3.1	2.2	16.68				1215	2.86	2.9	16.62	36図4	底部
	1158	3.25	2.2	16.68				1218	3.03	2.95	16.65		
	1160	3.1	2.1	16.68				1219	3.07	3.08	16.63		
	1161	2.95	2	16.67	30図3			1220	2.98	2.84	16.6	33図30	
	1162	2.6	2.6	16.69	28図16			1224	3.15	2.77	16.63		
	1163	2.6	2.5	16.66	23図5・26図3・33図30			1225	3.16	2.87	16.69	30図2	
	1164	2.65	2.3	16.66				1226	3.18	3	16.74		
	1165	2.85	2.15	16.68	30図12			1228	3.26	2.97	16.67		
	1167	2.5	2	16.63				1229	3.28	2.93	16.68		
	1168	2.5	1.75	16.62				1231	3.28	2.68	16.61		
	1169	2.45	1.7	16.62				1232	3.26	2.62	16.61		
	1170	2	1.45	16.53				1233	3.29	2.56	16.61		
	1171	1.7	1.6	16.49				1235	3.43	2.62	16.65	38図10	敲石
	1172	1.7	1.7	16.58				1236	3.4	2.47	16.64		
	1173	1.45	1.6	16.43		底部		1237	3.32	2.38	16.64		
1174	2.85	2.1	16.65			1238	3.36	2.38	16.62				
1175	3.05	1.85	16.68			1239	3.42	2.4	16.65				
1176	3.7	1.6	16.71			1240	3.43	2.32	16.65				
1177	3.25	2	16.68			1241	3.42	2.07	16.61				
1178	3.9	1.7	16.72			1242	3.58	2.19	16.62				
1179	4.35	2.75	16.76			1243	3.58	2.34	16.67	30図8			
1185	4.4	2.6	16.78			1244	3.47	2.53	16.65				
1186	4.35	2.7	16.76			1245	3.52	2.56	16.69				
1187	4.15	2.6	16.86			1248	3.54	2.67	16.63	30図6			
1188	4.1	2.25	16.75	30図16		1249	3.33	2.82	16.65				
1189	4.05	2.35	16.71			1250	3.4	2.94	16.62				
1190	3.8	2.35	16.76			1251	3.37	2.89	16.66				
1191	3.5	2.3	16.71			1253	3.48	2.87	16.62	26図5			
1193	3.55	2.65	16.69	37図6	UF	1254	3.68	2.82	16.66				
1195	3.7	2.7	16.7			1255	3.58	2.63	16.67				
1197	4.05	2.7	16.78			1256	3.68	2.73	16.69	24図1			

グリッド	遺物番号	北→南	西→東	標高	挿図番号	備考	グリッド	遺物番号	北→南	西→東	標高	挿図番号	備考
E-2-1	1258	3.66	2.36	16.67			E-2-1	1317	2.48	1.6	16.65		
	1259	3.68	2.4	16.66				1319	2.94	3	16.55		
	1260	3.73	2.26	16.7				1321	3.04	2.96	16.63	31図14	
	1261	3.74	2.38	16.68				1322	3.2	3.06	16.65		
	1262	3.76	2.42	16.68				1325	3.26	2.83	16.65		
	1263	3.87	2.42	16.69				1326	3.03	2.52	16.53		
	1264	3.94	2.4	16.7				1327	2.88	2.32	16.55		
	1265	3.98	2.42	16.69				1329	3.2	2.43	16.58		
	1266	3.88	2.56	16.69				1332	3.6	2.57	16.64	28図32・33図14	
	1267	3.98	2.56	16.69	37図12	打製石斧		1334	3.36	3.18	16.71		
	1268	4	2.73	16.71				1335	3.45	3.12	16.72	34図6	
	1269	3.92	2.78	16.69				1336	3.48	3	16.68		
	1270	3.94	2.87	16.66	31図26			1337	3.62	2.93	16.61		
	1271	3.94	3.06	16.74				1338	3.63	3.03	16.65		
	1272	4.08	3.14	16.77				1340	3.74	3.12	16.68		
	1275	4.04	2.78	16.71				1342	3.8	2.68	16.68		
	1276	4.08	2.64	16.71				1343	4.03	2.68	16.64		底部
	1277	4.14	2.64	16.69				1345	4.02	2.46	16.61		
	1278	4.1	2.57	16.69				1346	4.08	2.39	16.62		
	1280	4.2	2.38	16.7				1348	4.04	2.97	16.67		
	1281	4.03	2	16.67				1349	3.92	3.06	16.7	37図11	打製石斧
	1282	4.2	2.26	16.67				1352	4.2	2.93	16.69		
	1283	4.23	2.2	16.69				1354	4.34	2.92	16.66		
	1284	4.35	2.18	16.72	28図7			1356	4.41	3.04	16.7		
	1285	4.35	2	16.68				1357	4.42	2.9	16.69		
	1287	4.6	2.3	16.71				1358	4.38	2.74	16.67		
	1288	4.7	2.3	16.72				1359	4.64	2.88	16.7		
	1289	4.7	2.38	16.73				1360	4.58	3.06	16.67	38図8	敲石
	1290	4.65	2.65	16.71				1361	4.9	3.14	16.72	33図15	
	1291	4.8	2.45	16.74				1362	4.62	2.57	16.67		
	1292	4.25	2.7	16.71				1363	4.63	2.36	16.66		
	1293	4.65	2.7	16.7				1364	4.45	2.44	16.65		
	1296	4.78	2.83	16.72				1365	4.72	2.42	16.63		打製石斧
	1298	4.8	2.7	16.74				1366	4.8	2.45	16.68		
	1299	4.95	2.8	16.76				1368	4.54	2.18	16.67		
1300	4.75	2.95	16.85	34図18		1371	2.08	0.98	16.29				
1301	4.95	3.14	16.83			1373	2.72	1.12	16.36				
1302	4.5	2.8	16.72	30図7		1374	2.58	1.3	16.4				
1303	4.85	3.14	16.76			1375	2.92	1.12	16.36	23図4			
1304	4.4	2.95	16.75	23図5		1376	3.5	1.88	16.51				
1305	4.45	3.15	16.83			1377	3.78	1.48	16.47	28図6			
1306	4.25	3.25	16.9			1382	3.64	2.57	16.65				
1308	3.95	3.25	16.91	89図10	赤色塗彩土器	1384	2	2.35	16.5				
1310	3.6	3.2	16.89			1393	3.86	2.7	16.65				
1314	4.45	2.52	16.68			1394	3.9	2.66	16.64				
1315	3.65	2.64	16.63	37図4	搔器	1395	4	2.92	16.64				

グリッド	遺物番号	北→南	西→東	標高	挿図番号	備考	グリッド	遺物番号	北→南	西→東	標高	挿図番号	備考
E-2-1	1396	3.96	3.06	16.66			E-2-1	1471	0.08	2	16.81	36図28	底部
	1397	4.11	2.48	16.61				1473	0.2	2.07	16.76		
	1398	4.56	2.57	16.65				1474	0.32	2.02	16.7		
	1400	4.26	2.38	16.58				1476	0.25	1.78	16.71		
	1401	2.4	2.8	16.47				1481	0.78	3.28	16.59		
	1404	2.85	3.1	16.6				1482	0.56	3.28	16.56		
	1406	3.95	3.25	16.93				1484	0.22	3.22	16.97		
	1407	4	3.25	16.94				1485	0.14	3.18	16.93		
	1411	4.35	3	16.63				1486	0.08	3.14	16.93		
	1412	4.45	3.07	16.61				1487	0.19	3.12	16.92		
	1413	3.35	2.85	16.62				1488	0.24	3.1	16.92		
	1419	4.3	2.68	16.58				1489	0.22	3.06	16.91	23図7	
	1421	4.6	2.67	16.6				1490	0.14	3.03	16.98		
	1422	4.6	2.54	16.61				1491	0.13	2.9	16.97		
	1423	4.55	2.8	16.58				1492	0.13	2.86	16.92		
	1428	4.8	2.72	16.62				1493	0.23	2.86	16.76		
	1430	4.86	3.09	16.64				1494	0.32	2.75	16.75		
	1431	4.48	3.17	16.67				1495	0.25	2.62	16.79		
	1432	4.06	3.1	16.58				1496	0.23	2.57	16.78		
	1433	3.6	3.04	16.63	37図2	石鏃		1497	0.18	2.54	16.78		
	1435	4.14	3.07	16.66				1499	0.08	2.38	16.79		
	1437	4	2.55	16.55	3図30			1500	0.06	2.23	16.75		
	1438	4.15	2.46	16.5				1501	0.18	2.26	16.72		
	1439	4.12	2.62	16.5				1502	0.17	2.24	16.71		
	1440	4.16	2.7	16.5				1503	0.35	2.48	16.79		
	1441	4.25	2.59	16.48				1504	0.38	2.43	16.78		
	1442	4.56	2.55	16.57				1505	0.32	2.37	16.76		
	1444	4.42	2.89	16.52	33図2			1506	0.39	2.37	16.77		
	1445	4.74	2.9	16.47				1507	0.27	2.16	16.7		
	1446	4.42	2.97	16.54				1508	0.22	2.16	16.71		
	1447	4.42	3.15	16.65				1509	0.17	2.08	16.74		
	1453	4.2	3.07	16.5				1510	0.24	2.03	16.67	37図10	打製石斧
	1454	4.8	2.68	16.37				1511	0.23	1.96	16.67		
1455	0.25	3.06	17.04			1512	0.15	2	16.66				
1456	0.26	3.03	16.93			1514	0.43	1.97	16.6				
1458	0.08	2.72	16.92			1518	0.21	1.8	16.58				
1459	0.06	2.6	16.9			1521	0.33	3.14	16.96				
1460	0.34	2.82	16.86			1523	0.07	3	16.88	89図4	赤色塗彩土器		
1461	0.36	2.63	16.87			1524	0.32	2.4	16.73				
1462	0.36	2.41	16.85			1525	0.15	3.1	16.88				
1463	0.26	2.44	16.85			1527	0.33	3.1	16.87				
1464	0.2	2.39	16.89	34図28		1528	0.34	3.2	16.99			27図2	
1465	0.29	2.34	16.86			1529	0.12	2.9	16.79				
1466	0.3	2.26	16.82			1530	0.16	2.5	16.76			36図18	底部
1467	0.24	2.32	16.84			1533	0.23	2.5	16.68				
1469	0.05	2.26	16.8			1534	0.27	2.45	16.65				

グリッド	遺物番号	北→南	西→東	標高	挿図番号	備考	グリッド	遺物番号	北→南	西→東	標高	挿図番号	備考		
E-2-1	1535	0.24	2.2	16.66	28図4		E-2-1	1564	0.13	2.06	16.29	27図2			
	1536	0.22	2.1	16.62				1565	0.21	3.36	16.98				
	1537	0.04	2.85	16.81				1566	0.28	3.32	16.98				
	1540	0.1	1.95	16.58				1567	0.39	3.38	16.97				
	1541	0.27	1.9	16.48				1568	0.45	3.28	16.89				
	1542	0.2	1.9	16.48				1570	0.33	3.27	16.79				
	1543	0.26	1.88	16.45				E-2-3	431	5.04	3.83			17.04	27図2
	1544	0.14	2.47	16.67					432	5.12	3.3			17.04	
	1545	0.23	2.38	16.64				541	5.03	3.06	17.03			24図3	
	1547	0.07	2.28	16.64				1132	5.26	3.14	16.94				
	1549	0.06	2.12	16.58				1209	5.1	3	16.89			37図9	
	1552	0.19	1.83	16.37				1262	5.25	3.15	16.84				
	1553	0.18	3.24	16.91				1348	5.01	3.14	16.85				
	1554	0.05	3.26	16.97				1366	5.1	3.1	16.69				
	1559	0.05	2.83	16.65				1367	5.4	3.1	16.7				
	1560	0.07	2.06	16.37				1403	5	3.15	16.67				
	1562	0.37	3.26	16.97				1404	5.15	3.15	16.63				
1563	0.28	3.22	16.95	遺物合計			1319点								

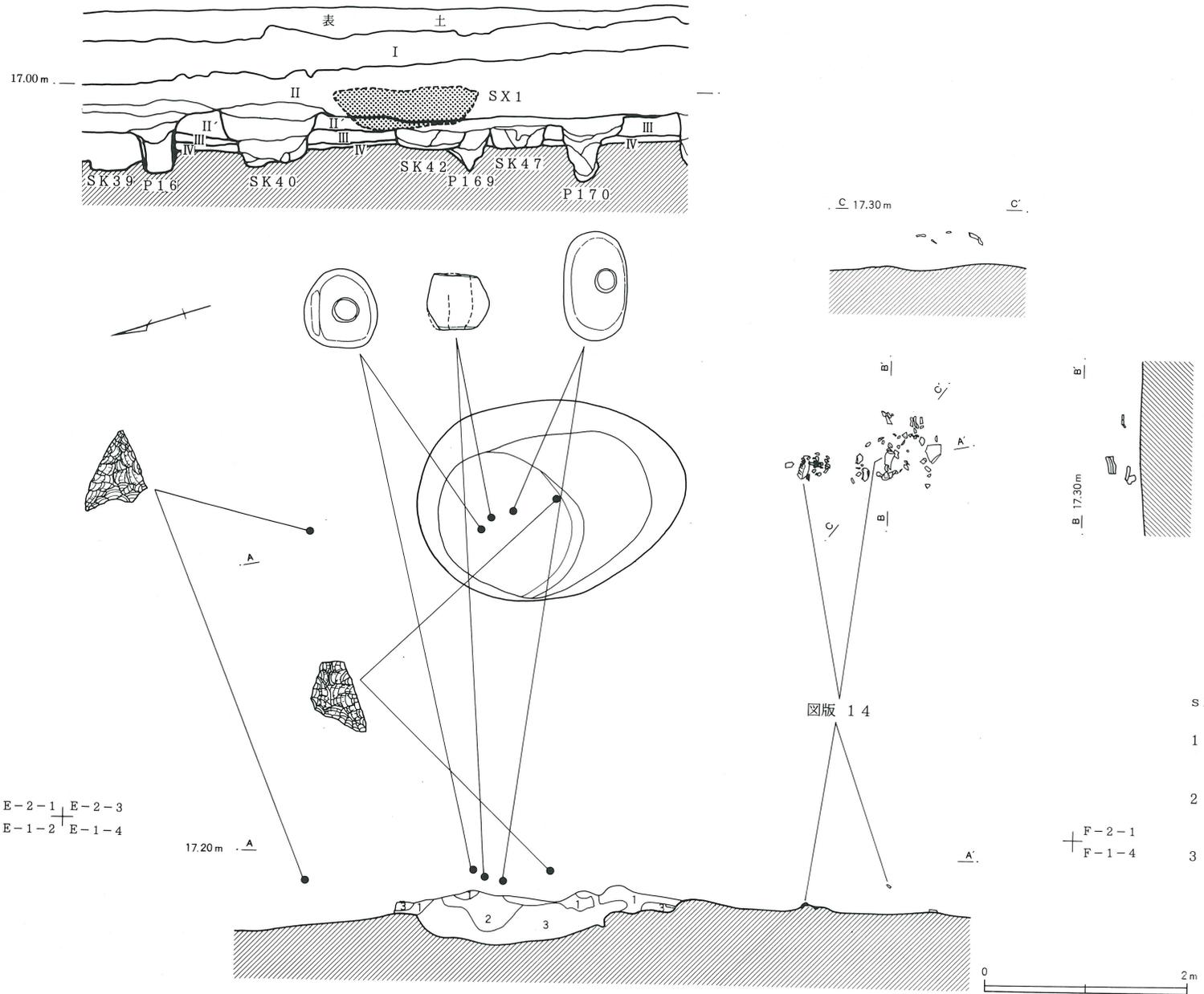
(2) SX1 (第39図 図版9・10)

E-2-3グリッドII層中から検出された。第3号住居跡と同じ生活面で確認された。この遺構は、多量の焼けた獣骨片・骨粉を含んだ灰層と焼土層が厚く堆積した土坑状の竪穴である。その主な特色は、層序が整然としないこと、明らかに炉跡とは異なる様相を呈していること、南へ至近距離のところに関連すると考えられる獣骨の集中が認められることなどである。希少な検出例であろう。とりあえず焼土遺構として扱う。

掘りこみ具合は判然としないが、焼土層と黒褐色土層の切れ目を目安とすると、南北の長軸が主軸方向となり、その規模は約1.4mを測る。短軸は1mほど、深さは最深部で確認面からおよそ0.4~0.5mである。検出状況から見ると、密度の濃い獣骨片・骨粉や焼土・炭化粒子の広がりが見られるII層下部から始まり、さらに灰粒子を含んだ2層から焼土遺構らしい様相を見せはじめる。そして、焼土主体の3層となる。これら2・3層は厚く堆積しており、短時間短期間の使用ではないことを物語っている。また、動物遺存体の分析(第

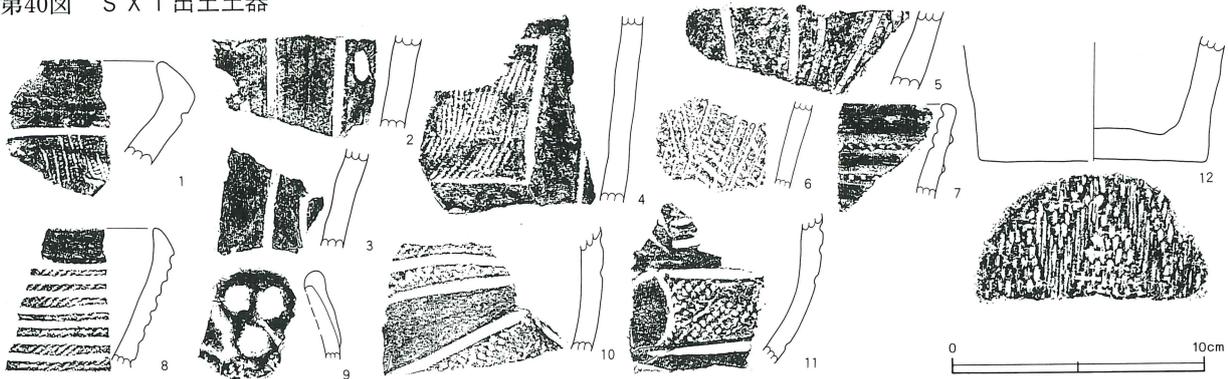
5節3章参照)からもわかるように、軟部が付着した状態のものを長時間焼いたことが判明している。しかも、その獣骨片は、小片や微細片ばかりで、南側に至近距離で検出された獣骨片が、熱を受けないものがあつたり、部位が特定しやすい骨片であるのとは対照的である。明らかに焼くための施設であったことが指摘できる。

遺物は、覆土上層と周辺から土器が目立つが、2・3層からは極少量である。遺物の出土状態で特記できるのは、垂飾と石鏃である。これらの出土レベルはおおよそ同じである。垂飾は、おそらく焼土遺構の最上層面であったと推察される面の、中央部からやや北よりに3点が弧状に並ぶように出土した。原位置から移動していることも考えられるが、この出土状態には示唆するものがあるだろう。そして石鏃は、垂飾を南北から挟むようにして出土した。このような出土例も焼土遺構とともに貴重な資料提供となるであろう。



- s x 1
- 1 極暗褐色土層 7.5YR2/3
焼土粒子・灰粒子・骨片多量、
しまりあり、粘性強
 - 2 灰褐色土層 5YR5/2
焼土粒子・灰粒子・骨片極多量、
しまりなし、粘性強
 - 3 暗赤褐色土層 5YR3/6
焼土粒子を主体に灰粒子・骨粉混在、
しまりあり、粘性強

第40図 S X I 出土土器



出土遺物

出土土器 (第40図)

後期前葉から中葉の土器が出土している。

1～7は後期前葉の称名寺式、堀之内式である。いずれも深鉢形土器である。1は内折する形態の口縁部の破片で沈線間に縄文を充填する。2～6は胴部の破片である。2は沈線間に列点を施す。3は沈線文を施す。4は方形の区画文を施す。5、6は地文縄文上に多条の沈線文、条線文を施す。7は口辺部に隆帯が巡る朝顔形の深鉢形土器で、内面に3条の沈線が巡る。

8～12は後期中葉の加曽利B式である。8は多条に並行沈線を施した鉢形土器である。9は鉢形土器の把手の部分である。10、11は体部に丸みを帯びた鉢形土器である。弧線文の区画内に縄文を施す。12は深鉢形土器の底部である。

石器 (第77図2・4 第6表)

二点とも欠損した凹基の石鏃である。2はチャート製で垂飾より北方位に、3は黒曜石製で垂飾より南方位に出土している。石器製作面からの特色は、2が側縁部に細かな二次調整剝離を施しているのに対して、4は押圧剝離を入念に施して形を整えている。正面先端部左に凹みがあり、欠損した側縁を細部調整した様子が看取できる。

石製品 (第85図1～3)

三点ともにヒスイ製の垂飾である。南から1・2・3の順番で弧状に並ぶように出土した。

1は正面から穿孔し、全面にわたって研磨整形は良好である。長さ2.6cm、幅1.5cm、厚さ0.85cm、重さ5.89g、孔径0.5～0.55cmを測る。2は上面より穿孔し下部に貫通しているが、えぐり込むように穿っている。球体の上下を切った形をしている。調査時に破損したために正確な大きさは計測できないが、現存長1.5cm、同幅・厚さともに1.6cm、同重さ3.67g、孔径約0.4cmを測る。3は正面から穿孔し、凸部を強く研磨加工した形跡が両面に看取できる。長さ1.85cm、幅1.84cm、厚さ0.97cm、重さ5.66g、孔径0.6～0.65cmを測る。

動物遺存体 (第9表 図版14・52)

SX1・焼土遺構出土の動物遺存体は、おおよそすべてが焼骨である。分析試料から判明したことは、種を特定できない哺乳類が圧倒的に多いこと、特定できた遺存体として、ニホンジカ・イノシシなどの獣骨、タイ科・ボラ科などの魚骨があげられる。特定できない哺乳類の多量出土は、この焼土遺構の長時間長期間使用と関わって、被熱の時間的な長さとその回数多さを物語るのであろう。灰層と焼土層の厚さが、その証拠となるだろう。

一方、焼土遺構の南方に隣接して検出された獣骨集中地点では、非焼骨の種が特定できる哺乳類をはじめ、焼土遺構とほぼ同様な骨片が出土している。

これらのことからSX1・焼土遺構の性格は、焼くための施設であったことが考えられる。

(3) 竪穴状遺構 (第41・42図 図版10)

A-2-3・B-2-1グリッドの北東に位置し、調査区域内では一部分が検出されたにすぎない。東方向の調査区域外に多く残存するものと思われる。しまった表土下で覆土が認められた。土層は1層の攪乱の形跡を除いて、ほぼ自然堆積である。遺跡全体から見れば、緩やかに北方向に下がっていく斜面の平坦気味の地点で確認された。

この遺構は、竪穴の掘り込みの様子と予想される規模から住居跡の可能性が考えられたが、確認した面積の狭小さに起因してか、住居跡と認定する状況証拠が見出せなかった。したがって、性格不明な竪穴状遺構と捉えるのが妥当であろう。

遺構の全体が判明しないため、規模の正確な計測は不可能であるが、完掘した状況から計測してみると、一方の壁の立ち上がりから片方の立ち上がりまで約3m、掘り込みは0.4~0.5mである。

出土遺物は、安行3c式に属する土器片が30点ほど認められた。そのうち八割は攪乱の形跡がある1層からの出土である。動物遺存体は含んでいない。

本遺構のすぐ北方向には、同時期の遺物包含層が確認されている。多くの土器や石器が出土しており、これらの遺物が小さな支谷に流れ込んだものと考えられる。この様子から本遺構は、支谷に面した台地の縁辺に営まれた何らかの生活跡であろう。

出土土器 (第41図)

後期後葉から晩期の安行式土器が出土している。

1は大波状口縁深鉢形土器の口縁部である。肥厚する口縁部にRLの縄文を施す。安行2式である。

2~7は安行3C式である。2、3は口縁部が外反する形態の深鉢形土器である。2は弧線文間に列点文を施す土器である。3は沈線文によって文様を施す。

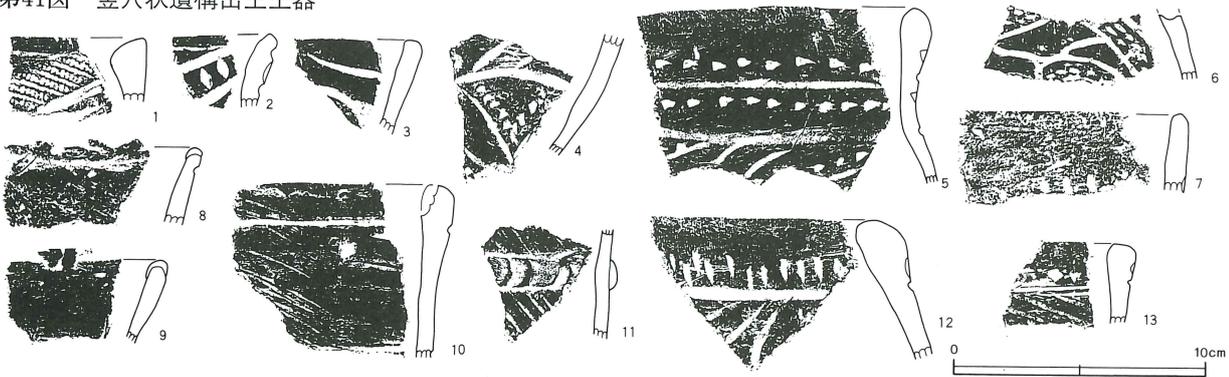
4は胴部の破片で沈線による区画内に列点文、細密沈線文を施す。5、7は紐線文系の深鉢形土器である。

口縁部が直立する形態の土器である。5は口縁部に列点文と沈線を巡らせ、口辺部に弧線文を施す。7も口縁部に列点文が巡る。6は沈線文間に2列の列点文を施す。台付鉢形土器の台部の破片である。

8、9は無文の鉢形土器である。口唇部に貼付文を施す。晩期の所産である。

10~13は粗製紐線文系土器である。10は口縁部が直立する形態である。口縁部に1条沈線を巡らせ、口辺部は横位の条線文を施す。11は胴部に紐線文を施す。斜位の条線文を施す。12は口縁部が内湾する形態の土器である。口縁部に刺突と沈線が巡る。条線文は認められない。口辺部に弧線文を施す。13は口縁部が直立する形態の土器である。口縁部に刺突と沈線が巡る。斜位の条線文を施す。10、11、13は後期後葉、12は晩期前葉の所産である。

第41図 竪穴状遺構出土土器



(4) 土坑 (第42～48図 第4表)

土坑は47基検出された。遺跡全体に認められ、後期前葉から中葉にかけての土坑が主体である。

第1・2号土坑 (第42・46図 図版13)

晩期包含層である黒色土と黒褐色シルト質土の下から検出された。後期中葉から晩期の土器が出土した。

第3号土坑 (第42図)

南東方向は攪乱を受けている。緩やかな斜面に位置する。

第4号土坑 (第42・46図 図版13)

晩期包含層下から検出した。やや深めの掘り込みで、底は平坦に近い。北西に隣接する柱穴気味の掘り込みは、本土坑と関連するものであろう。一括埋土である。土壌に分類できるものかもしれない。後期中葉の土器と第82図8・16の磨石が出土した。

第5号土坑 (第42・46図)

中央に凹みがあり、北西方向に緩やかに下方傾斜する。一括埋土である。後期中葉から晩期にかけての土器が出土した。

第6号土坑 (第42図)

晩期包含層下から検出した。シルトのブロックを含んでいる。出土遺物はない。

第7・11・12号土坑 (第42・43・46図 図版13)

Ⅲ層から掘り込まれた深い土坑である。壁が少しオーバーハングして掘られている。掘削時には約2mほどの深さがあったものと考えられる。出土遺物はわずかで、11・12号の最下層から第46図15・20のような後期前葉の土器が出土した。

第8・13・14・16号土坑 (第42・43・46図 図版13)

焼土・炭化物を含んだ土坑である。13号からは後期後葉の土器が出土した。8・14・16号からは遺物は出土していない。

第9号土坑 (第42・46図)

ローム風化層が目立ち、底に張り付くように後期中葉の土器が出土した。

第10号土坑 (第43図)

第11号土坑を切っているが、証拠となる遺物は確認

されなかった。関連施設ではないだろうか。

第15・17号土坑 (第43・46図)

ローム粒子やロームブロックを含んだほぼ一括埋土に近い土坑である。後期中葉の土器が出土した。

第18・19号土坑 (第43・46図)

第17号土坑を切っているが、この二つの土坑との時間差は、出土土器から考えてわずかであろう。後期中葉の土器が出土した。

第20号土坑 (第43・46図)

第1号住居跡の張り出し部の北に接するように位置する。一部攪乱を受けている。柱穴状の掘り込みも見受けられる。後期前葉から中葉の土器が出土した。

第21・23・24号土坑 (第43・47図)

南北の調査区域外との境界に接し、第1・2号住居跡に挟まれるように検出された。21号は全体土層で埋没状態が確認できたが、他の2基は平面のみの検出である。出土土器から3基とも後期中葉に属するものと考えられる。24号は2号住居跡の張り出し部を切っている。

第22号土坑 (第43・47図)

長楕円形を呈し、掘り込みは深い。2号住居跡の炉跡を切っている。底の最下部北よりに、焼土が張られた状況で検出された。2層を中心に後期中葉の土器が出土し、1層では晩期の土器が認められた。

第25・26・27号土坑 (第43・44図)

確認面からは浅く見えるが、後期中葉の土器が出土していることから、Ⅱ層から掘り込まれたやや深めの土坑であろうと考えられる。25号は第2号住居跡を切っているであろう。

第28・29号土坑 (第44・45・47図)

隣り合い、形状規模ともに類似した土坑である。確認面から深さ0.6m以上を測る。掘り込みは垂直気味で、底面を28号は方形状に、29号は傾斜面を作りながら楕円形に仕上げている。後期中葉の土器が出土した。なお29号からは、焼けたヒトの腸骨と哺乳類の関節が出土している。

第30・32号土坑 (第45・47・48図 図版13)

黒い腐植土主体の覆土がほとんど単純に埋積する。深い掘削であることと遺物量が多いことが特徴である。30号は覆土の黒味が際立ち、出土遺物は第47図のように晩期の土器が顕著である。32号は焼土・炭化粒子や骨片などとともにロームブロックが混在して埋積している。晩期の土器が下層に、後期の土器が上層に見られるなど自然な層序を成さない。I層の加曽利B式段階の盛り土を削平掘削し、さらに埋めたものと考えられる。ニホンジカや哺乳類の焼骨も出土しているが、これも同様な状況のなかで埋まったものであろう。第79図12の打製石斧、第80図10の砥石、第82図10の磨石も出土した。32号からは第80図9の砥石が出土した。

第31号土坑 (第45図)

30号によって切られている。28・29号と隣接していた形態的に類似した土坑であろう。

第33・34・36号土坑 (第44・45・48図)

ほぼ一括埋土の深い土坑である。特に36号は確認面から1m以上を測る。後期中葉の土器が出土した。36号の最下部からは、第87図・図版12の骨角器が出土した。33号からは後期前葉の土器が出土した。

第35号土坑 (第44・48図)

しまりの弱いI層ローム質土を含んだ一括埋土の土坑である。II層からの掘り込みが考えられる。3本の柱穴が切っている。後期中葉の土器が出土した。

第37・45号土坑 (第44・45・48図 図版11・12)

37号は西側に攪乱を受けているために全容は不明である。確認面でヤマトシジミの密集地点が認められた。貝層はわずかに残存したものである。45号は確認面から0.9mを測る深い土坑である。下層部にヤマトシジミ主体の純貝層が、捨てられたというより、そこに置かれたような状況で出土した。いずれも「貝土坑」といえるものである。また、貝類以外に魚類や哺乳類の焼骨と非焼骨の混在も認められた。いずれも後期中葉の土器が出土した。

第38・43号土坑 (第44図)

しまりの弱い覆土が埋積する。確認面からの観察で

は38号は、覆土の密度は大きく一括埋土の可能性が高い。43号からは後期前葉の土器が出土しており、後葉の土器が出土した38号が43号を切っている。43号は柱穴の可能性もある。

第39・42・46・47号土坑 (第44・45・48図)

4基ともにIII層からの掘り込みである。後期前葉の土器が出土した。特に39号は第3号住居跡のP16によって切られている。しかし、覆土には焼土・炭化粒子や骨片などを多量に含んでおり、埋積に不可解な面もある。なお47号土坑は、全体土層で確認したものである。

第40号土坑 (第44図)

II層あるいはII'層からの掘り込みと考えられ、第3号住居跡に連結する位置にあり、住居の施設の可能性がある。第3号住居跡と同様に加曽利B2式の土器が出土した。

第41・44号土坑 (第44図)

2基とも確認面からは浅いが、後期中葉の土器が出土していることからII層あるいはII'層からの掘り込みと考えられる。

今次調査を特徴づける土坑は、第37・45号土坑の「貝土坑」、第7・11・12号土坑のようにオーバーハングして壁が掘られている深いもの、第22号土坑のように最下部に焼土を張った形跡が窺えるもの、第36号土坑のように最下部からニホンジカの中足骨を利用した骨角器が出土したものなどがあげられるであろう。

出土土器 (第46～48図)

第46図は第1号～第20号土坑出土土器である。

1は口縁部が内湾する形態の深鉢形土器である。豚鼻状貼付を施す。2は外傾する口縁部に縄文、括れ部に列点を施す。3は列点を口縁部に施す。4、5は無文の粗製土器で、口縁部が肥厚する。6は大波状口縁の深鉢形土器である。7は三叉文を施した深鉢形土器の口縁部である。8は沈線間に列点を施す。9、10は口縁部が内湾する無文の粗製深鉢形土器である。1

～10は晩期安行式土器である。

11は口縁部が外傾する形態の深鉢形土器で、沈線文を施す。12は口縁部が直立する紐線文系土器である。口縁部に刺突と沈線が巡る。13は口縁部が「く」の字状に内傾する鉢形土器である。口縁部に3条の沈線が巡る。14は地文縄文上に沈線文を垂下させた深鉢形土器の胴部である。15は体部で括れ部を有し、口縁部が外傾して立ち上がる形態の深鉢形土器である。括れ部の破片である。斜沈線、縄文を施す。11、13～15は後期前葉、12は後期後葉の土器である。

16は後期前葉の深鉢形土器である。沈線区画内に縄文を施す。17は後期中葉の紐線文系土器である。粗い縄文を施す。18、19は後期前葉の土器で沈線文を施す。

20は口縁部に1条沈線を施す深鉢形土器で、多条の沈線が垂下する後期前葉の土器である。21は鋸歯状の沈線が垂下する深鉢形土器の括れ部の破片である。後期後葉の土器であろう。

22は沈線間に細密沈線文を施す晩期の土器である。23は条線文が垂下する土器の底部である。後期前葉の土器であろう。

24は沈線文を施した深鉢形土器の胴部である。後期前葉の土器である。25は体部で緩く括れ、外反気味に立ち上がる晩期の浅鉢形土器である。斜沈線によって口辺部に三角形の区画を構成し、内部に末端を渦巻状に入り組ませた三叉文を施文する。斜沈線間には列点を施文する。

26は後期中葉の粗製紐線文土器である。27、28は沈線文のみを施した晩期の深鉢形土器である。

第47図は第21号～第30号土坑出土土器である。

1は沈線文を施した後期前葉の深鉢形土器である。2は波状口縁の土器で、「く」の字状に内折する口縁部に列点を施す。3は紐線文系土器である。口縁部に列点を施す。4は沈線文、5は沈線間に列点を施した胴部の破片である。6は粗製土器の胴部破片で粗い縄文を施す。7は口縁部に豚鼻状貼付と縄文を施す。8は弧線文の区画内を粗面としている。やや丸みを帯びた体部であり、鉢形土器であろう。9、10は沈線間に列

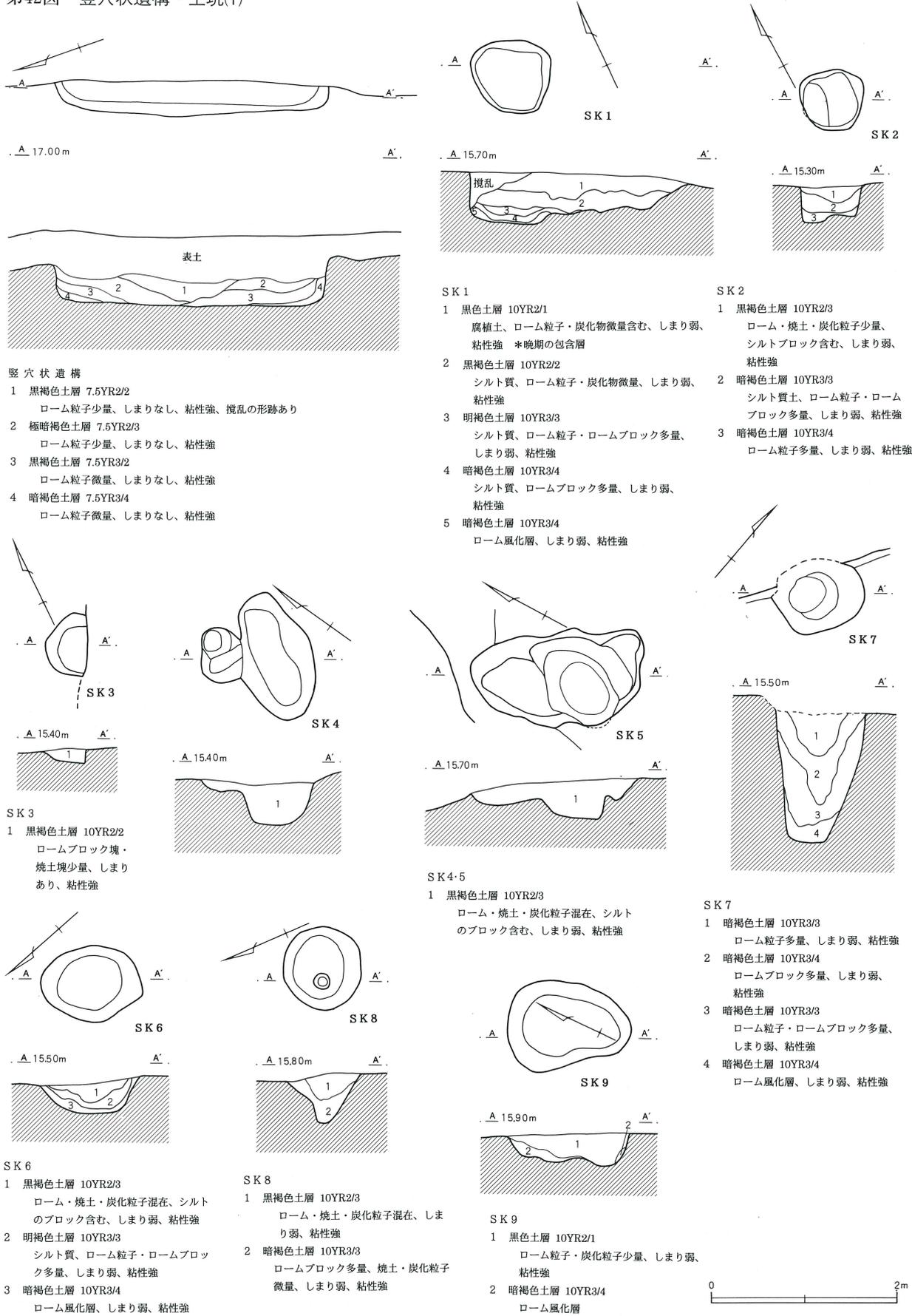
点文を施す。2、4、5は後期前葉、6、8は後期中葉の加曾利B式、3、7、9、10は後期後葉から晩期の安行式土器である。

11は紐線文系土器の流れをくむ深鉢形土器である。12は弧状の沈線間に列点を施す。13は口縁部が外傾する形態の土器である。14は口縁部が内湾する形態の無文の浅鉢形土器である。口辺部に稜線が巡る。口唇部には列点を施す。15は口縁部が直立する形態の紐線文系土器である。16は口縁部に斜位の細密沈線を施す。17は口縁部に棒状の沈線文を施す深鉢形土器である。突起、縄文を施す。18は体部で括れ、口縁部が外傾する形態の浅鉢形土器である。弧線文による磨消縄文と三叉文を施す。19は口縁部が外傾する形態の深鉢形土器である。沈線間に列点を施す。13、14は後期中葉の加曾利B式、15、17は後期安行式、11、12、16、18、19は晩期安行式である。

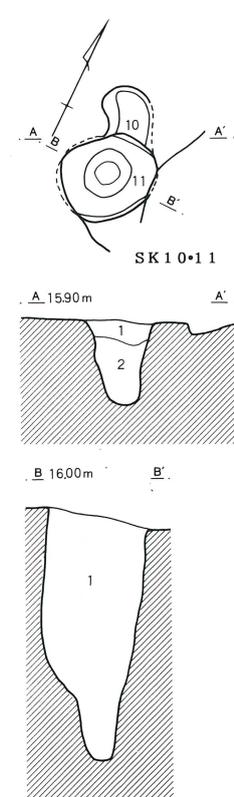
20～29は後期中葉から晩期の精製土器であり、20は後期中葉の加曾利B1式、22～24は後期安行式、21、25～29は晩期安行式である。20は並行沈線を施す鉢形土器である。突起を施す。21は口縁部が外傾して立ち上がる深鉢形土器である。斜沈線を施す。22は口縁部に刻みを施す。体部には弧状の沈線文を施文する。鉢形土器であろう。突起を施す。23は口縁部が内湾気味に立ち上がる带状文系の深鉢形土器である。24は括れ部から口縁部へ外傾して立ち上がる形態の深鉢形土器である。括れ部直上の破片で弧線文による磨消縄文を施す。25は大波状口縁の深鉢形土器である。豚鼻状貼付文を施す。26は口縁部が直立気味に立ち上がる形態の平口縁深鉢形土器である。縄文帯の下位に弧線文による磨消縄文を施す。27は胴部から口縁部へ内湾する形態の土器である。棒状の沈線、貼付文を施す。28、29は棒状の沈線を施す。28は刻みのある縦長の隆帯、29は豚鼻状貼付文を施す。

30～39、41は後期後葉から晩期の粗製紐線文系土器である。30～32は後期後葉、33～39、41は晩期の所産である。30、31は口縁部が直立気味に立ち上がる形態である。口縁部に30は刺突、31は刺突と沈線を巡らせ

第42図 竪穴状遺構・土坑(1)

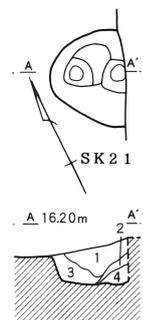


第43図 土坑(2)

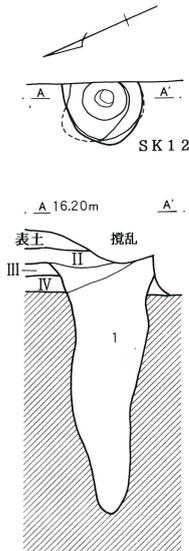


- SK 10
- 1 黒褐色土層 7.5YR3/2
ローム粒子極多量、しまりなし、粘性弱
 - 2 黒褐色土層 7.5YR3/1
ローム粒子少量、ロームブロック少量、しまりあり、粘性強

- SK 11
- 1 黒褐色土層 7.5YR2/2
ローム粒子微量、しまりなし、粘性弱
*一括埋土



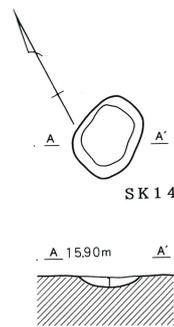
- SK 21
- 1 黒褐色土層 7.5YR3/1
ローム粒子少量、炭化粒子微量、しまりあり、粘性やや強
 - 2 暗褐色土層 7.5YR3/4
ローム粒子多量、しまり弱、粘性強
 - 3 灰褐色土層 7.5YR4/2
ローム粒子多量、しまり弱、粘性強
 - 4 褐色土層 7.5YR4/4
ローム粒子極多量



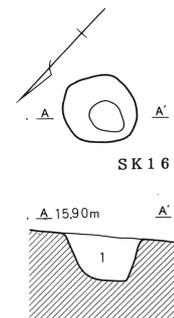
- SK 23
- 1 暗褐色土層 7.5YR3/3
ローム粒子少量、焼土粒子微量、しまりなし、粘性弱
 - 2 暗褐色土層 7.5YR3/4
ローム粒子少量、ロームブロック少量、しまりなし、粘性弱



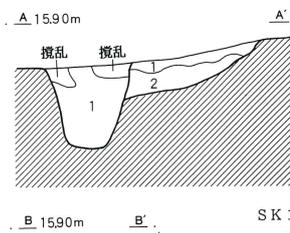
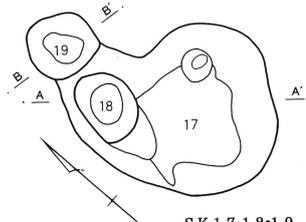
- SK 13
- 1 極暗褐色土層 7.5YR2/3
ローム・焼土・炭化粒子微量、骨片含む、しまり弱、粘性弱
 - 2 黒褐色土層 7.5YR3/2
ローム粒子少量、しまり弱、粘性弱
 - 3 褐色土層 7.5YR4/4
ローム粒子多量、しまり弱、粘性強



- SK 14
- 1 極暗褐色土層 7.5YR2/3
ローム・焼土・炭化粒子微量、骨片含む、しまり弱、粘性弱



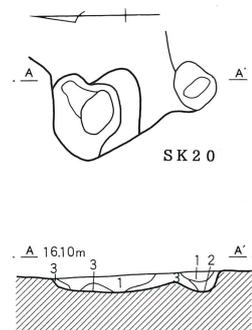
- SK 16
- 1 暗褐色土層 10YR3/3
ローム・焼土・炭化粒子微量、しまり弱、粘性強 *一括埋土



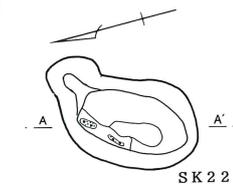
- SK 15・17
- 1 黒褐色土層 7.5YR3/2
ローム粒子多量、ロームブロック少量、しまりなし、粘性弱
 - 2 褐色土層 7.5YR4/3
ローム粒子・ロームブロック多量、しまりなし、粘性弱

- SK 18
- 1 黒褐色土層 7.5YR3/2
ローム粒子少量、しまりなし、粘性弱

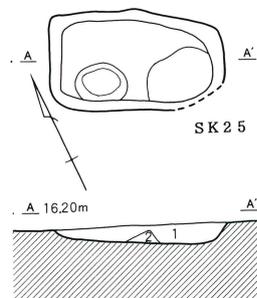
- SK 19
- 1 暗褐色土層 7.5YR3/3
ローム粒子少量、しまりなし、粘性弱
 - 2 暗褐色土層 7.5YR3/4
ローム粒子少量、ロームブロック少量、しまりなし、粘性やや強



- SK 20
- 1 暗褐色土層 7.5YR3/3
ロームブロック少量、腐植土多量、しまりなし、粘性弱
 - 2 暗褐色土層 7.5YR3/3
ローム粒子少量、腐植土多量、しまりなし、粘性弱
 - 3 暗褐色土層 7.5YR3/4
ローム粒子少量、腐植土少量、しまりなし、粘性弱



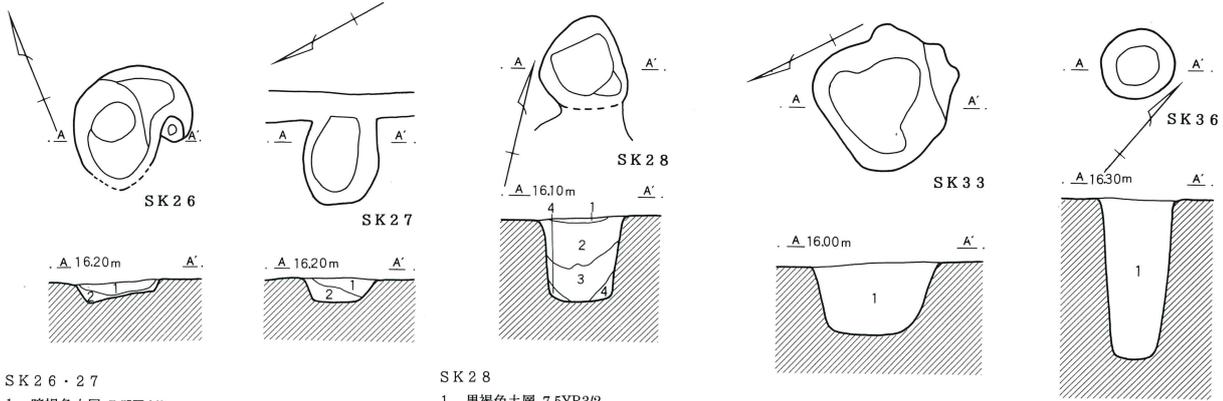
- SK 22
- 1 暗褐色土層 10YR3/4
ローム粒子・ロームブロック多量、焼土・炭化粒子微量、しまり弱、粘性弱
 - 2 黒褐色土層 7.5YR2/2
ローム粒子微量、しまり弱、粘性強
 - 3 褐色土層 10YR4/6
ロームブロック
 - 4 極暗褐色土層 7.5YR2/3
ローム粒子少量、しまり弱、粘性強



- SK 25
- 1 黒褐色土層 7.5YR3/1
ローム・炭化・焼土粒子多量、骨片少量、しまり弱、粘性弱
 - 2 暗褐色土層 7.5YR3/4
ローム粒子多量、しまり弱、粘性弱



第44図 土坑(3)



SK 26・27

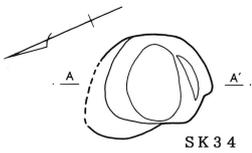
- 1 暗褐色土層 7.5YR3/3
ローム粒子少量、焼土粒子微量、しまり弱、粘性強
- 2 暗褐色土層 7.5YR3/4
ローム粒子多量、ロームブロック少量、しまり弱、粘性強

SK 28

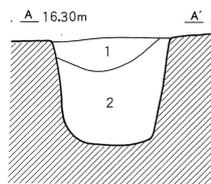
- 1 黒褐色土層 7.5YR3/2
ローム粒子・ロームブロック少量、
焼土粒子微量、しまり弱、粘性弱
- 2 暗褐色土層 7.5YR3/4
ローム粒子・ロームブロック多量、
焼土・炭化粒子微量、しまり弱、
粘性弱
- 3 極暗褐色土層 7.5YR2/3
ローム粒子少量、しまり弱、粘性強
- 4 褐色土層 10YR4/6
ロームブロック多量、しまり弱、粘性強

SK 33・36

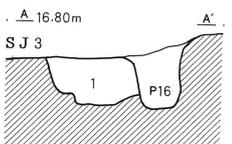
- 1 極暗褐色土層 7.5YR2/3
ローム粒子・ロームブロック多量、
しまり弱、粘性強 *一括埋土



SK 34

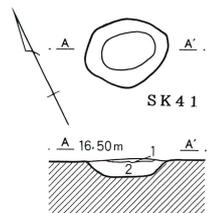


SK 39



SK 39

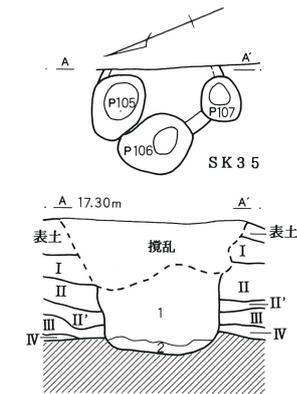
- 1 黒褐色土層 7.5YR2/2
ローム・焼土・炭化粒子多量、
骨片多量、しまり弱、粘性強



SK 41

SK 41

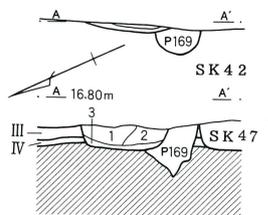
- 1 極暗褐色土層 7.5YR2/3
ローム粒子少量、しまり弱、粘性強
- 2 暗褐色土層 7.5YR3/4
ローム粒子極多量、しまり弱、粘性強



SK 35

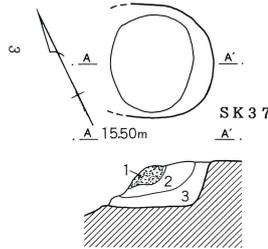
SK 34・35

- 1 暗褐色土層 7.5YR3/3
I層ローム質土含む、しまりなし、
粘性弱
- 2 極暗褐色土層 7.5YR2/3
ローム・焼土粒子微量、しまりなし、
粘性やや強



SK 42

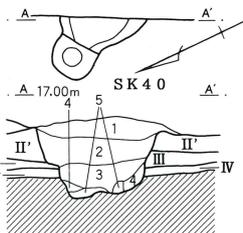
- 1 黒褐色土層 7.5YR2/2
ローム粒子少量、しまり弱、粘性強
- 2 極暗褐色土層 7.5YR2/3
ローム粒子少量、しまり弱、粘性強
- 3 暗褐色土層 7.5YR3/3
ローム粒子多量、骨片含む、しまり
弱、粘性強



SK 37

SK 37

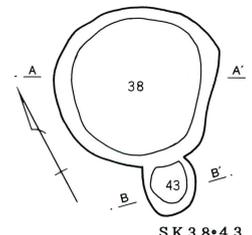
- 1 純貝層
- 2 黒褐色土層 7.5YR2/2
ローム粒子微量、しまり弱、粘性あり、
貝微量
- 3 暗褐色土層 7.5YR3/4
ローム粒子多量、しまり強、粘性強、
貝微量



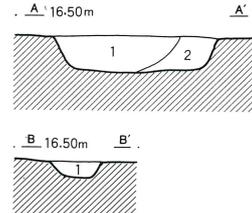
SK 40

SK 40

- 1 極暗褐色土層 7.5YR2/3
ローム・焼土・炭化粒子多量、骨片多量、
しまりあり、粘性強
- 2 黒褐色土層 7.5YR3/2
ローム粒子少量、焼土・炭化粒子含む、
しまりあり、粘性強
- 3 黒褐色土層 7.5YR3/1
ローム・焼土・炭化粒子含む、しまり弱、
粘性強
- 4 極暗褐色土層 7.5YR3/3
ローム粒子多量、しまり弱、粘性強
- 5 暗褐色土層 7.5YR3/3
ロームブロック含む、しまり弱、粘性強



SK 38・43

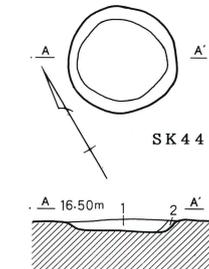


SK 38

- 1 黒褐色土層 7.5YR2/2
ローム粒子・炭化物含む、しまり弱、粘性強
- 2 黒褐色土層 7.5YR3/2
ローム粒子極多量、炭化物含む、しまり弱、
粘性強

SK 43

- 1 極暗褐色土層 7.5YR2/2
ローム粒子多量、しまり弱、粘性強



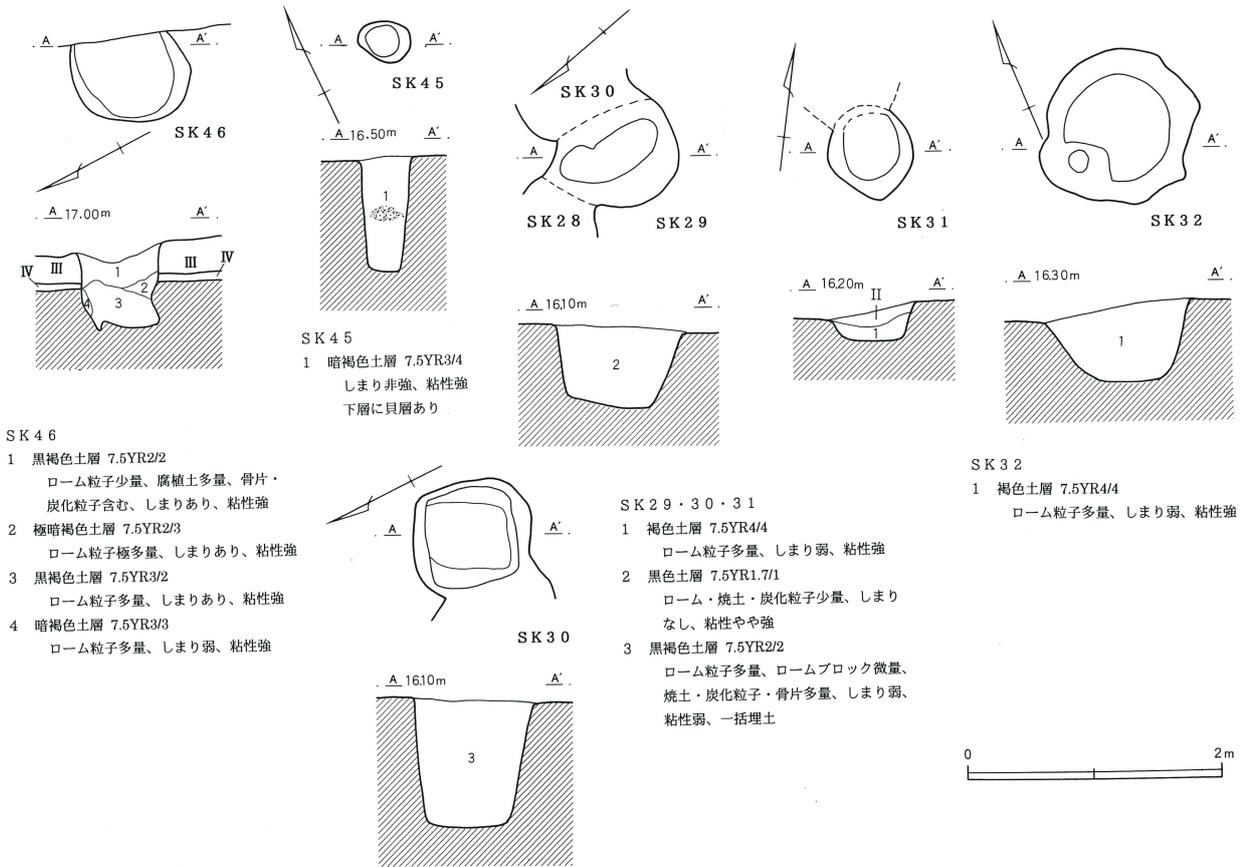
SK 44

SK 44

- 1 黒褐色土層 7.5YR2/2
ローム粒子少量、ロームブロック含む、
しまり弱、粘性強
- 2 褐色土層 7.5YR4/4
ローム粒子多量、しまり弱、粘性強



第45図 土坑(4)



る。条線を施す。32~36は口縁部が内湾気味に立ち上がる形態である。32は条線を施し、33~36は条線が認められない。33~36は口辺部に弧線文を施す。37~39は胴部から口縁部付近まで内湾気味に推移し、口縁部が直立気味に立ち上がる形態である。38、39は列点文を施す。41は無文の口縁部が直立する形態である。40は無文の深鉢形土器である。波状口縁の土器である。口縁部に沿って、幅広の凹みを削り出している。晩期安行式である。

42~53は列点文や沈線による入組文を施した晩期の安行3c式、3d式土器である。42は口縁部が外傾気味に立ち上がる形態の深鉢形土器である。弧線文間に列点文を施す。43は鉢形土器であろう。沈線間に列点文を施す。44、45は緩い波状口縁の深鉢形土器である。部分的に2列に列点文を施す。45は三叉文を施す。

46~48、51は胴部の破片で入組文を施す。46は沈線のみ、47は沈線間に列点を施す。51は多条の沈線を渦巻状に施す。49、50は横帯と弧線文を施した深鉢形土器の胴部である。52、53は台付鉢形土器の台部である。52は沈線間に単列の列点文、53は三叉状入組文を施す。

第48図は第31号~第45号土坑出土土器である。

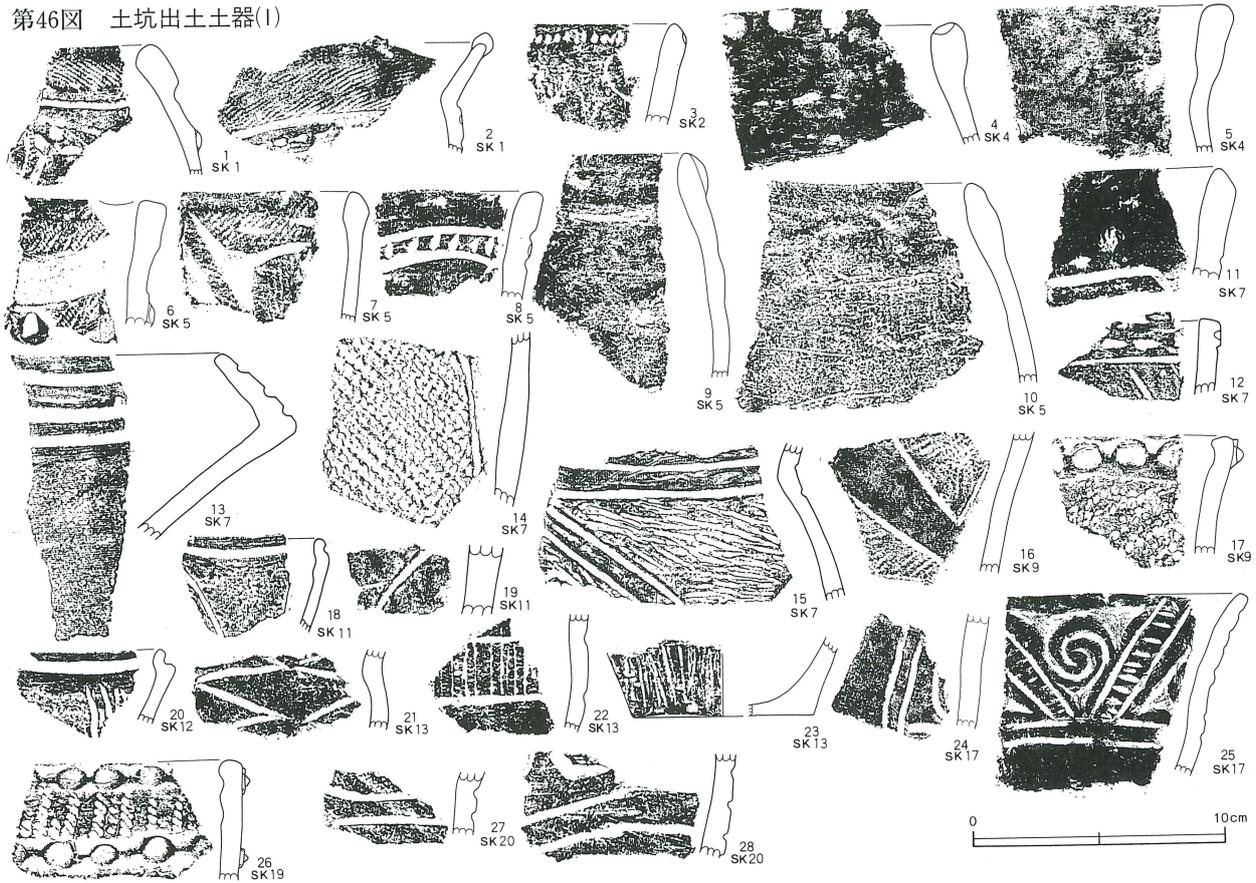
1は口縁部が外傾し、胴部が張る形態の深鉢形土器である。ステッキ状の沈線と弧線文を組み合わせた文様を施す。沈線間に列点を施す。口縁部の1/5が残存する。安行3c式である。

2~11、16は後期中葉の加曽利B式である。2は格子目状の沈線文を施す深鉢形土器である。3は弧線文の区画内を粗面とする。4は地文縄文上に沈線を施した胴部破片である。5は胴部から口縁部へ外反する形態の土器である。横線区画内に斜沈線を施す。沈線は

第4表 縄文時代土坑一覧表

SK番号	検出グリッド	平面形状	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	主軸方向	特記事項
1	A-1-2	円形	0.91	0.84	0.15	N-13°-W	晩期包含層の下より検出
2	A-1-2・4, A-2-1・3	円形	0.71	0.67	0.38	N-36°-W	晩期包含層の下より検出
3	A-2-1	—	0.68	—	0.14	N-27°-E	
4	A-1-4	不整形	1.39	0.83	0.44	N-36°-E	晩期包含層の下より検出 磨石 2
5	A-2-3	不整形	1.82	1	0.42	N-28°-W	楔形石器
6	A-1-4	楕円形	1.09	0.83	0.33	N-50°-E	晩期包含層の下より検出 磨石
7	A-1-4	不整形	0.94	—	1.41	N-28°-E	堀ノ内式期壁オーバーハング 磨石
8	B-2-1	円形	0.9	0.84	0.49	N-73°-W	
9	B-2-1	楕円形	1.32	1	0.36	N-19°-W	
10	B-2-3	—	—	—	0.67	N-29°-W	
11	B-2-3	円形	0.76	0.64	1.93	N-46°-E	堀ノ内式期壁オーバーハング
12	B-2-3	円形	—	0.62	1.74	N-70°-W	堀ノ内式期壁オーバーハング
13	B-2-3	不整形	0.61	0.59	0.31	N-10°-W	
14	B-2-3	隅丸方形	0.63	0.51	0.09	N-57°-E	
15	B-1-4, B-2-3	不整形	0.51	0.5	0.17	N-65°-W	
16	B-2-3	円形	0.62	0.55	0.34	N-80°-E	
17	C-1-2	不整形	—	1.38	0.27	N-47°-W	有溝砥石
18	B-1-4, C-1-2	楕円形	0.58	0.43	0.66	N-5°-E	
19	B-1-4	円形	0.55	0.54	0.42	N-15°-W	
20	C-2-1	不整形	0.81	0.74	0.13	N-47°-W	
21	C-2-1	—	—	0.76	0.36	N-65°-W	
22	C-2-3	長楕円形	1.31	0.73	0.52	N-45°-E	最下部に焼土
23	C-2-3	—	—	0.57	0.12	N-24°-E	
24	C-2-3	—	—	0.52	0.1	N-65°-W	
25	C-2-3	隅丸方形	1.4	0.8	0.16	N-66°-W	磨石
26	C-2-3	不整形	1.03	0.77	0.18	N-69°-E	
27	C-2-3	—	—	0.61	0.2	N-54°-W	石皿
28	C-1-4	不整形	—	0.7	0.66	N-12°-W	
29	C-1-4, D-1-2	不整形	0.99	—	0.64	N-40°-E	ヒト被熱腸骨出土 石皿
30	C-1-4, C-2-3, D-1-2, D-2-3	不整形	0.96	—	1.02	N-17°-E	安行3C式期 打製石斧・有溝砥石・砥石・磨石
31	D-2-1	不整円形	—	0.67	0.27	N-21°-W	楔形石器
32	D-1-2	不整円形	1.3	1.24	0.63	N-60°-E	安行3C式期 ニホンジカ被熱歯出土 砥石
33	D-1-2	不整形	1.17	1.14	0.57	N-62°-W	
34	D-1-2, D-2-1	不整形	1.05	0.81	0.86	N-7°-W	有溝砥石
35	D-2-3	—	0.61	0.48	0.58	N-12°-E	
36	D-1-4	円形	0.59	0.55	1.27	N-2°-E	最下部から骨角器(ニホンジカ中足骨)出土
37	E-1-4	円形	0.77	0.74	0.36	N-16°-E	ヤマトシジミ主体に魚類・小形哺乳類の骨出土
38	E-2-3	円形	1.35	1.3	0.29	N-79°-E	
39	E-2-1	—	—	—	—	—	堀ノ内式期
40	E-2-3	—	—	—	—	—	
41	E-2-3	楕円形	0.68	0.53	0.15	N-83°-W	
42	E-2-3	—	—	—	—	—	
43	E-2-3	—	—	0.43	0.12	N-12°-E	
44	E-2-3	円形	0.87	0.86	0.1	N-23°-E	
45	F-1-2, F-2-1	不整円形	0.42	0.33	0.9	N-66°-W	ヤマトシジミ主体に魚類・哺乳類の被熱骨出土
46	E-2-3, F-2-1	—	—	—	—	—	堀ノ内式期

第46図 土坑出土土器(1)



細く深い。6は口縁部が肥厚した無文の深鉢形土器である。7は並行沈線と蛇行沈線を施す。8は口縁部が外傾する形態の深鉢形土器である。斜沈線を施す。口唇部に小貼付文、口縁部内面に沈線文が巡る。9～11、16は鉢形土器である。9は口縁部が内湾する形態の浅鉢形土器である。口縁部に縄文帯、貼付文を施す。10は縄文を施す。11は算盤玉形の鉢形土器である。16は弧線文による磨消縄文を施す。

12～15は晩期安行式土器である。12～14は紐線文系土器である。口縁部に列点、口辺部に弧線文を施す。15は浅鉢形土器である。口唇部に貼付文、体部に弧線文を施す。

17は沈線区画内を粗面とする。加曾利B式の3単位把手を有する深鉢形土器の括れ部近くの破片である。

18は直立気味に立ち上がる口縁部の破片である。19は沈線文により入組文を施す。20は口縁部近くの破片と思われ、横位、斜位の沈線を施す。21は沈線間に列点を施す。22は条線文を施す。23は横位沈線間に列点

を施す。21、22は後期前葉の土器、18～20、23は晩期安行式土器である。

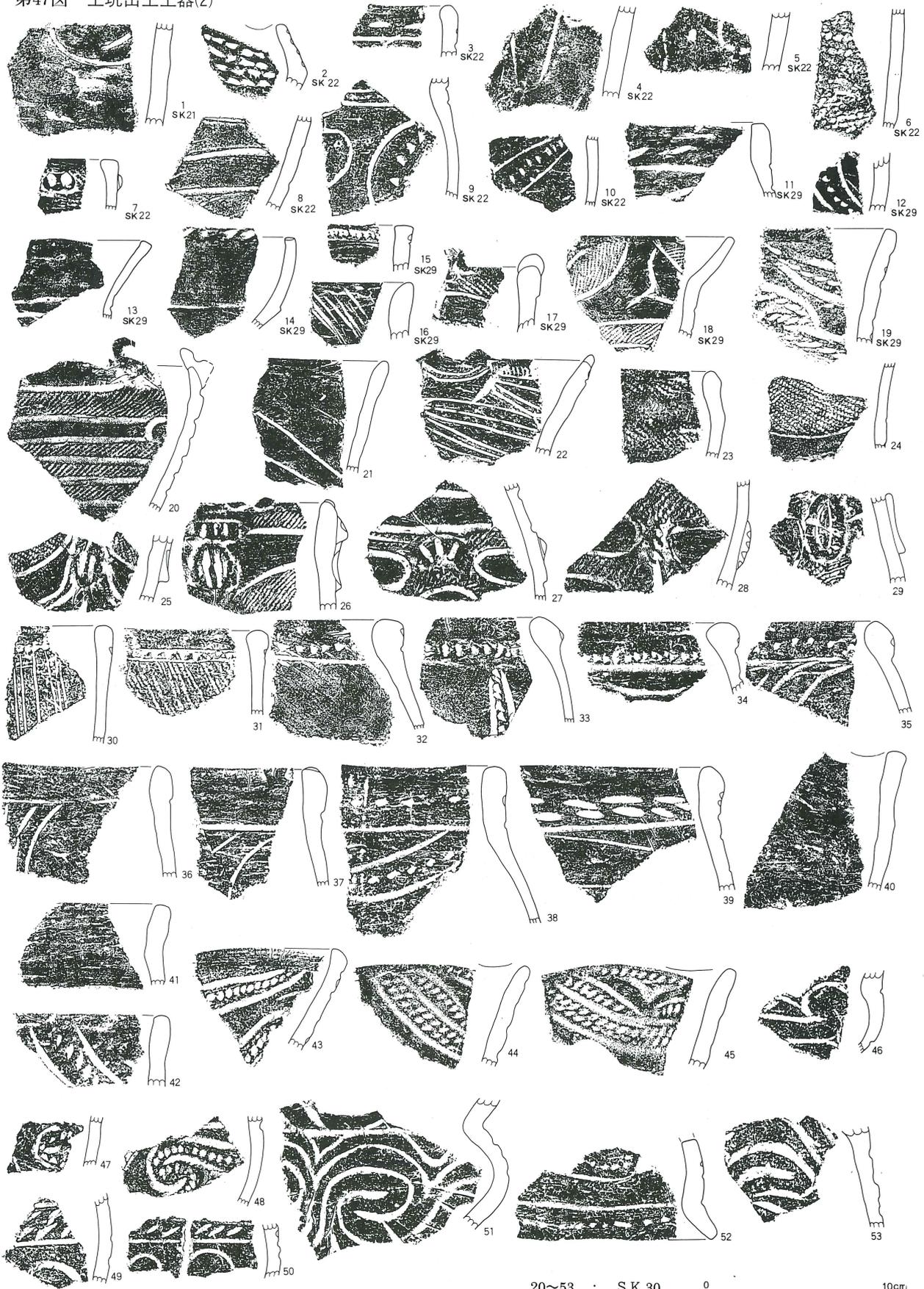
24は口縁部に列点と沈線が巡る。25は算盤玉形の鉢形土器である。26、28は横位の沈線を施す胴部の破片である。27は括れ部の上位に条線文を施す。29は紐線文土器の胴部破片で粗い縄文を施す。24は後期前葉の堀之内1式、25～29は後期中葉の加曾利B式である。

30は並行沈線を施す鉢形土器である。31は格子目状の沈線を施す深鉢形土器である。32は粗い地文縄文上に斜沈線を施す。33は口縁部が外傾して立ち上がる形態の深鉢形土器である。矢羽根状沈線文を施す。34は縄文を施す。30～34は後期中葉の加曾利B式である。

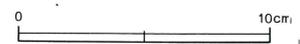
35、36は地文縄文を施す後期前葉の土器である。35は口縁部に列点が巡る。36は蛇行沈線が垂下する。

37、38は並行沈線間に縄文を施す。39、40は多条の沈線文を施す。41は口縁部が直立気味に立ち上がる形態の深鉢形土器である。口縁部に列点が巡る。37～40は後期中葉の加曾利B式、41は晩期安行式である。

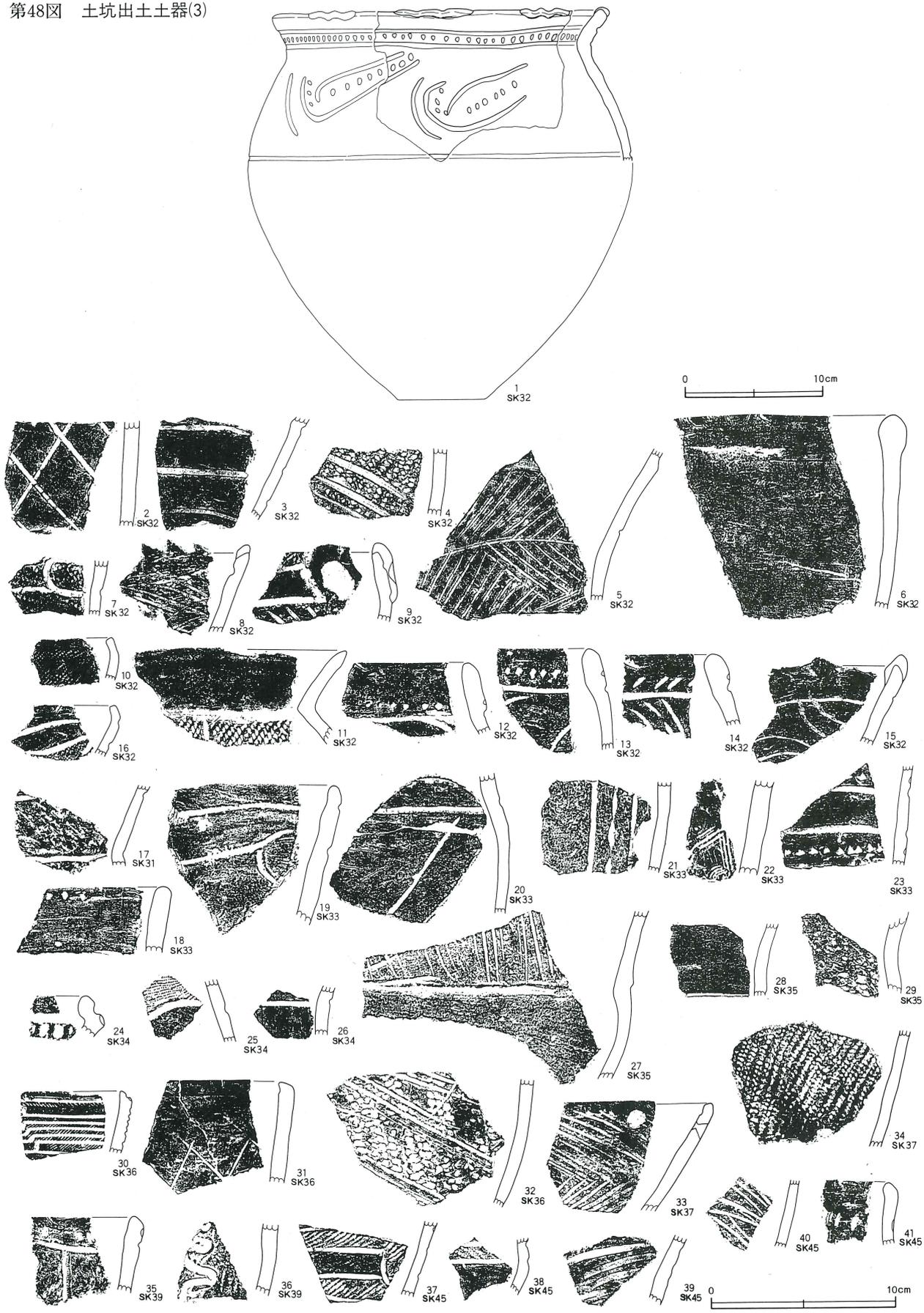
第47图 土坑出土土器(2)



20~53 ; SK 30



第48图 土坑出土土器(3)



(5) 柱穴群 (第49～55図 第5表)

住居跡の柱穴として認定することが困難だったものや、不明な小規模竪穴を含めて柱穴群として整理した。総数210を数える。

これらのうち調査時に住居跡の可能性が考えられたのは、C・D・Eの3つのグリッドである(図版14・15)。その根拠は、柱穴が並ぶように見えるものがあること、焼土の散在が一部に認められ、炉跡の掘り込みのような小竪穴も確認されていたことの二点があげられる。Cグリッドで検出された第2号住居跡の柱穴の並びは、出土土器と住居形態との関係において良好である。その他に炉跡と考えられそうな小竪穴も認められたが、十分な確証が得られなかった。

A・Bグリッドでの柱穴の検出は少ないが、P1・4・8・9・10などは掘り込み状態が良好である。

Cグリッドでは第1・2号住居跡の柱穴を除いて検討してみると、第2号住居跡内に重複するように掘られているP28・31・32・37、Dグリッドとの境周辺で検出されたP39～45・51～64などは検討の対象となった。特にP32～34・37・39・44・45などは、掘り込みが深く柱穴の形態としても良好である。

Dグリッドは、柱穴が連なって並ぶ例が目立っている。P72～82、さらにP83・84と87・89～93・104～107、加えてP121～128と134～138及び140・141などで幾通りにも、住居跡の可能性は考えられる。しかし、黒色系の土層からの掘り込みと多時期にわたる掘削のため、一つ一つの関連を特定することはたいへん難しいし、確実さに欠ける。D-2-1グリッドII層内において密な遺物分布と炉跡が存在した可能性を示す範囲があったが、III層IV層いずれの確認面でも覆土を特定することはできなかった。なお、P79下層からイノシシの基節骨と右第4中手骨出土した。

Eグリッドは、第3号住居跡の柱穴以外で並びが想定できるのは、P150～156と158～168が第38号土坑を中心とした一群として、また、P171～186と第45号土坑(貝土坑)が第44号土坑を中心とした一群として考

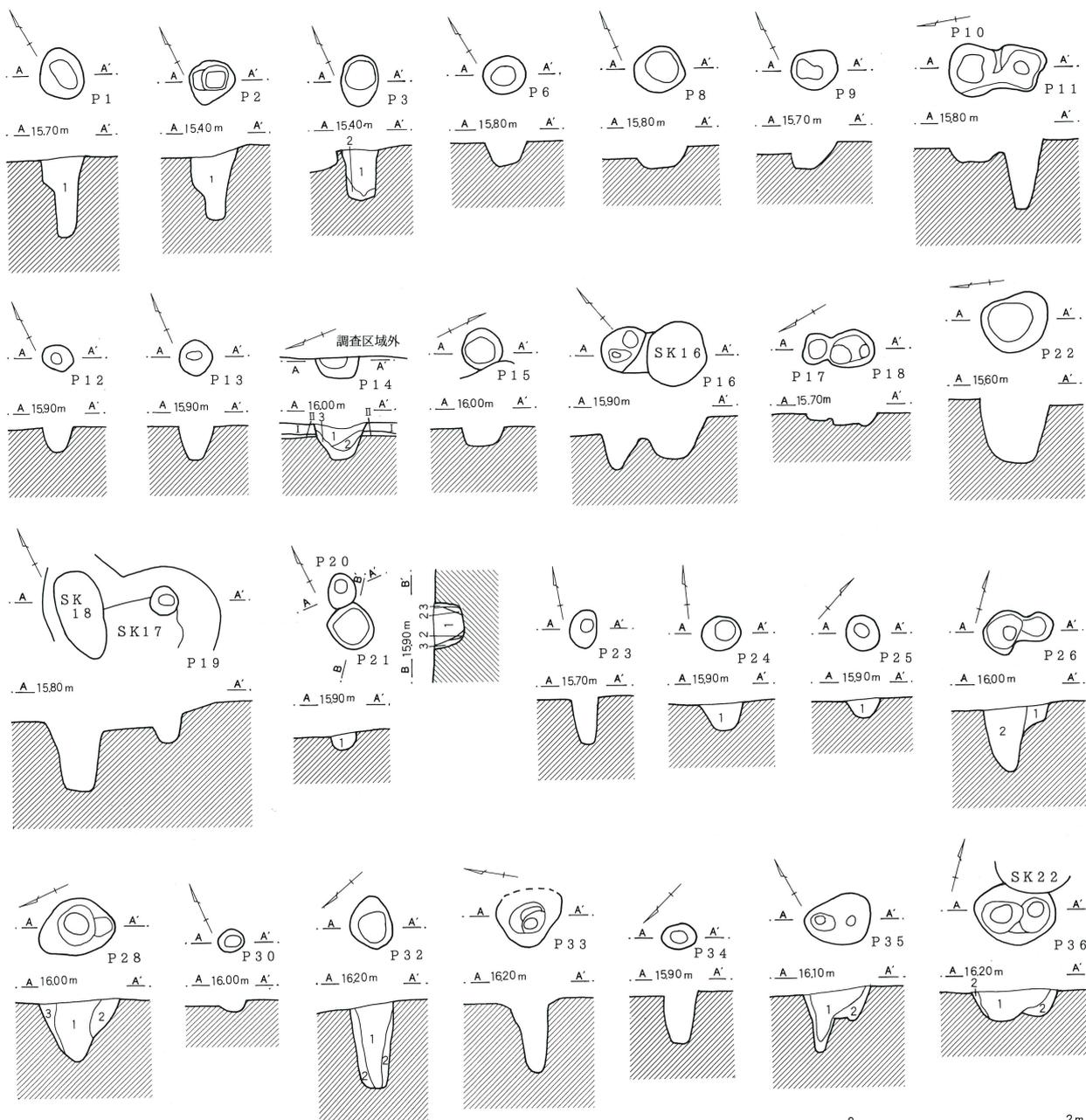
えられもするが、確証は得られなかった。遺物の平面及び垂直分布からすれば、第3号住居跡の分布量に次ぐ多さが認められるが、植木の抜根による攪乱層に入り込んだ遺物が多く、とうてい検証の対象にはなり得ないであろう。

Fグリッドの柱穴の検出数は少ない。調査前の現地表面と調査終了時の等高線の様子から、F-2-3グリッドから南側は、植木の抜根や現代の掘削工事によって多くが破壊されたことが考えられる。かろうじて残存した柱穴から、C・D・Eグリッドのように配列を想定することには無理があるだろう。あえて指摘するとすれば、P196～203のように東西に展開する並びは、示唆するものがあるかもしれない。

以上の柱穴群で、所属時期がほぼ判明しているのは、堀ノ内式期かそれ以前がP134～138・139と140・141・157・169・170などの各柱穴が考えられ、加曾利B式期が先にCグリッドで取り上げた各柱穴と、DグリッドのP72～82、さらにP83・84と87・89～93の各柱穴、さらにEグリッドのP171～186各柱穴、Fグリッドであえて指摘をしたP196～203の各柱穴、加曾利B式期以降がP104～107の各柱穴が考えられる。その他の柱穴は、遺物の混じりも考慮しなければならず、断定することはできない。

本遺跡の地山は、本来平坦な緩斜面であったであろうことは全体土層のところで述べたが、土坑を含め柱穴などの遺構が多いことから、その自然地形はB～Fグリッドにおいて顕著であったと考えられる。堀ノ内式期とそれ以前は、そのまま自然地形を利用し、加曾利B式期を境にした貝塚や盛り土の形成に伴って、全体土層に見られるように南から北に向かって斜面地が作られていくが、その斜面地のなかでも平坦に近い地点を利用して住居跡が営まれ、その痕跡が多数の柱穴跡となって残存したものと考えられる。

第49図 柱穴(1)



P 1・2

- 1 暗褐色土層 10YR3/3
ロームブロック多量、焼土・炭化粒子微量、
しまり弱、粘性強

P 3

- 1 暗褐色土層 10YR3/4
ローム粒子含む、しまり弱、粘性やや強
- 2 暗褐色土層 7.5YR3/4
ローム風化層土とロームブロック含む、
しまりあり、粘性やや強

P 14・20・21

- 1 黒褐色土層 7.5YR2/2
ローム粒子微量、しまりあり、粘性強
- 2 極暗褐色土層 7.5YR2/3
ローム粒子少量、しまりあり、粘性強
- 3 黒褐色土層 7.5YR3/2
ローム粒子少量、しまりあり、粘性強

P 24

- 1 暗褐色土層 7.5YR3/3
ローム粒子多量、ロームブロック少量、
しまりなし、粘性なし

P 25

- 1 極暗褐色土層 7.5YR2/3
ローム粒子少量、しまり弱、粘性弱

P 26・28

- 1 黒褐色土層 7.5YR3/2
ローム粒子少量、しまり弱、粘性強。
- 2 暗褐色土層 7.5YR3/4
ローム粒子多量、ロームブロック含む、
しまり弱、粘性強

P 32

- 1 黒褐色土層 7.5YR2/2
ローム・焼土・炭化粒子少量、しまり弱、
粘性弱

2 暗褐色土層 7.5YR3/4

- ローム粒子多量、しまり弱、粘性強

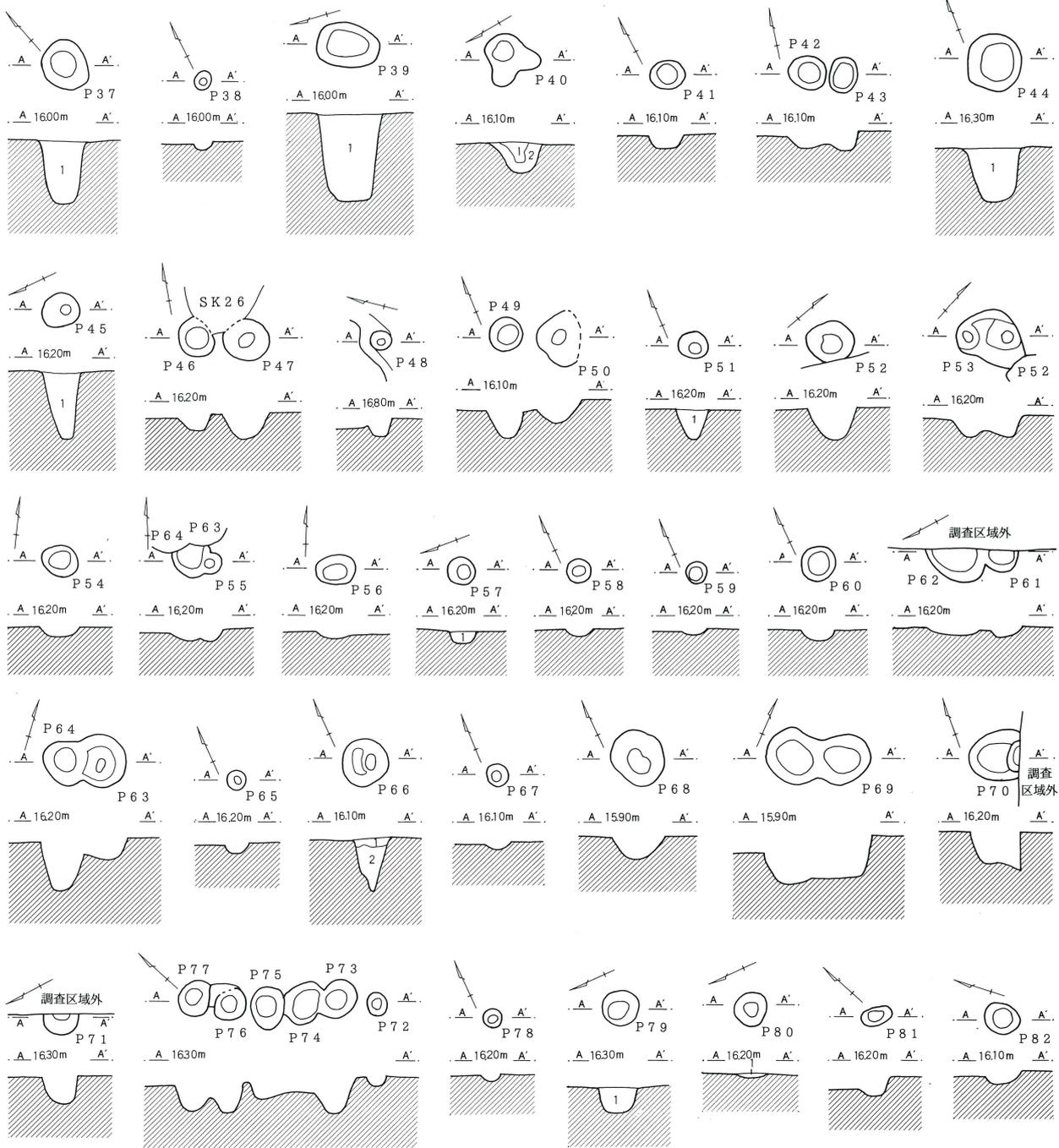
P 35

- 1 暗褐色土層 7.5YR3/4
ローム粒子多量、しまりなく、粘性弱
- 2 褐色土層 7.5YR4/4
ローム粒子多量、しまりあり、粘性強

P 36・40

- 1 黒褐色土層 7.5YR3/1
ローム・炭化粒子少量、しまり弱、粘性弱。
- 2 暗褐色土層 7.5YR3/4
ローム粒子多量、しまりあり、粘性やや強

第50図 柱穴(2)



P 37・39・44・45

1 極暗褐色土層 7.5YR2/3

ローム粒子・ロームブロック少量、炭化粒子・
焼土粒子微量、しまりあり、粘性強

P 51・57・76・79・130

1 黒褐色土層 7.5YR3/2

ローム粒子少量、しまり弱、粘性強。

P 66

1 暗褐色土層 7.5YR3/4

ローム粒子少量、しまり弱、粘性弱

2 暗褐色土層 7.5YR3/3

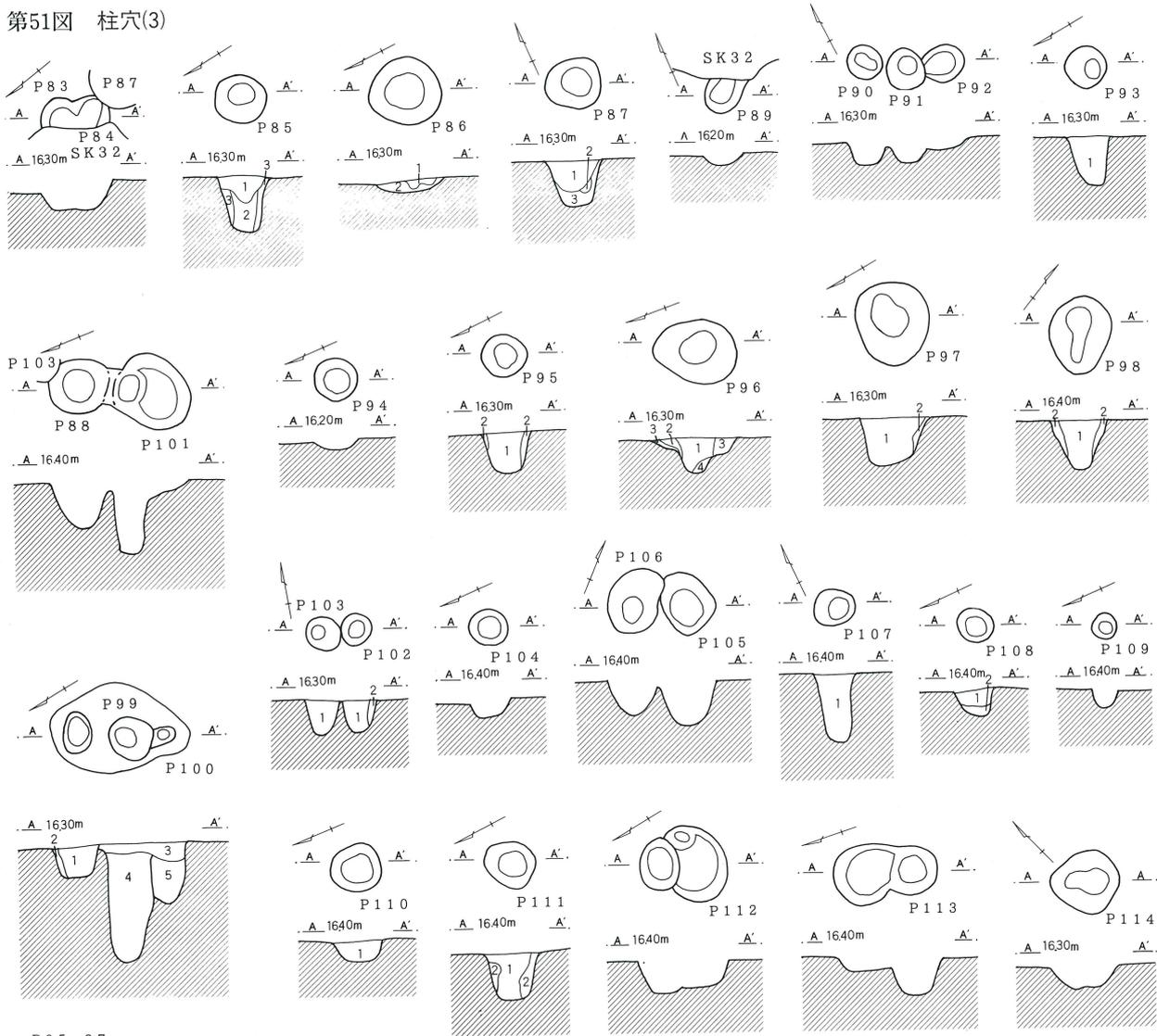
ローム粒子少量、ロームブロック微量、
しまり弱、粘性強

P 80

1 黒褐色土層 7.5YR3/2

ローム粒子多量、炭化粒子微量、しまりあり、粘性強

第51図 柱穴(3)



P 85・87

- 1 黒褐色土層 7.5YR2/2
ローム・焼土・炭化粒子少量、しまりあり、粘性やや強
- 2 極暗褐色土層 7.5YR2/3
ローム粒子少量、しまり弱、粘性やや強
- 3 暗褐色土層 7.5YR3/3
ローム粒子多量、ロームブロック含む、しまり弱、粘性強

P 86

- 1 暗褐色土層 7.5YR3/3
ローム粒子多量、しまりあり、粘性強
- 2 暗褐色土層 7.5YR3/4
ローム粒子多量、しまりあり、粘性強

P 93

- 1 黒褐色土層 7.5YR2/2
ローム粒子少量、ロームブロック少量、しまりあり、粘性強

P 95

- 1 暗褐色土層 7.5YR3/3
ローム粒子多量、しまりあり、粘性弱
- 2 暗褐色土層 7.5YR3/3
ローム粒子1より多量、しまりあり、粘性強、壁崩落土

P 96

- 1 黒褐色土層 7.5YR2/2
ローム粒子多量、炭化粒子微量、しまりあり、粘性強
- 2 暗褐色土層 7.5YR3/3
ローム粒子多量、しまりあり、粘性強、壁崩落土
- 3 暗褐色土層 7.5YR3/4
ローム粒子極多量、しまりあり、粘性強

- 4 褐色土層 7.5YR4/3
ローム粒子極多量、しまり弱、粘性強

P 97

- 1 黒褐色土層 7.5YR2/2
ローム粒子多量、炭化粒子微量、しまりあり、粘性強
- 2 暗褐色土層 7.5YR3/3
ローム粒子多量、しまりあり、粘性強

P 98・102

- 1 極暗褐色土層 7.5YR2/3
ローム粒子多量、しまり弱、粘性強
- 2 暗褐色土層 7.5YR3/3
ローム粒子多量、しまり弱、粘性強

P 99・100

- 1 黒褐色土層 7.5YR2/2
ローム粒子多量、炭化粒子微量、しまりあり、粘性強
- 2 暗褐色土層 7.5YR3/3
ローム粒子多量、しまりあり、粘性強、壁崩落土
- 3 黒褐色土層 7.5YR2/2
ローム粒子少量、焼土・炭化粒子多量、骨片含む、しまりあり、粘性やや強



- 4 黒褐色土層 7.5YR3/2
ローム粒子多量、しまりなし、粘性強
- 5 黒褐色土層 7.5YR3/2
ローム粒多量、しまりややあり、粘性強

P 107

- 1 極暗褐色土層 7.5YR2/3
ローム粒子多量、しまりあり、粘性強

P 108

- 1 極暗褐色土層 7.5YR2/3
ローム粒子少量、しまり弱、粘性強
- 2 褐色土層 7.5YR4/3
ローム粒子多量、しまり弱、粘性強

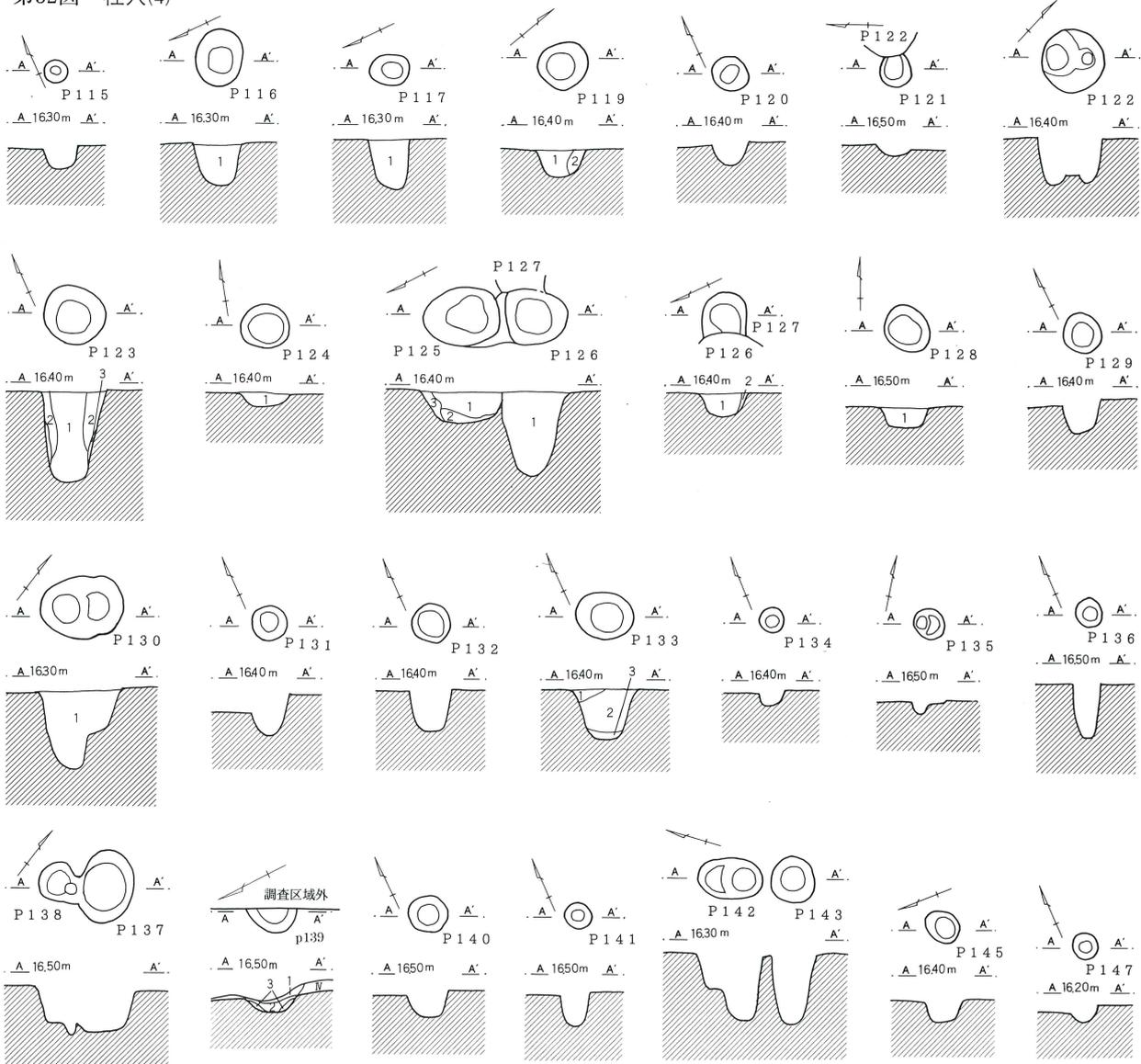
P 110・116・117

- 1 極暗褐色土層 7.5YR2/3
ローム粒子少量、しまりあり、粘性強

P 111

- 1 極暗褐色土層 7.5YR2/3
ローム粒子多量、しまりあり、粘性強
- 2 暗褐色土層 7.5YR3/3
ローム粒子多量、しまり弱、粘性強

第52図 柱穴(4)



P 1 1 9

- 1 極暗褐色土層 7.5YR2/3
ローム粒子少量、しまりあり、粘性強
- 2 褐色土層 7.5YR4/4
ローム粒子極多量、しまりあり、粘性強

P 1 2 3

- 1 黒褐色土層 7.5YR2/2
ローム粒子少量、焼土・炭化粒子多量、しまりなし、粘性非強
- 2 極暗褐色土層 7.5YR2/3
ローム・焼土・炭化粒子多量、しまりなし、粘性非強
- 3 暗褐色土層 7.5YR3/3
ローム粒子多量、ロームブロック含む、しまりなし、粘性非強

P 1 2 4・1 2 8

- 1 暗褐色土層 7.5YR3/4
ローム土主体、しまりあり、粘性強

P 1 2 5・1 3 9

- 1 極暗褐色土層 7.5YR2/3
ローム粒子多量、焼土・炭化粒子少量、骨片含む、しまり弱、粘性強
- 2 黒褐色土層 7.5YR2/2
ローム粒子多量、しまり弱、粘性強
- 3 暗褐色土層 7.5YR3/4
ローム粒子多量、しまり弱、粘性強

P 1 2 6

- 1 極暗褐色土層 7.5YR2/3
ローム粒子多量、しまり弱、粘性強

P 1 2 7

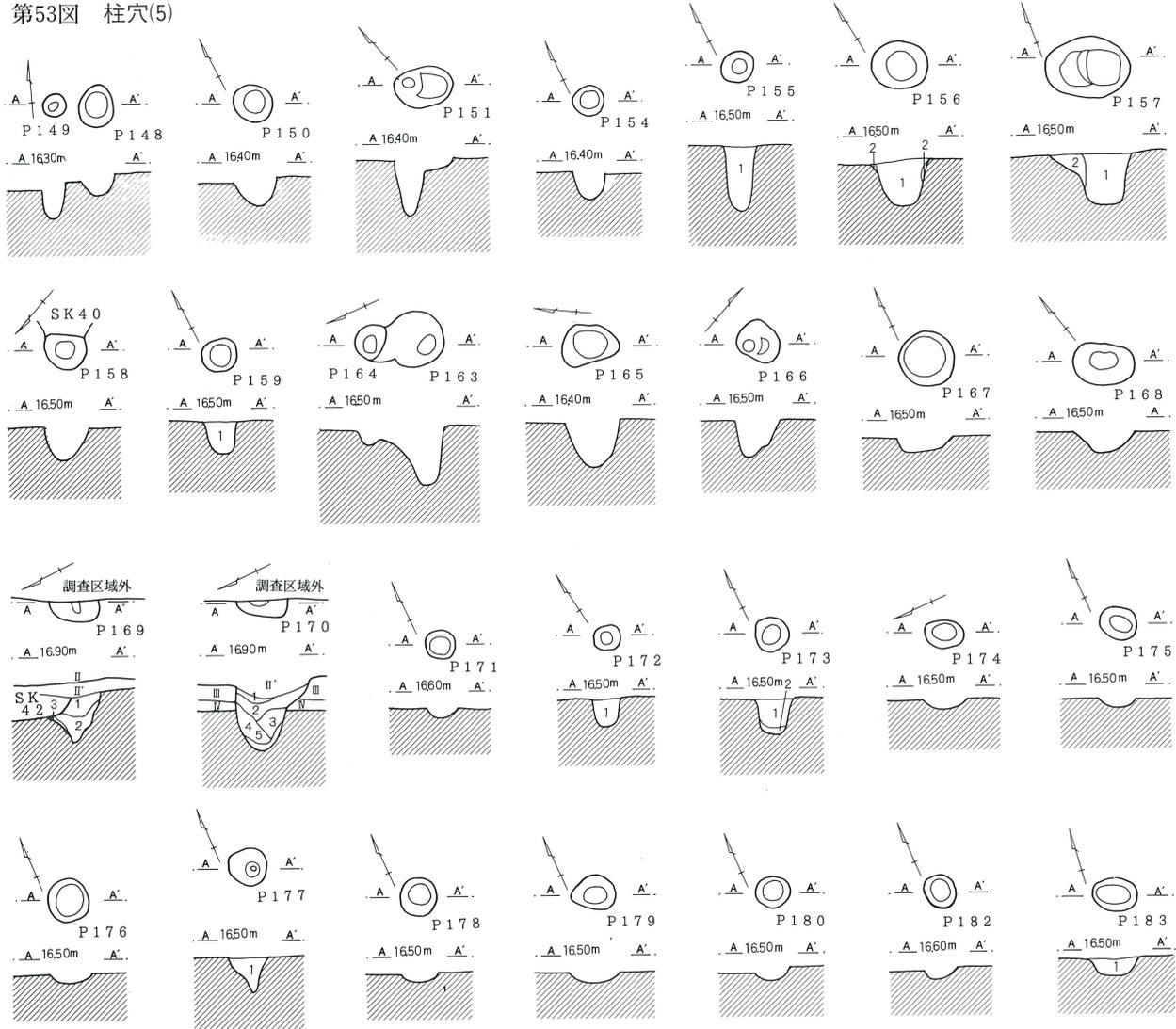
- 1 暗褐色土層 7.5YR3/4
ローム粒子多量、しまりあり、粘性強
- 2 褐色土層 7.5YR4/3
ローム粒子極多量、しまりあり、粘性強

P 1 3 3

- 1 黒褐色土層 7.5YR3/2
ローム粒子少量、しまり弱、粘性あり
- 2 暗褐色土層 7.5YR3/3
ロームブロック含む、しまり弱、粘性あり
- 3 黒褐色土層 7.5YR2/2
ローム粒子少量、サラサラとしてしまり弱、粘性あり



第53図 柱穴(5)



P 155

- 1 黒褐色土層 7.5YR2/2
ローム・焼土・炭化粒子少量、しまり弱、粘性強

P 156

- 1 黒褐色土層 7.5YR2/2
ローム・焼土・炭化粒子少量、しまり弱、粘性強
- 2 黒褐色土層 7.5YR2/2
ロームブロック多量、しまり弱、粘性強

P 157

- 1 黒褐色土層 7.5YR2/2
ローム・焼土・炭化粒子少量、しまり弱、粘性強
- 2 極暗褐色土層 7.5YR2/3
ローム粒子多量、しまり弱、粘性強

P 159

- 1 黒褐色土層 7.5YR2/2
ローム・焼土・炭化粒子少量、しまり弱、粘性強

P 169

- 1 極暗褐色土層 7.5YR2/3
ローム粒子少量、しまりあり、粘性強
- 2 暗褐色土層 7.5YR3/3
ローム粒子多量、しまりあり、粘性強
- 3 暗褐色土層 7.5YR3/3
ローム粒子多量、しまりあり、粘性強

P 170

- 1 黒褐色土層 7.5YR2/2
ローム粒子少量、腐植土多量、骨片・炭化粒子含む、しまりあり、粘性強
- 2 黒褐色土層 7.5YR2/2
ローム粒子少量、しまりあり、粘性強
- 3 極暗褐色土層 7.5YR2/3
ローム粒子多量、しまりあり、粘性強
- 4 極暗褐色土層 7.5YR2/3
ローム粒子極多量、しまり弱、粘性強
- 5 暗褐色土層 7.5YR3/4
ローム粒子極多量、しまり弱、粘性強

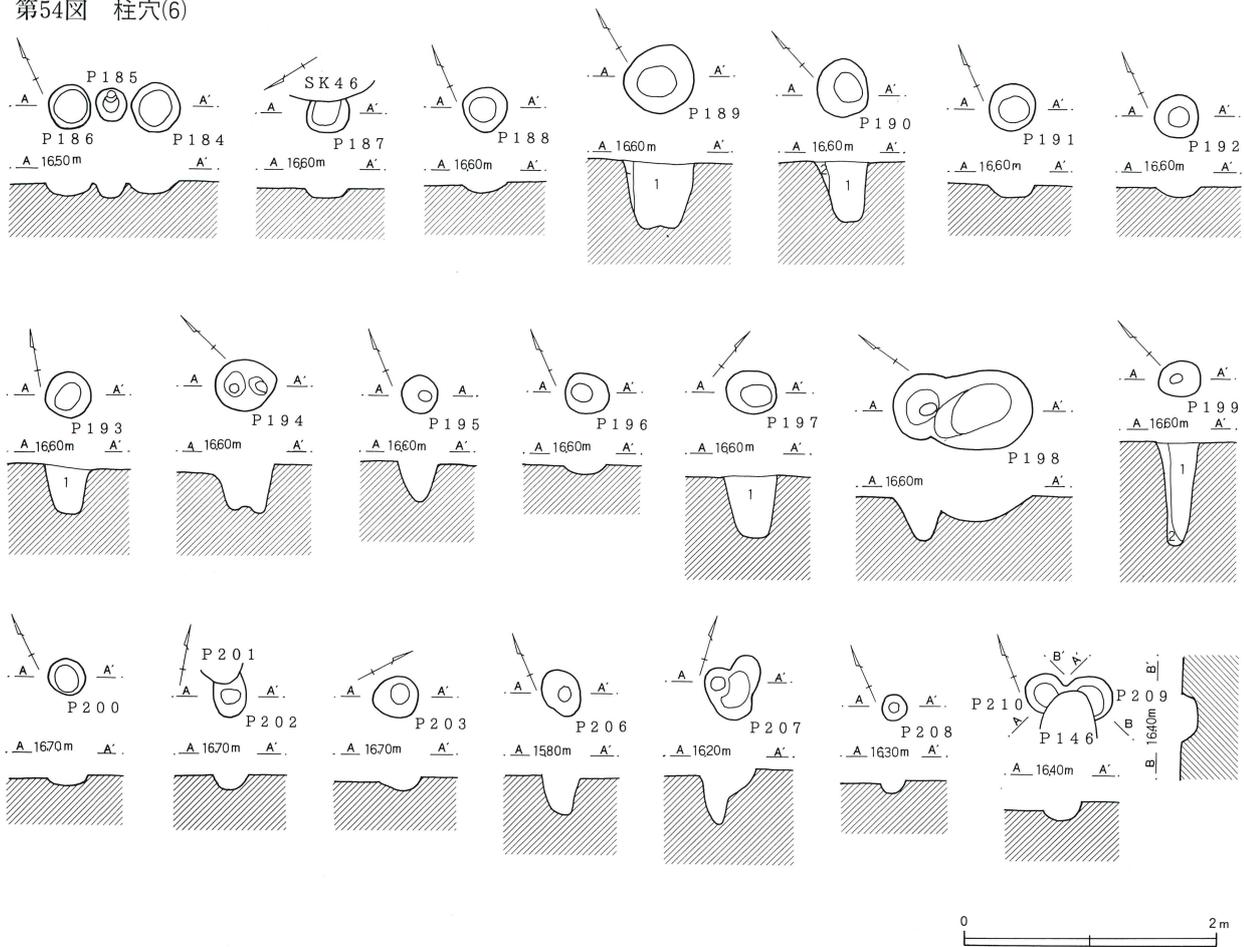
P 172・177・183

- 1 黒褐色土層 7.5YR2/2
ロームブロック多量、しまり弱

P 173

- 1 極暗褐色土層 7.5YR2/3
ローム粒子多量、しまり弱、粘性強
- 2 黒褐色土層 7.5YR2/2
ロームブロック多量、しまり弱、粘性強

第54図 柱穴(6)



P 189・190・199

- 1 黒褐色土層 7.5YR2/2
ローム・焼土・炭化粒子少量、しまり弱、粘性強
- 2 黒褐色土層 7.5YR2/2
ロームブロック多量、しまり弱、粘性強

P 193

- 1 黒褐色土層 7.5YR2/2
ローム・焼土・炭化粒子少量、しまり弱、粘性強

P 197

- 1 黒褐色土層 7.5YR2/2
ローム粒子多量、骨片含む、しまりなし、粘性非強、一括埋土、中層より獣骨

第5表 柱穴一覧表

(単位：m)

番号	グリッド	長径	短径	深さ	備考	番号	グリッド	長径	短径	深さ	備考
P 1	A-2-3	0.48	0.42	0.74	石皿	P14	B-2-1	0.41	—	0.35	
P 2	A-2-1	0.42	0.39	0.67		P15	B-2-3	0.37	0.35	0.17	
P 3	A-1-2	0.34	—	0.5		P16	B-1-4	0.46	0.44	0.32	
P 4	A-2-1	0.53	0.45	0.5		P17	B-1-4	0.31	0.26	0.06	
P 5	A-2-3	0.52	0.5	0.42		P18	B-1-4	0.4	0.37	0.12	
P 6	A-2-3	0.38	0.34	0.2		P19	B-1-4	0.26	0.25	0.28	
P 7	A-2-3	0.47	0.42	0.3		P20	C-1-2	0.31	0.26	0.18	
P 8	B-1-2	0.44	0.41	0.19		P21	C-1-2	0.43	0.41	0.28	
P 9	B-1-2	0.44	0.37	0.25		P22	C-1-2	0.62	0.54	0.58	
P10	B-1-2	0.49	0.47	0.12		P23	C-1-2	0.35	0.25	0.42	
P11	B-1-2	0.48	0.46	0.65		P24	C-1-2	0.36	0.3	0.26	
P12	B-1-2	0.3	0.21	0.24		P25	C-1-2	0.33	0.3	0.19	
P13	B-2-1	0.31	0.31	0.31		P26	C-1-2	0.62	0.38	0.61	

番号	グリッド	長径	短径	深さ	備 考	番号	グリッド	長径	短径	深さ	備 考
P27	C-1-2	0.73	0.47	0.1		P73	D-2-1	0.4	0.32	0.34	獣骨(イノシシ)
P28	C-2-1	0.7	0.51	0.58		P74	D-2-1	0.42	0.36	0.09	
P29	C-1-2	0.38	0.27	0.23		P75	D-2-1	0.41	0.31	0.16	
P30	C-1-4	0.23	0.21	0.1		P76	D-2-1	0.4	0.35	0.29	
P31	C-1-4	0.76	0.5	0.38		P77	D-2-1	0.36	0.32	0.25	
P32	C-2-3	0.47	0.39	0.78		P78	D-2-1	0.19	0.17	0.07	
P33	C-2-3	0.61	0.51	0.67		P79	D-2-1	0.36	0.33	0.24	
P34	C-1-4	0.31	0.22	0.47		P80	D-2-1	0.32	0.31	0.04	
P35	C-1-4, C-2-3	0.6	0.47	0.61		P81	D-2-1	0.3	0.16	0.19	
P36	C-2-3	0.75	0.53	0.27		P82	D-1-2	0.32	0.28	0.11	
P37	C-1-4	0.47	0.43	0.59		P83	D-1-2	0.34	0.27	0.16	
P38	C-1-4	0.18	0.16	0.09		P84	D-1-2	0.36	0.33	0.25	
P39	C-1-4	0.59	0.4	0.85		P85	D-2-1	0.45	0.42	0.49	
P40	C-1-4	0.55	0.5	0.29		P86	D-2-1	0.6	0.56	0.14	
P41	C-1-4	0.33	0.27	0.14		P87	D-1-2	0.52	0.46	0.4	
P42	C-1-4	0.36	0.3	0.12		P88	D-2-1, D-2-3	0.51	0.47	0.4	
P43	C-2-3	0.33	0.25	0.2		P89	D-1-2	0.41	0.32	0.11	
P44	C-2-3	0.55	0.52	0.53		P90	D-1-2	0.32	0.29	0.21	
P45	D-2-1	0.36	0.31	0.64		P91	D-2-1	0.36	0.34	0.22	
P46	C-2-3	0.39	0.33	0.15		P92	D-2-1	0.36	0.32	0.1	
P47	C-2-3	0.45	0.4	0.26		P93	D-2-1	0.36	0.35	0.43	
P48	C-2-3	0.19	0.19	0.17		P94	D-2-1	0.39	0.36	0.11	
P49	C-2-3	0.31	0.31	0.28		P95	D-2-1	0.4	0.37	0.38	
P50	C-2-3	0.52	—	0.23		P96	D-2-1	0.74	0.54	0.29	
P51	C-2-3	0.28	0.25	0.3		P97	D-2-1	0.7	0.63	0.43	
P52	D-2-1, C-2-3	0.46	0.4	0.31		P98	D-2-1	0.68	0.53	0.41	
P53	D-2-1	0.69	0.48	0.22		P99	D-2-1	0.4	0.35	1.05	
P54	C-2-3	0.36	0.3	0.1		P100	D-2-1	0.25	0.15	0.53	
P55	D-2-1	0.46	—	0.1		P101	D-2-3	0.69	0.57	0.64	
P56	D-2-1	0.37	0.27	0.07		P102	D-2-1	0.27	0.26	0.28	
P57	D-2-1	0.26	0.24	0.14		P103	D-2-1	0.32	0.27	0.3	
P58	D-2-1	0.23	0.22	0.09		P104	D-2-1, D-2-3	0.33	0.31	0.19	
P59	D-2-1	0.21	0.2	0.05		P105	D-2-3	0.54	0.42	0.4	
P60	D-2-1	0.35	0.3	0.1		P106	D-2-3	0.6	0.47	0.31	
P61	D-2-1	0.35	—	0.11		P107	D-2-3	0.38	0.34	0.59	
P62	D-2-1	0.58	—	0.06		P108	D-2-3	0.33	0.29	0.26	
P63	D-2-1	0.46	0.39	0.46		P109	D-2-3	0.22	0.21	0.17	
P64	D-2-1	0.54	0.49	0.22		P110	D-2-3	0.45	0.43	0.19	
P65	D-2-1	0.19	0.17	0.1		P111	D-2-3	0.43	0.4	0.4	
P66	D-1-2	0.43	0.44	0.5		P112	D-2-3	0.69	0.51	0.39	
P67	D-1-2	0.23	0.22	0.09		P113	D-2-3	0.88	0.54	0.31	
P68	D-1-2	0.54	0.5	0.21		P114	D-2-3	0.59	0.54	0.23	
P69	D-1-2	0.99	0.52	0.48		P115	D-1-2	0.22	0.21	0.2	
P70	D-2-1	0.55	0.5	0.31		P116	D-1-4	0.5	0.4	0.39	
P71	D-2-1	0.34	—	0.25		P117	D-1-4	0.35	0.28	0.44	
P72	D-2-1	0.22	0.2	0.1		P118	D-1-4	0.55	0.41	0.23	

番号	グリッド	長径	短径	深さ	備 考	番号	グリッド	長径	短径	深さ	備 考
P119	D-2-3	0.44	0.4	0.25		P165	E-1-4	0.47	0.35	0.39	
P120	D-2-3	0.32	0.3	0.23		P166	E-2-3	0.37	0.33	0.32	
P121	D-2-3	0.32	0.28	0.11		P167	E-2-3	0.47	0.45	0.15	
P122	D-2-3	0.57	0.54	0.41		P168	E-2-3	0.5	0.35	0.19	
P123	D-2-3	0.55	0.5	0.79		P169	E-2-3	0.42	—	0.54	
P124	D-2-3	0.43	0.37	0.11		P170	E-2-3	0.43	—	0.51	
P125	D-2-3	0.65	0.51	0.29		P171	E-2-3	0.26	0.24	0.09	
P126	D-2-3	0.59	0.49	0.73		P172	E-2-3	0.23	0.21	0.24	
P127	D-2-3	0.44	0.42	0.22		P173	E-2-3	0.28	0.28	0.3	
P128	D-2-3	0.43	0.37	0.21		P174	E-2-3	0.34	0.23	0.1	
P129	D-2-3	0.34	0.34	0.31		P175	E-2-3	0.32	0.29	0.09	
P130	D-1-4	0.72	0.55	0.71		P176	E-2-3	0.37	0.35	0.09	
P131	D-1-4	0.32	0.31	0.36		P177	E-1-4	0.33	0.3	0.29	
P132	D-1-4, D-2-3	0.35	0.34	0.36		P178	E-1-4	0.32	0.3	0.08	
P133	D-2-3	0.5	0.41	0.45		P179	E-1-4	0.39	0.28	0.09	
P134	D-2-3	0.23	0.23	0.14		P180	E-1-4, E-2-3	0.27	0.25	0.12	
P135	D-2-3	0.28	0.26	0.1		P181	F-2-1	0.46	0.32	0.35	
P136	D-2-3	0.24	0.24	0.48		P182	F-2-1	0.28	0.26	0.1	
P137	D-2-3	0.62	0.47	0.34		P183	F-2-1	0.38	0.29	0.18	
P138	D-2-3	0.34	0.33	0.32		P184	F-2-1	0.35	0.34	0.09	
P139	D-2-3	0.44	—	0.28		P185	F-2-1	0.27	0.26	0.13	
P140	D-2-3	0.35	0.32	0.24		P186	F-2-1	0.39	0.39	0.11	
P141	D-2-3	0.24	0.22	0.29		P187	F-2-1	0.32	0.3	0.09	
P142	E-1-2	0.57	0.34	0.59		P188	F-2-1	0.35	0.34	0.07	
P143	E-1-2	0.4	0.38	0.63		P189	F-2-1	0.54	0.53	0.53	
P144	E-1-2	0.44	0.43	0.35		P190	F-2-1	0.46	0.4	0.48	
P145	E-1-2	0.31	0.27	0.21		P191	F-2-1	0.38	0.36	0.11	
P146	E-1-2	0.56	0.44	0.31		P192	F-2-1	0.36	0.34	0.09	
P147	E-1-2	0.23	0.22	0.16		P193	F-1-2	0.36	0.36	0.4	
P148	E-1-2	0.37	0.3	0.18		P194	F-1-2	0.47	0.4	0.41	
P149	E-1-2	0.19	0.18	0.25		P195	F-2-1	0.31	0.31	0.32	
P150	E-2-1	0.34	0.31	0.25		P196	F-2-3	0.33	0.33	0.08	
P151	E-2-1	0.5	0.34	0.5		P197	F-1-4	0.39	0.34	0.5	
P152	E-2-1	0.51	0.41	0.35		P198	F-2-3	1.1	0.63	0.17	
P153	E-2-1	0.53	0.31	0.18		P199	F-2-3	0.35	0.28	0.82	
P154	E-2-1	0.27	0.26	0.23		P200	F-2-3	0.31	0.3	0.09	
P155	E-1-2	0.3	0.28	0.56		P201	F-2-3	0.58	0.4	0.13	
P156	E-1-2	0.47	0.39	0.4	石鏝	P202	F-2-3	0.36	0.29	0.12	
P157	E-2-1	0.71	0.5	0.42		P203	F-2-3	0.34	0.34	0.12	
P158	E-2-3	0.37	0.3	0.28		P204	C-2-1	—	—	0	
P159	E-2-3	0.3	0.27	0.28		P205	E-2-1	0.27	0.26	0.3	
P160	E-2-3	0.59	0.5	0.32		P206	B-2-1	0.36	0.3	0.33	
P161	E-2-3	0.48	0.38	0.15		P207	E-1-2	0.54	0.44	0.46	
P162	E-1-4	0.35	0.34	0.18		P208	E-1-2	0.2	0.19	0.14	
P163	E-1-4	0.68	0.48	0.5		P209	E-1-2	0.32	0.3	0.16	
P164	E-1-4	0.28	0.23	0.11		P210	E-1-2	0.36	0.2	0.12	

出土土器 (第55図)

1は朝顔形の深鉢形土器である。沈線間に縄文を充填する。後期前葉の堀之内2式である。

2は沈線間に列点を施した深鉢形土器の胴部破片である。後期前葉の称名寺式である。

3は平口縁の深鉢形土器である。沈線間に列点を施す。晩期の安行3c式である。

4は深鉢形土器の胴部破片である。沈線文を施す。後期前葉の土器である。

5は口縁部が内湾する形態の浅鉢形土器である。体部は無文で、口唇部に刺突を施す。後期中葉の加曾利B2式である。

6は外反気味に立ち上がる平口縁の深鉢形土器である。晩期安行式である。

7は深鉢形土器の胴部である。縄文を施す。後期の土器である。

8、9は朝顔形の深鉢形土器である。外面には隆帯、内面には沈線文が巡る。9は沈線間に縄文を充填する。後期前葉の堀之内2式である。

10は深鉢形土器の胴部である。沈線を施す。後期前葉の堀之内1式である。

11は平口縁の深鉢形土器である。口縁部に刺突が巡

る。条線を施す。後期後葉の安行1式であろう。

12は口縁部の2条沈線間に縄文を充填した浅鉢形土器である。後期中葉の加曾利B2式である。

13は深鉢形土器の胴部である。沈線を施す。後期前葉の堀之内1式である。

14は口縁部に弧線文による磨消縄文を施した浅鉢形土器である。後期中葉の加曾利B2式である。

15は算盤玉形の鉢形土器である。後期中葉の加曾利B2式である。

16は平口縁の深鉢形土器である。沈線によって文様を施す。晩期安行式である。

17、21は朝顔形の深鉢形土器である。外面に隆帯、内面に1条沈線が巡る。後期前葉の堀之内2式である。

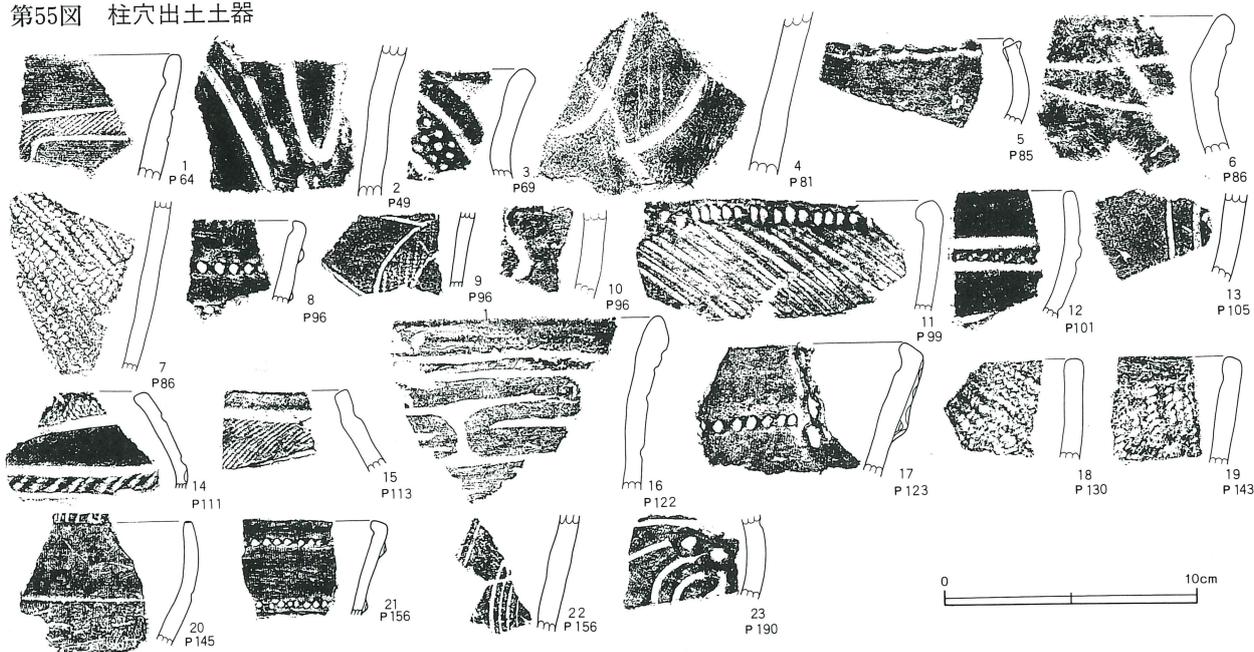
18、19は器面に縄文を施文する深鉢形土器である。後期中葉の加曾利B式である。

20は内湾気味に立ち上がる浅鉢形土器である。口辺部に1条沈線と口唇部に刻みを施す。後期中葉の加曾利B2式である。

22は櫛歯状工具による条線文を施す深鉢形土器である。後期の土器である。

23は丸みを帯びた胴部の破片である。沈線文と点文を施す。後期前葉の堀之内1式である。

第55図 柱穴出土土器



3. グリッド出土遺物

(1) 土器 (第56図～第76図)

遺構外からは後期前葉から晩期の土器が出土している。これらを大きく3群に分けて記述する。第1群は後期前葉、第2群は後期中葉、第3群は後期後葉～晩期の土器である。なお第2群土器の類別は第3号住居跡出土土器の分類と同様な項目だてとなっている。

第1群土器 (第56図～第58図)

後期前葉の土器群を一括する。典型的な称名寺式土器は少なく、ほとんどが称名寺式第7段階の資料と思われる。また、堀之内1式については新しい部分の土器が少ない。第56図、第57図の土器は称名寺式末から堀之内1式の古い部分の資料と見られる。堀之内2式については第58図にまとめた。

第56図1は深鉢形土器の胴部である。地文縄文上に蕨手状の文様を施文する。縄文はLRを横位に施文する。第56図2は小形の深鉢形土器である。口縁部に2条の沈線文が巡り、胴部には同心円状のモチーフ、蛇行沈線、斜沈線などを施す。およそ3/4の残存度である。

第57図1～8は胴部が緩く張る形態の深鉢形土器である。1は口縁部の破片である。2～6は帯状沈線区画内に短沈線状の列点を施す。7、8は帯状沈線区

画内に円形の点文を施す。

9、10は口縁部が「く」の字状に内折する鉢形土器である。9は口縁部に沈線文、貼付文を施す。10は点文と沈線を施す。

11～15は各種の土器の口縁部である。11は地文縄文上に「U」の字状のモチーフを施す。12は沈線、縄文、隆帯、13、14は沈線を施す。15は「く」の字状に内折する口縁部形態の土器である。沈線文を施す。

16は胴部が張り、括れ部から口縁部へ外傾して立ち上がる形態の深鉢形土器である。口辺部を無文とし、括れ部に鎖状の隆帯が巡る。口縁部の内面には沈線文と「8」の字状の貼付文を施す。

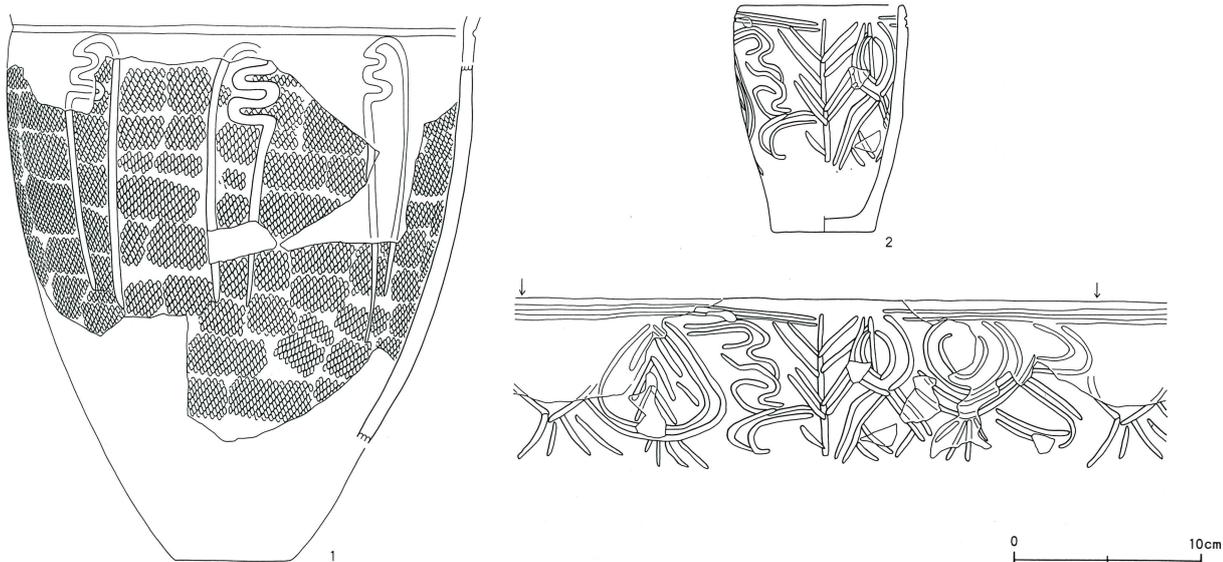
17は沈線の下位に崩れた「J」の字状の文様を施す深鉢形土器である。18も沈線文を施す。

19～25は口縁部に沈線が巡る深鉢形土器である。

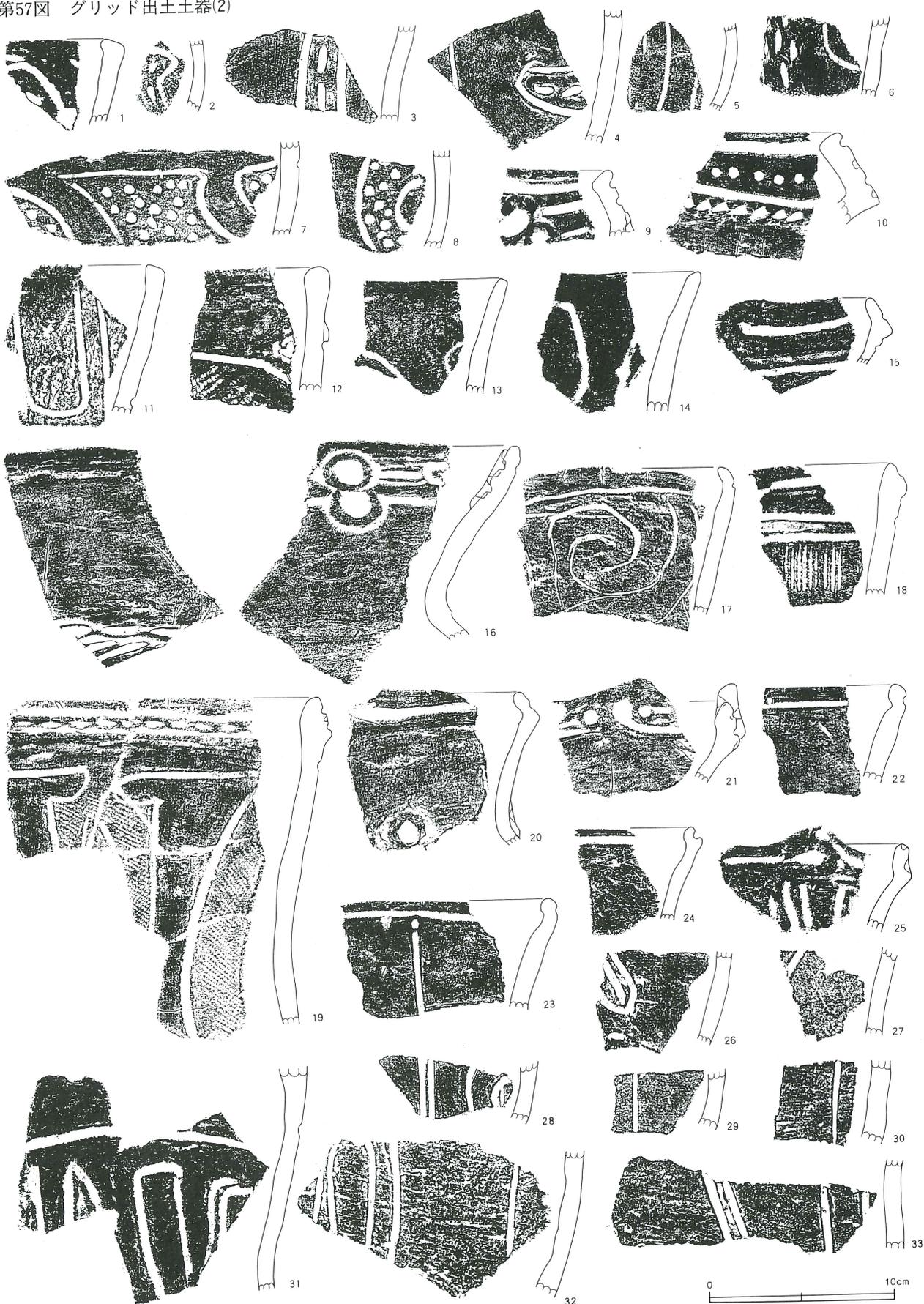
19は胴部が緩く張る形態の深鉢形土器である。口縁部に沈線と列点が巡る。本来的な口辺部の帯状構成が崩れており、1条の横線の下位に称名寺式系統のモチーフが施されている。沈線間には縄文を充填する。

20、21は胴部が張り、括れ部から口縁部へ外反気味

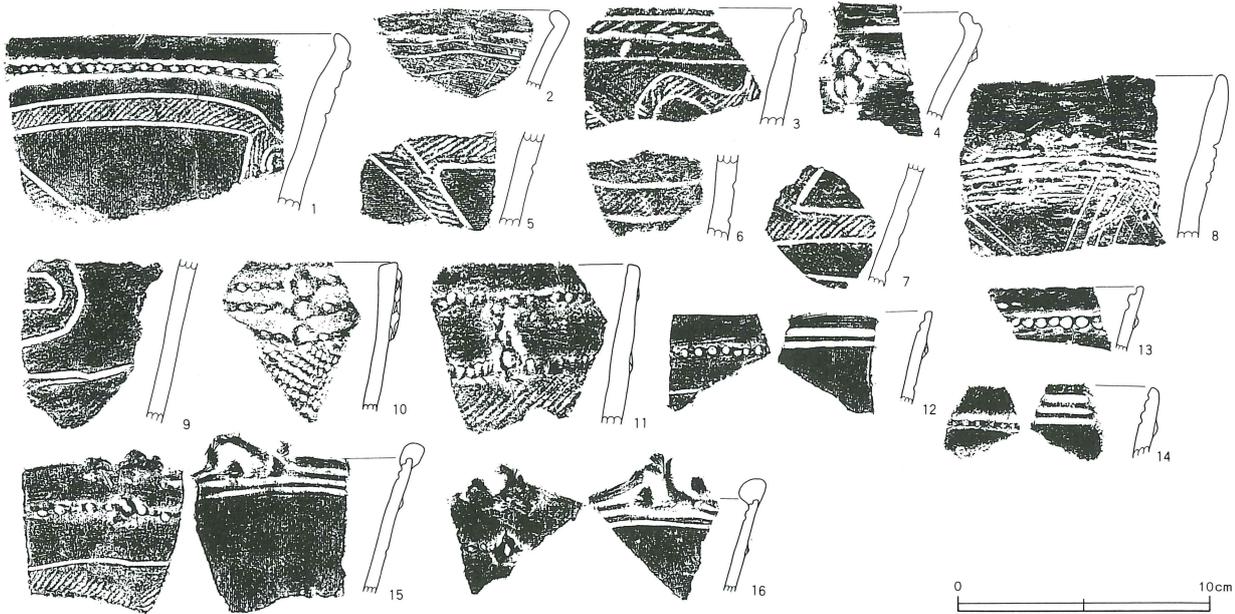
第56図 グリッド出土土器(1)



第57図 グリッド出土土器(2)



第58図 グリッド出土土器(3)



に立ち上がる形態の深鉢形土器である。20は括れ部に貼付文を施す。21は口縁部に貼付文と2条の沈線を施す。

22~25は胴部が緩く張る形態の深鉢形土器である。沈線のみによる文様施文である。26~33に沈線のみが施文された胴部の破片をまとめた。31は口縁部近くの破片である。

第58図1~4、5~7、9は底部付近から口縁部へ外反気味に立ち上がる朝顔形の深鉢形土器である。

1は斜沈線と渦巻状の文様を施す。沈線間に縄文を充填する。2は横位、斜位の沈線文により三角形文を構成する。3は曲線的なモチーフを施す。4は口縁部に沈線が巡る。「8」の字状の貼付を施す。5~7、9は胴部の破片である。5、7は三角形、9は曲線的なモチーフを施す。なお、8は櫛歯状工具による条線文を施す土器で堀之内1式かもしれない。

10、11は紐線文系土器につながる単純な形態の深鉢形土器である。10はやや丸みを帯び、11は直線的な立ち上がりを示す。10は2条、11は3条の隆帯が口縁部に巡り、縦位にも短い隆帯を施す。

12~16は朝顔形の深鉢形土器の系統を引く土器である。底部付近から外傾して直線的に立ち上がる単純な形態となっている。12、13は2条、14~16は3条沈

線が口縁部内面に巡る。15、16は把手を施す。

第2群土器 (第59図~第70図)

後期中葉の土器を一括する。

加曾利B2式が最も多く、加曾利B1式、B3式はこれに次ぐ出土量であった。曾谷式の出土はごく少量であった。これについては当群に含めた。

第1類 (第59図1、2、4、第60図14~17、19~29、31~34)

3単位把手を有する深鉢形土器を一括する。

第59図1は対称形の把手を有する土器である。2条沈線を口縁部と括れ部直上に巡らせる。主文様は斜沈線によって菱形文を施す。菱形のネガ部分にRの無節を充填する。菱形文の要所に「()」状文、点文を施す。約1/6の残存度である。

第59図2は把手部分を欠く。弧状の沈線区画内に縄文を充填する。

第59図4は把手部分ないしは波頂部を欠く。口縁部に沿って沈線文を巡らせており、本類としては多少異質である。口縁部に瘤文を施す。第60図14、15は把手部分である。16、17は同一個体である。並行沈線と「()」状文を施す。19~22、30、32、33は区画内および沈線間に縄文を充填する。24~27、34は区画内および沈線間を擦痕とする土器である。28は矢羽根状沈線を施す。

29は外面に太い凹線のみが認められる。

第2類 (第59図5、第60図1～13、35～39)

第1類と同様な並行沈線文、弧線文による磨消縄文などを施す土器のうち、把手を有していないものを一括する。平口縁、波状口縁等各種のタイプがある。

a (第60図1～8)

並行沈線文を施す平口縁深鉢形土器である。

1～6は底部付近から直線的に立ち上がる形態の土器である。内面には刻み、点文、沈線等多用する。1の外面には堀之内2式の隆帯の名残りとして刺突を施す。4の外面の並行沈線には句切り文が見られる。7、8は口縁部がやや内折する形態である。

b (第60図9、11、35)

並行沈線文、弧線文を施す平口縁深鉢形土器のうち口縁部が直立気味に立ち上がる形態のもの。口縁部に無文部がある。第60図11、35は「()」状文を施す。

c (第60図36～38)

並行沈線文を施す波状口縁深鉢形土器である。口縁部に沿って無文部がある。37は並行沈線内部に、38は波状部下に「()」状の文様を施す。

d (第60図10)

並行沈線文を施す深鉢形土器のうち、胴部に緩い膨らみを有する土器である。10は並行沈線を施す。

e (第60図12、13、18、30)

本類の胴部破片を一括する。

f (第59図5、第60図39)

最大径が胴部にあり、口縁部に横位の沈線を施す土器である。遠部第三類土器に相当する。沈線施文部はよく研磨されている。

第3類 (第59図3、第64図5～11、13、19～27)

沈線文を施す深鉢形土器のうち、括れ部を有する土器を一括する。

b (第61図5～8、10、11)

括れ部直上に無文帯をおき、口辺部と胴部に矢羽根状沈線を施す平口縁深鉢形土器である。口唇部には小貼付文や点列が巡る。

c (第61図9)

矢羽根状沈線を施す波状口縁深鉢形土器である。口縁部内面を肥厚させている。

d (第59図3、第64図13、19～27)

その他の土器を一括する。

第59図1は胴部が張り、括れ部から口縁部へ外傾して直線的に移行する形態である。括れ部には沈線間に列点を施す。胴部と口縁部には格子目状の沈線を施す。1/6以下の残存度である。

第59図3とは括れ部の沈線の有無、主文様の違い、波状・平縁の別など様々な違いがあるが、類似する資料として第64図13、19～27を本類としてあげた。器形も鉢形土器になるものが少なくないであろう。

第4類 (第59図7、8、第61図12～21)

口縁部に沈線や刻み等を施す5単位の波状口縁深鉢形土器を一括する。第59図7は地文縄文を施す。肥厚した口縁部に沿って沈線を施す。波底部に瘤文を施す。胴部は斜沈線施文後に斜位にLRの縄文を施文している。1/6以下の残存度である。

第59図8は尖った波状部を配している。口縁部には沈線と刻みを施す。口縁部は波状5単位の内、3山が残存している。

第61図11、12は縄文、14、15、18、19は沈線を施文する。16、17は口辺部を無文とする。20、21は胴部破片である。曲線的な沈線と縄文を施す。

第5類 (第59図6、第61図1～4、22～24)

その他の精製深鉢形土器を一括する。

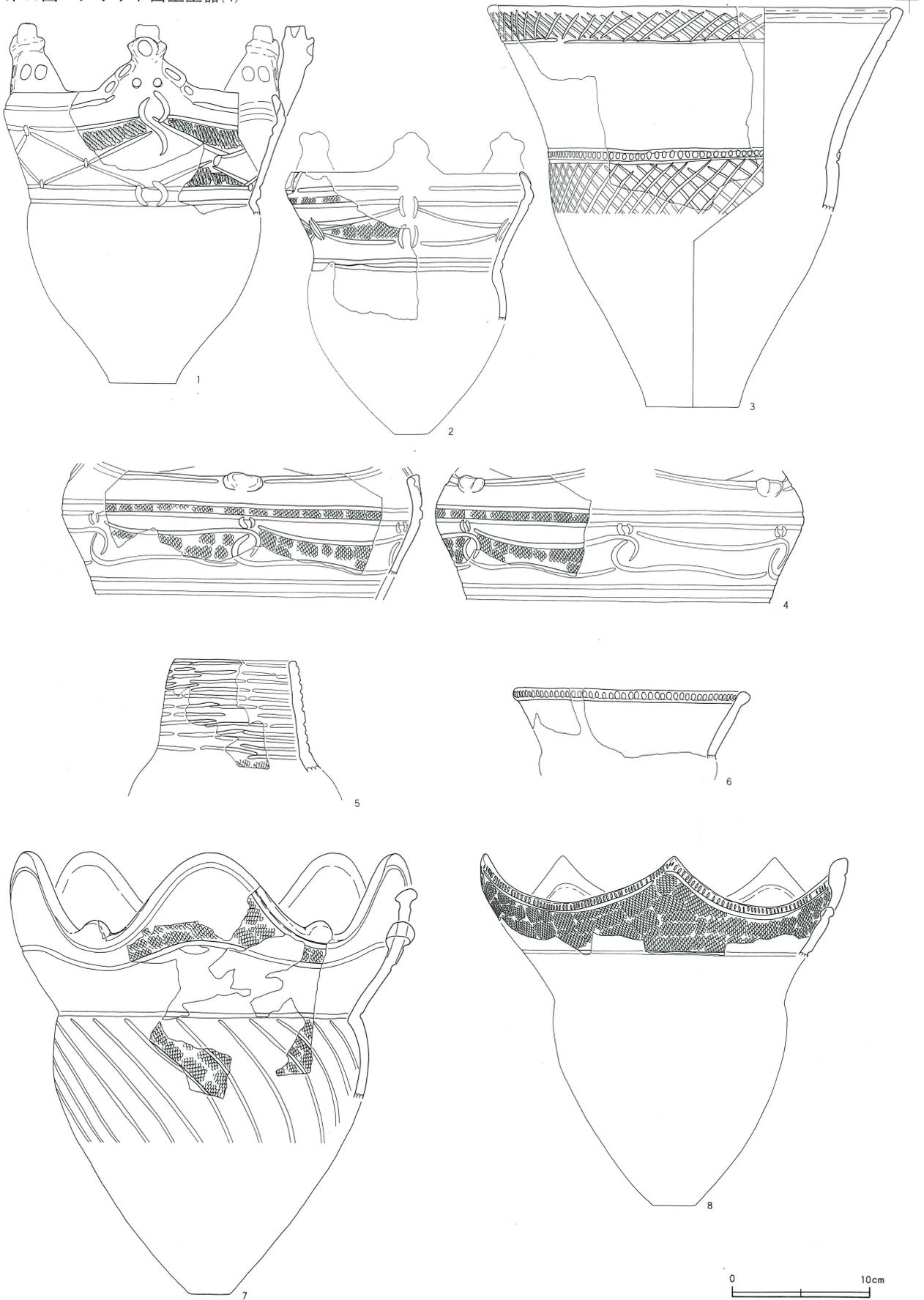
d (第61図1～4)

口縁部が外傾して立ち上がる形態の土器である。口縁部の内外面に沈線が巡り、縄文帯とする土器である。第1号住居跡出土の浅鉢形土器(第11図2)が類例としてあげられる。深鉢形土器以外の器種も含むであろう。3は矢羽根状沈線を外面に施す。第11図2と2例だけだが当遺跡では矢羽根状沈線との結び付きが認められる。

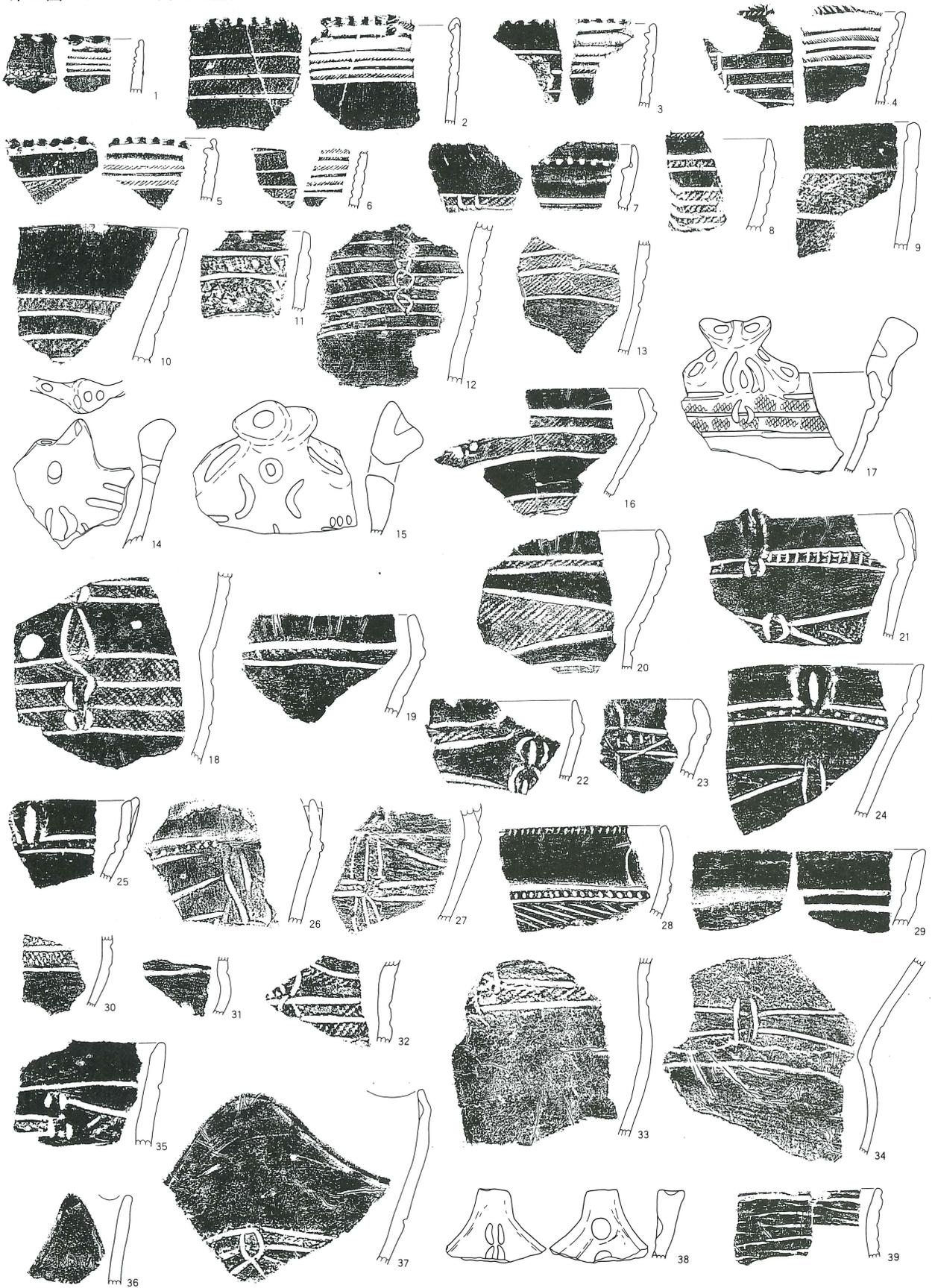
e (第61図22)

貝殻の圧痕による疑似縄文を施す土器である。

第59図 グリッド出土土器(4)

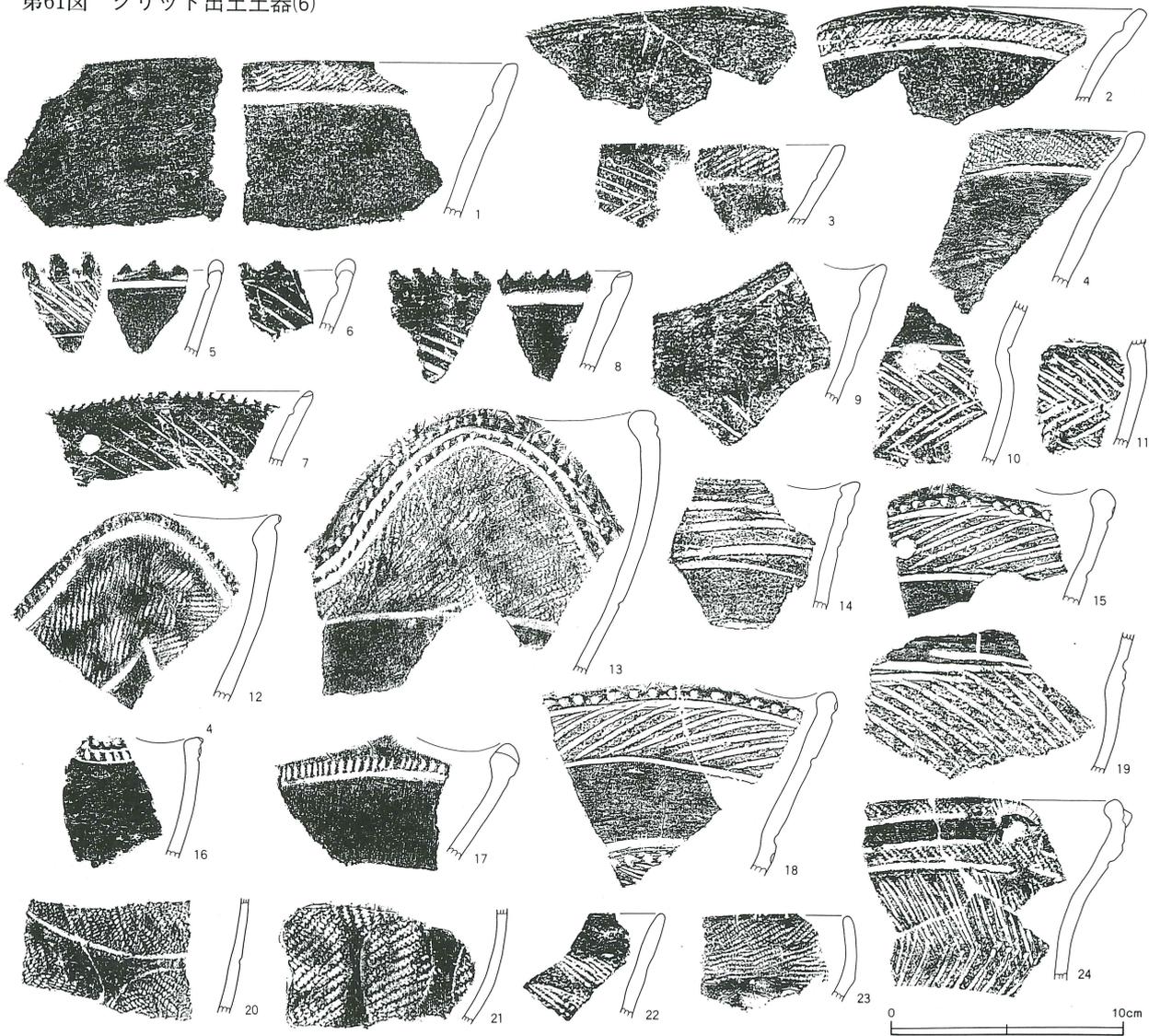


第60図 グリッド出土土器(5)



0 10cm

第61図 グリッド出土土器(6)



f (第59図6)

平口縁土器である。肥厚する口縁部に点文が巡る。括れ部以下を欠損する。

g (第61図23、24)

曾谷式を一括する。平口縁土器である。23は口縁部に縄文のみを施文する。24は口縁部に縄文、沈線、瘤文、胴部に矢羽根状沈線を施す。

第6類 (第62図1～4、第63図1～25)

外面は突起、稜線等を除くと無文の土器である。内文を有する鉢形土器とこれに後続する口縁部が「く」の字状に内折する鉢形土器、浅鉢形土器を一括する。

a (第62図1、第63図1～4)

底部から口縁部へ直線的に外傾して立ち上がる形態

である。内文を有する鉢形土器である。刻みと沈線を施す。

第62図1は3単位に把手を施す。把手下の内面には渦巻状文等を施す。口縁部に沿って4条沈線と刻みを施す。約2/3の残存度である。

b (第63図6～10)

底部から緩く丸みを帯びて立ち上がり、口縁部が「く」の字状に内折する土器である。点文、刻み、横線などを施す。

c (第62図2～4、第63図12～25)

「く」の字状に内折する口縁部が幅広となり、やや丸みを帯びる土器である。内文は退化的で、施文されないものも多い。口縁部は刻み、小波状、把手などの

装飾を施すものがある。

第63図24、25はやや後出であろうか。肥厚気味の口縁部となっている。

d (第63図5、11)

体部の破片を一括する。第63図5は横線と「の」の字状の文様を施す。第63図11は内面に弧線文と「()」状文を施す。外面にも点文が巡り、本類としてはやや異質である。

第7類 (第63図26～36)

並行沈線文と各種の区切り文を施す鉢形土器を一括する。第63図26～28は口縁部に刻みが巡る。26、27、31は「の」の字状の沈線を施す。30は点文によって沈線を区切っている。34、35は「()」状の沈線を施す。36は縦句切りの沈線文を施す。

第8類 (第62図9、第65図1～16)

いわゆる算盤玉の形態の鉢形土器と形態的、文様の共通性のある鉢形土器を一括する。

a (第62図9、第65図1～10)

口縁部が内傾するいわゆる算盤玉の形態の鉢形土器である。

第62図9は口縁部を欠損する。屈曲部には縄文帯を施す。無文帯を挟んで体部に矢羽根状沈線を施す。1/6以下の残存度である。第65図1、2は無文の口縁部が内傾、4、5、8は直立する形態である。8は口縁の無文帯下に2条沈線と刻みを施す。9は突起と縄文帯を口縁部に施す。

b (第65図15、16)

器高のほぼ中位で内傾する形態の土器である。15は弧状の沈線内部に縄文を、16は並行沈線を施す。

c (第65図11～14)

底部付近から丸みを帯びて立ち上がり、最大径である口縁部が直立気味になる形態の土器である。口縁部に弧線文による磨消縄文を施す。14は口縁部に縦長の突起を施す。

第9類 (第64図1～12、第66図4)

矢羽根状沈線、横線等の集合沈線文を施す鉢形土器、浅鉢形土器、台付土器を一括する。深鉢形土器に相当

するものもあるかと思われる。遠部第二類土器に相当する。

第64図1～7、11、12は波状口縁、8～10は平口縁の土器である。

第66図4は斜沈線を三角形状に交互に施す。平口縁の台付土器である。

第10類 (第65図28～38)

沈線文系の胴部破片を一括する。

第65図28～33、35、36は体部が緩やかに丸みを持つ形態、34、37、38は外反気味もしくは直線的に推移する形態である。33は太めの短沈線を矢羽根状に施した土器でやや異質である。下端の横帯区画内部にも矢羽根状沈線を施す。

第11類 (第63図37～39、第65図17～21)

丸底の底部で、体部の最大径付近に沈線と点文が巡り、口縁部が内湾する形態の浅鉢形土器を一括する。

a (第63図37～39)

口縁部は無文の土器、もしくは要所に「()」状の沈線等を施す土器を一括する。37は円形の貼付文、38は「()」状の沈線を口縁部に施す。37、39の体部には弧線文を施し、区画内に縄文を充填する。38は無文の体部であろう。

b (第65図17～21)

口縁部に弧線文による磨消縄文や縄文帯を施す土器を一括する。17～19は弧線文、20、21は縄文帯を口縁部に施す。

第12類 (第62図5～8)

無文で、丸底の浅鉢形土器を一括する。

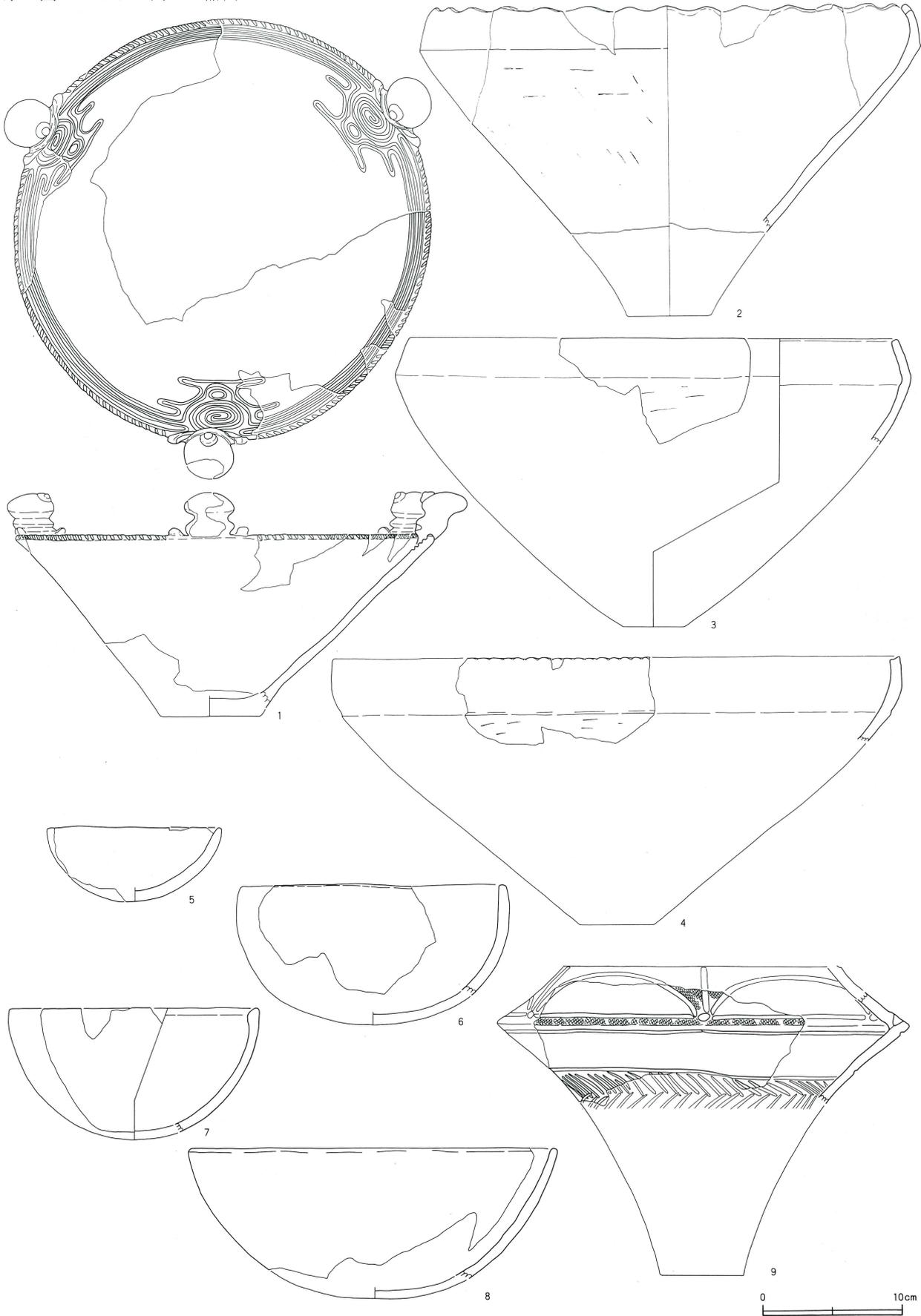
第13類 (第64図14～18、第65図22～27、第66図1～3)

その他の鉢形土器、浅鉢形土器を一括する。

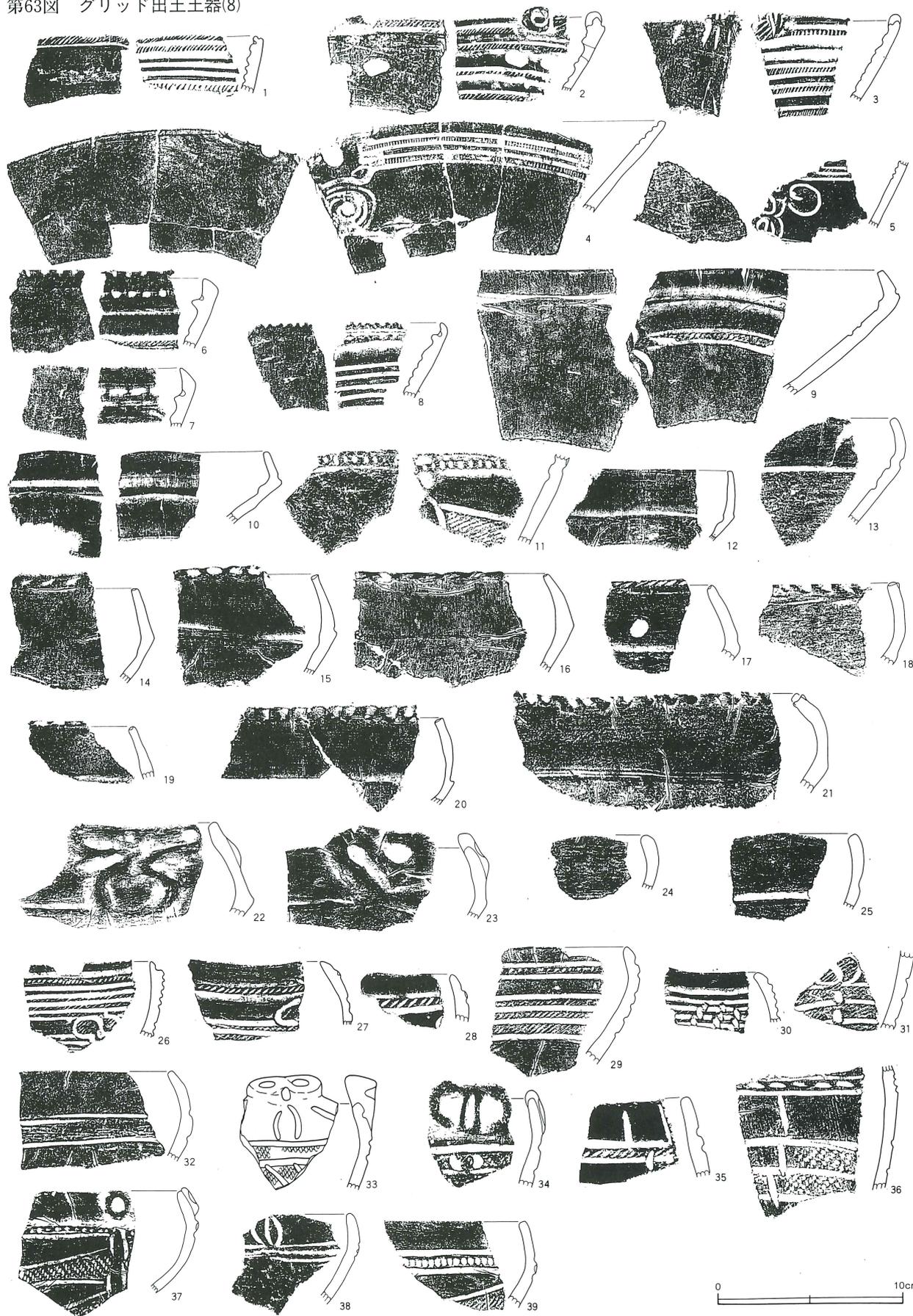
第64図15～18は沈線間に点文や列点を施す土器である。15は台部の破片である。16～18は波状の鉢形土器である。18の下端は底部近くと思われる。口辺部近くで丸みを帯びて立ち上がる形態である。

第64図14は幅広の無文部が内傾して立ち上がる形態の鉢形土器である。

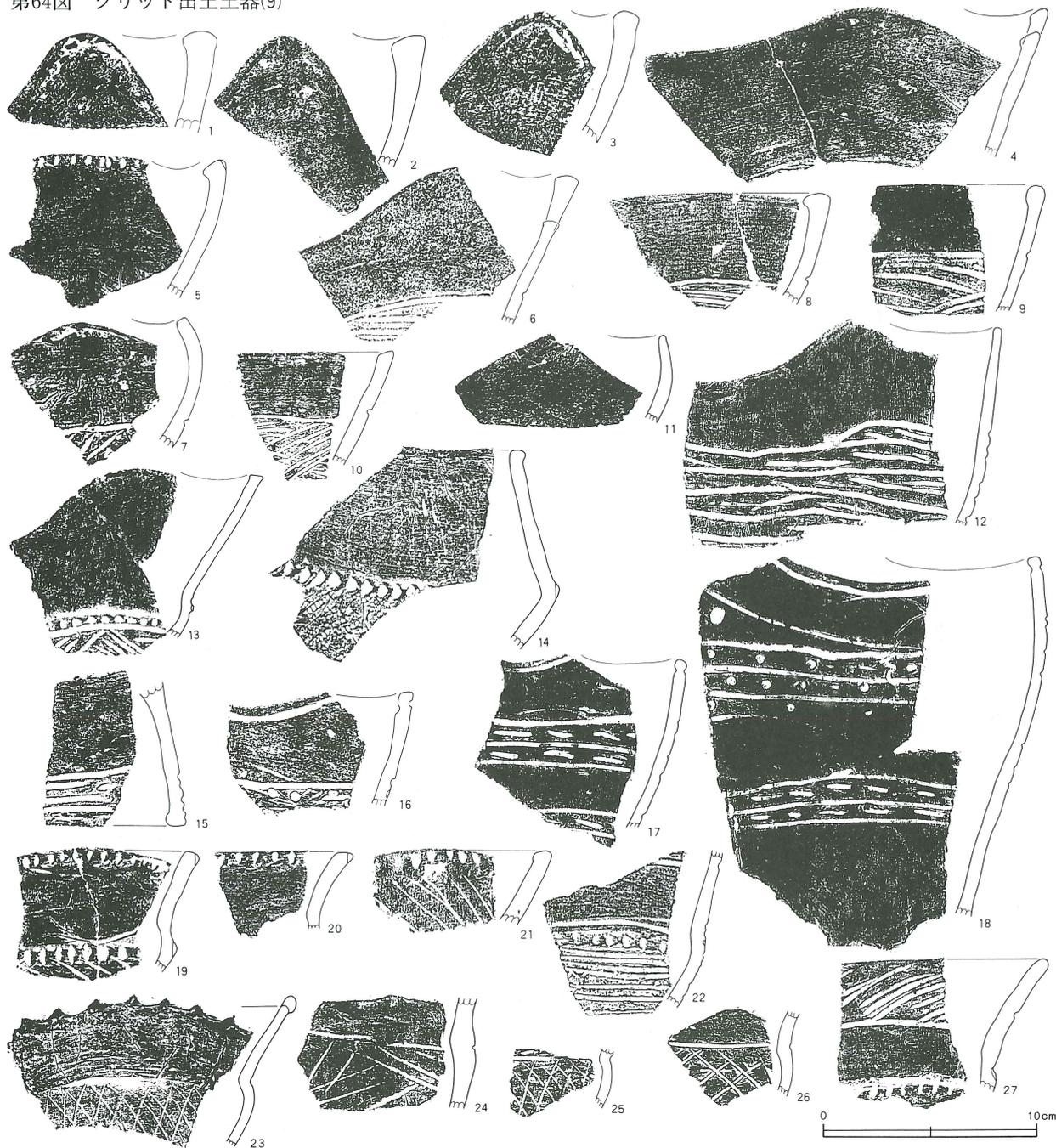
第62図 グリッド出土土器(7)



第63図 グリッド出土土器(8)



第64図 グリッド出土土器(9)



第65図22~27は縄文と各種の文様を施す。

第66図1~3は各種の浅鉢形土器である。1は櫛歯状工具による細沈線を施す。内面には弧状の沈線を施す。2は矢羽根状沈線と縄文を施す。3は無節Lの縄文を器面に施す。

第14類 (第66図5、7~15)

注口土器を一括する。

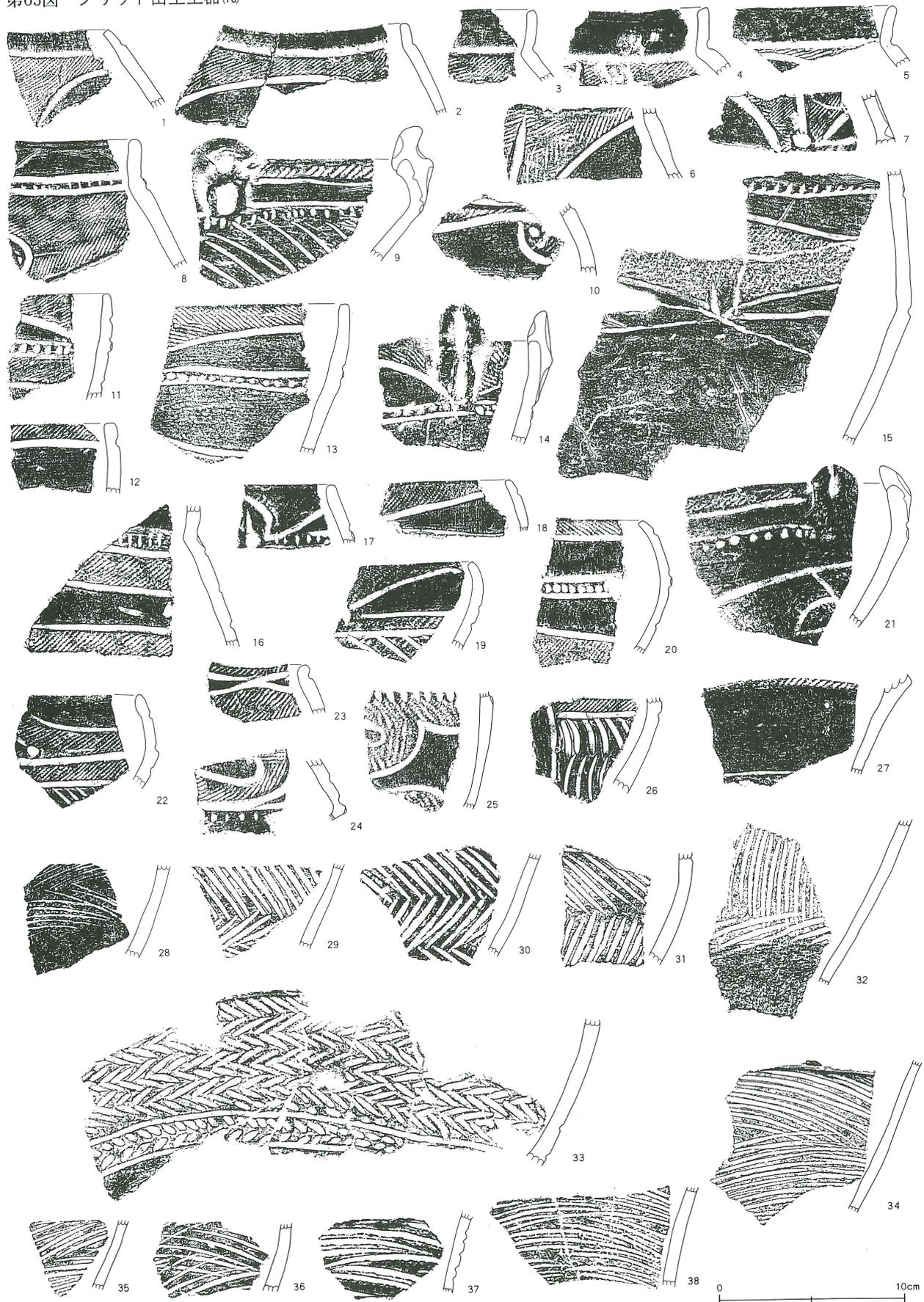
第66図5は並行沈線に「の」の字状の沈線文を施す。口縁部と注口部を欠損する。7~9は細沈線と点文を

施す胴部の破片である。10は多条の並行沈線により横線と曲線的なモチーフを施す。11、12も並行沈線を施す。11は三角形の単位文、12は「()」条の沈線文を施す。13は口縁部の沈線間に点文を施す。14は沈線文を体部に施す。15は「つ」の字状の曲線的なモチーフを施す。

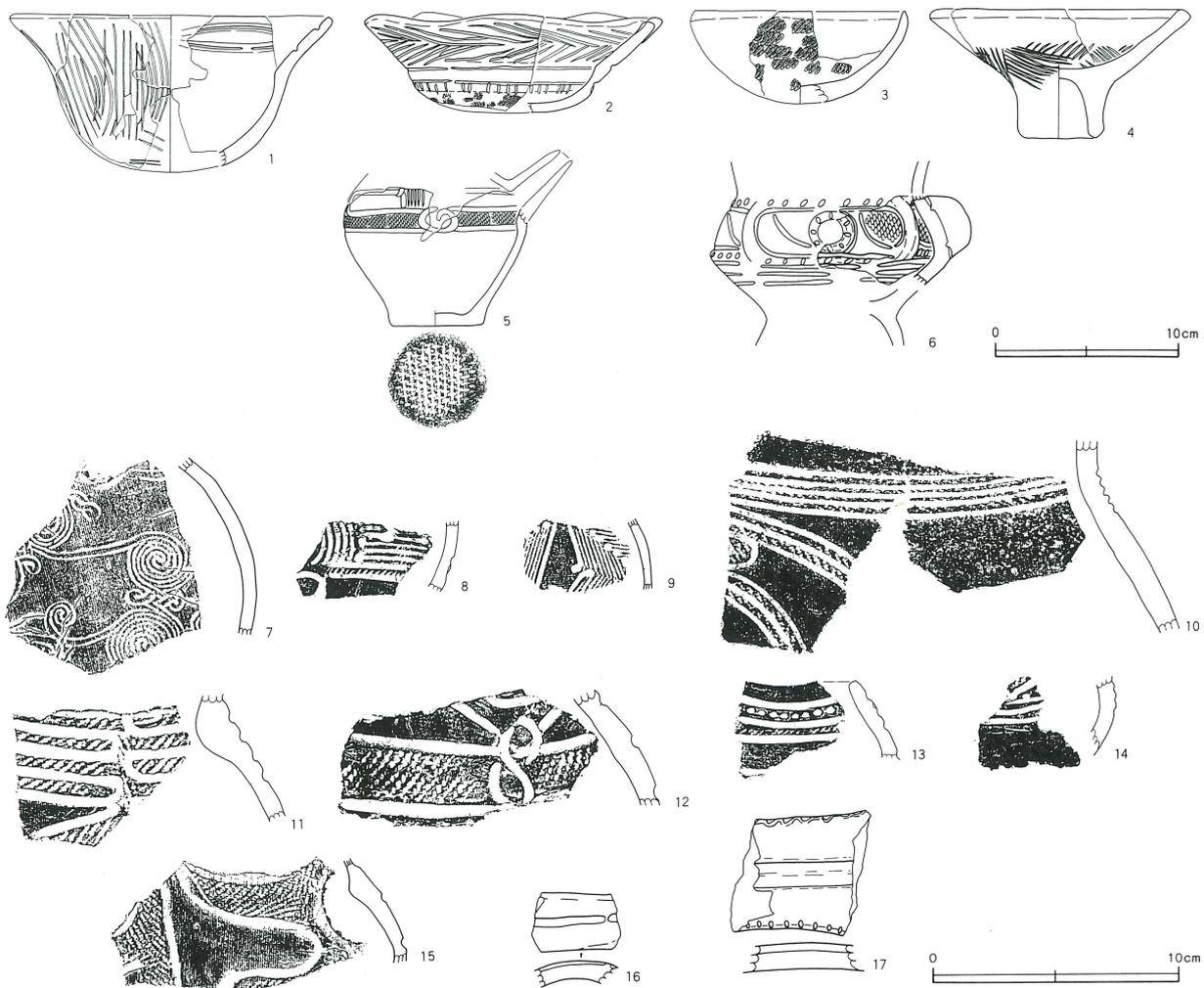
第15類 (第66図6、16、17)

その他の器種を一括する。6は異形台付土器である。第66図6は異形台付土器である。沈線、縄文、刻み

第65図 グリッド出土土器(10)



第66図 グリッド出土土器(II)



を施した円形の貼付文を施す。16、17は釣手土器の釣手部分であろう。

第16類 (第68図1～8)

底部付近から丸みを帯びて移行し、口縁部が直立気味になる単純な形態の深鉢形土器で、縄文が施されないものを一括する。主として格子目文を施す土器である。1～7は格子目文、8は横位、縦位の沈線に波状の沈線を施す。

第17類 (第68図9～16)

条線文を施す土器を一括する。主として櫛歯状工具による条線文を施す土器である。器形的には括れ部を有し、括れ部から口縁部へ外傾して直線的に推移する形態の土器が主体である。

第18類 (第67図1、2、第68図17～30、第69図21～27)

底部付近を除き、器面全体に縄文を施文する土器で

ある。形態上、底部から口縁部へ直線的に推移するもの、底部から口縁部へやや丸みを帯びて推移するもの、胴部が丸く張り出すものなどがある。

第67図1は直線的に移行する形態の土器であり、口縁部内面に1条沈線を施す。直線的に移行する形態として第68図17、19～21などがある。

緩く丸みを帯びて立ち上がる土器には第68図18、24～26があり、18は口縁部に突起を施す。

第68図27～30は胴部が丸く張り出す形態である。27～29は口縁部に沈線を施している。第67図2、第69図21～27は胴部の破片である。第21類の可能性もある。

第19類 (第69図2～4)

紐線文土器のうち、口縁部と胴部に2～3条の横線を施して帯状の区画をつくり、その内部に弧線文、斜

沈線等を施す土器を一括する。

第20類 (第69図5～7)

紐線文土器のうち、縄文を施文しない土器を一括する。5は櫛歯状工具による条線、6は斜沈線を施す。7は胴部の破片で、無文である。

第21類 (第69図1、8～20、第70図1～15)

紐線文土器のうち、地文縄文を施文する土器を一括する。地文縄文上に沈線を施すものを含むが、第19類のようにモチーフを施さないものが主体である。形態的には底部から丸みを帯びて移行し口縁部が直立気味に立ち上がるもの、胴部が丸く張り出すもの、胴部が緩く張り口縁部が外反気味に立ち上がるものなどがある。

胴部が緩く張る形態の土器には縄文のみが施文される土器(第69図19、20、おそらく16～18)、地文縄文上に沈線文を施す土器(第70図1～15)などがあり、本

類の主体を占める。これらはほぼ遠部第一類土器に相当するものである。

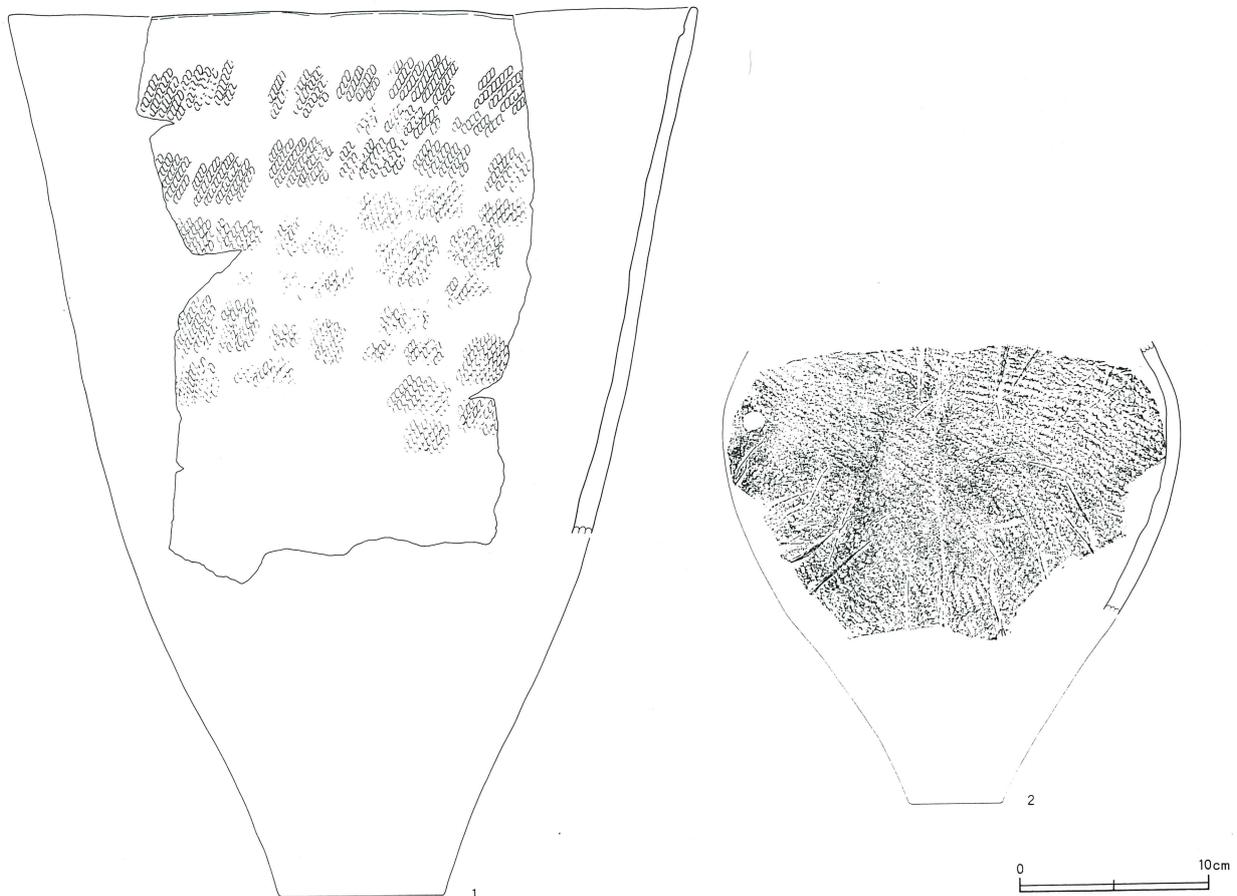
条線が比較的密に施される土器(第70図7、8)は遠部第一類土器にはないようである。加曾利B3式であろう。

また、紐線文が口唇部と一体化していない土器(第69図1、8、9)は古い様相と捉えられる。8、9は偏平な特徴的な紐線文である。加曾利B1式であろう。

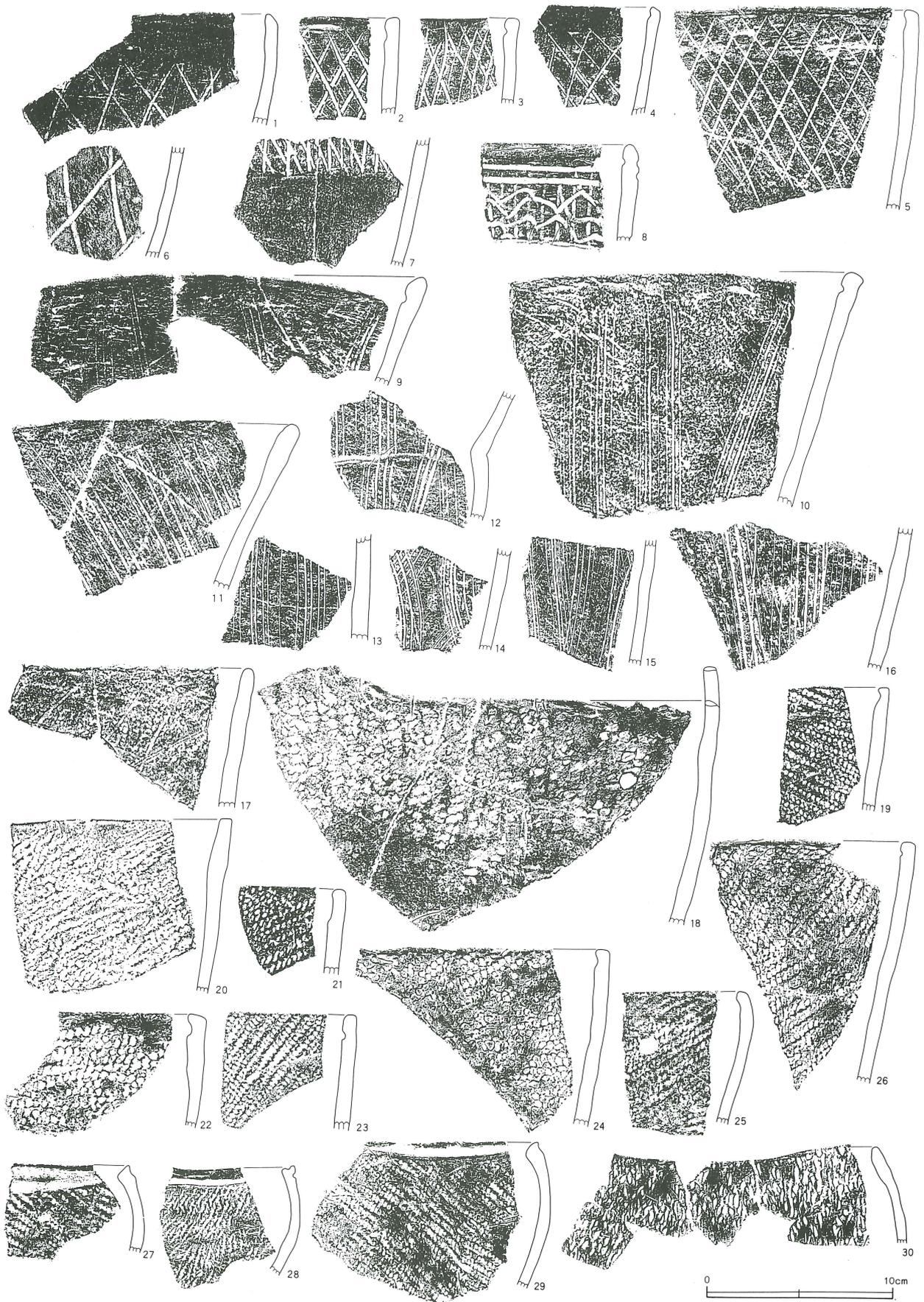
第22類 (第70図16～26)

胴部が緩く張り、口縁部が外反気味に立ち上がる形態の深鉢形土器である。緩い括れ部に沈線によって区画した無文帯をおき、その上下には地文縄文上に格子目状の沈線文を施す土器である。遠部第4類土器に相当する資料である。第70図18、19は口縁部内面に1条沈線を施す。第70図16は紐線文を口縁部に施す土器である。口縁部内面に1条沈線を施す。

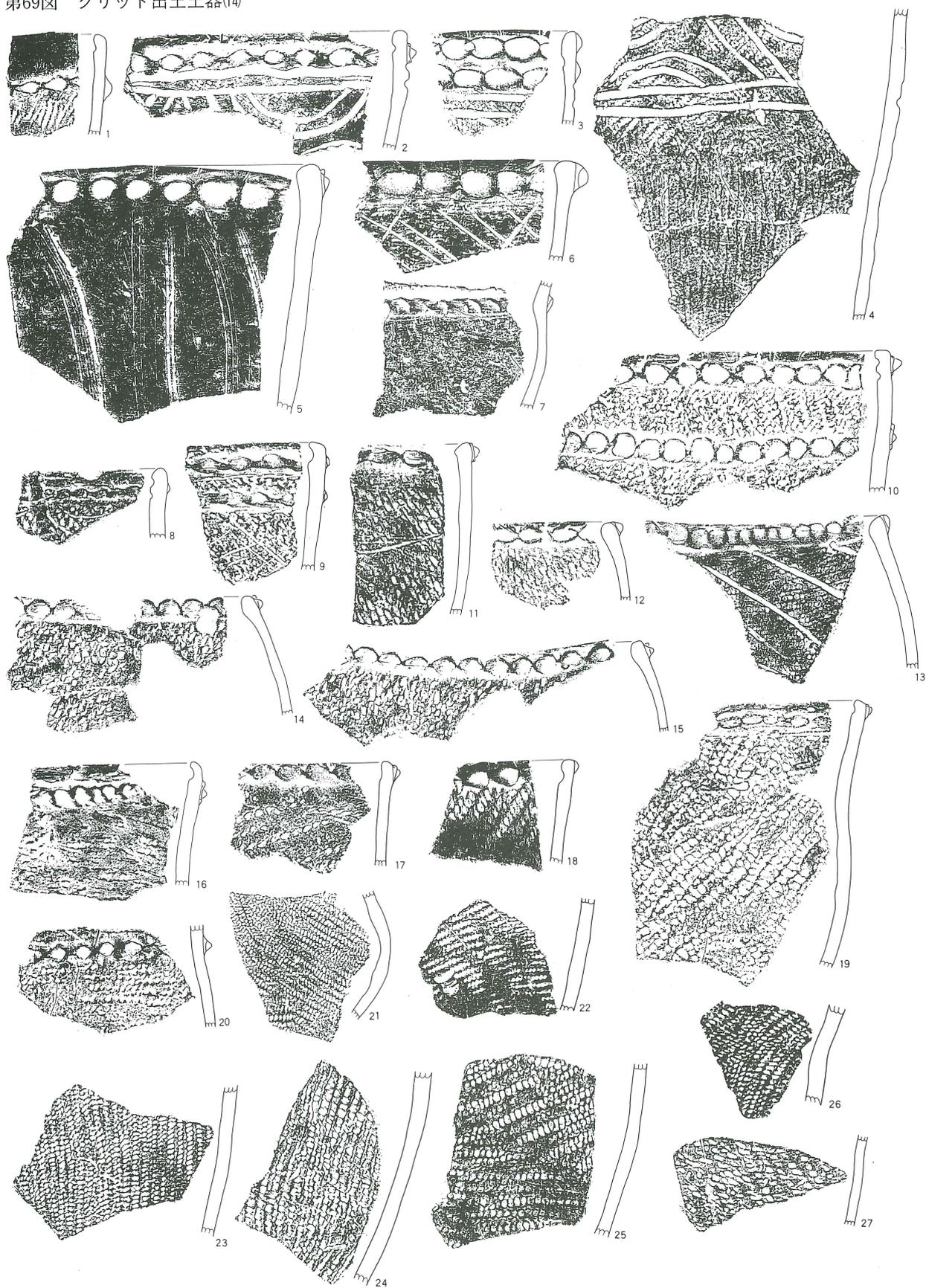
第67図 グリッド出土土器(2)



第68図 グリッド出土土器(13)

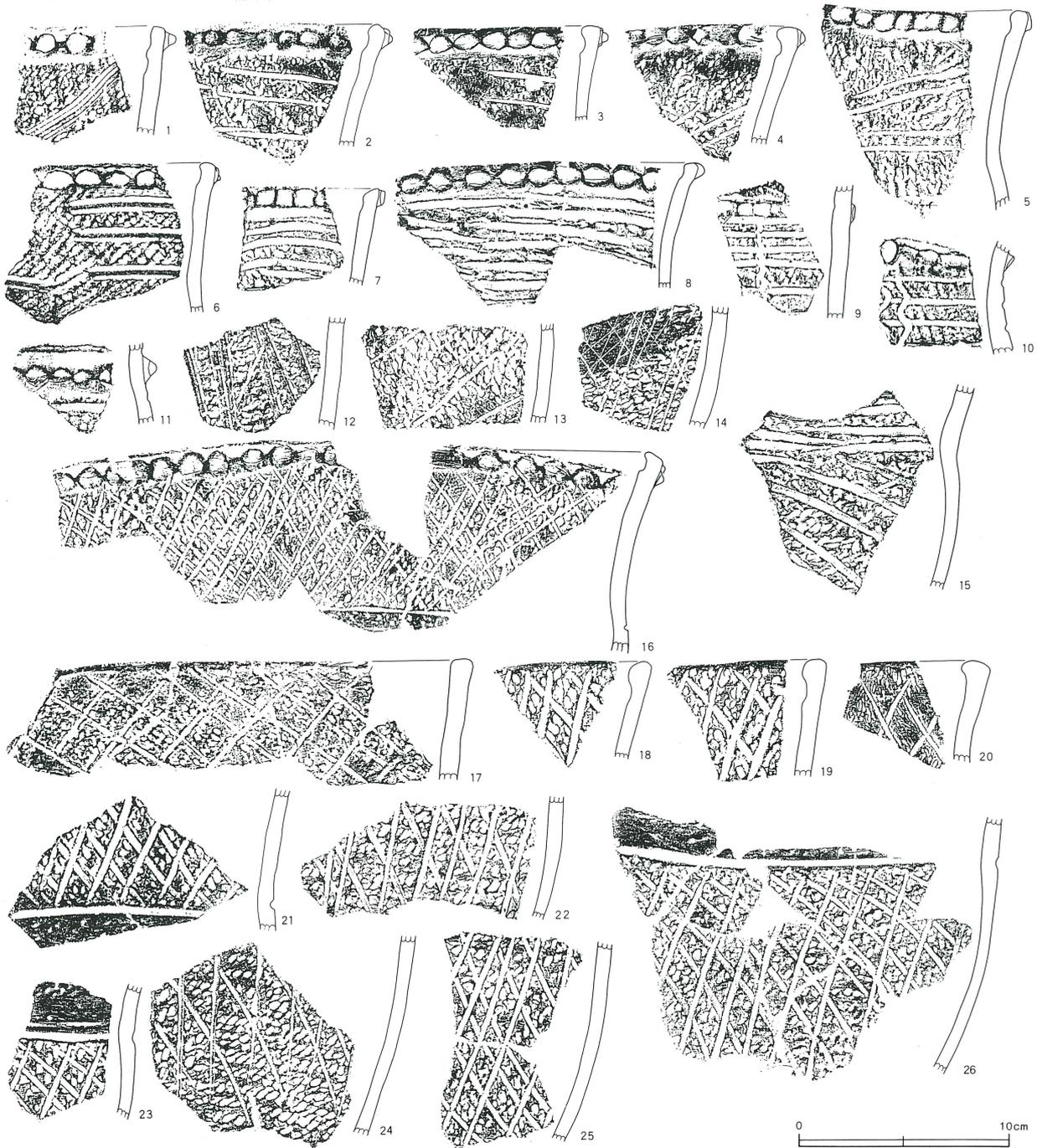


第69図 グリッド出土土器(14)



0 10cm

第70図 グリッド出土土器(15)



第3群土器 (第71図～第74図)

後期後葉から晩期の安行式土器を一括する。安行1式、安行2式が出土しており、安行3 C式はこれに次ぐ出土量であった。

第1類 (第71図1、第73図1、2)

安行1式の大波状口縁深鉢形土器を一括する。第71図1は口辺部に4段の帯縄文を施す。波頂部下

には円孔、瘤文を施す。括れ部直上の三角形区画文が明瞭となる段階であろう。三角形区画内に矢羽根状沈線施文後、縦位沈線を施す。約1/6以下の残存度である。

第73図1は波頂部、2は波底部近くの破片である。

第2類 (第71図2、第73図3～10、13～15)

安行1式の平口縁深鉢形土器を一括する。いくつかのタイプの土器を含む。